Pioneer sound.vision.soul

デジタルハイビジョンプラズマテレビ PURE vision

取扱説明書

PDP-506HD
PDP-436HD

各部の名前とはたらき
すぐに使いたい
準備する（設置と接続）
テレビを見る
録画を予約する
画質と音質を調整する
便利な機能を使う
接続して使う
テレビの設定を変更する
困ったときは
付録

インターネットによるお客様登録のお願い
http://www.pioneer.co.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

「据付工事」について

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

なお、据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

番組表の見かた

番組表を使って、見たい番組を簡単に選べます。番組表から録画予約もできます。

デジタル放送の番組表画面例

番組の内容を表すアイコン例

アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）番組。	4:3	アスペクト比(横縦比)4：3の番組。
データ	独立型データ放送番組。	16:9	アスペクト比(横縦比)16：9の番組。
ラジオ	ラジオ放送番組。	5.1ch サラウンド	5.1chサラウンド放送の番組。
d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。	字幕	字幕（日本語/外国語）のある番組。
+d	番組の内容に連動したデータ放送を行っている番組	一回録画	１回のみデジタル録画ができる番組（録画後、コピーできません）。
525i SD	走査線が525本　インターレースの標準放送番組。	録画不可	デジタルコピーガードされている番組（デジタル録画できません）。
1125i HD	走査線が1125本　インターレースのハイビジョン放送番組。		

その他のアイコンの説明 ☞157ページ

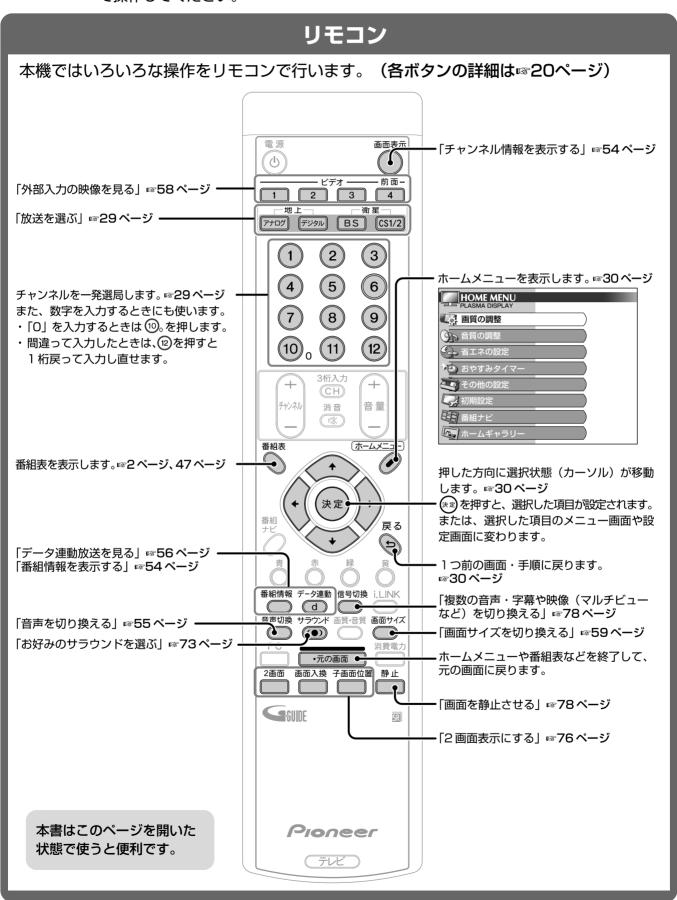
本書はこのページを開いた状態で使うと便利です。

ご使用ガイド

押すボタンの位置などが分からなくなったときに、このガイドを参考にして操作してください。

リモコン

本機ではいろいろな操作をリモコンで行います。（各ボタンの詳細は☞20ページ）

本書はこのページを開いた状態で使うと便利です。

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

もくじ

必ずB-CAS(ビーキャス)カードを本機に挿入してください！

B-CASカードについて ☞27ページ

デジタル放送を録画したいときは！

1 録画機器の接続方法を選ぶ ☞90ページ
2 録画を予約する ☞64ページ

あとから地上デジタル放送を設定するときや、引越しなどで再設定するときは！

1 初期スキャンでチャンネルを設定する ☞122ページ
2 アンテナレベルを確認する ☞131ページ

地上アナログ放送で希望のチャンネルが受信できないときは！

ご自宅のアンテナで受信しているとき
一括でチャンネル設定する ☞114ページ
ケーブルテレビ(CATV)、または共同受信アンテナで受信しているとき
自動でチャンネル設定する ☞115ページ

安全上のご注意 ... 6
使用上のご注意（守っていただきたいこと） ... 9
設置時の注意事項 ... 11
プラズマテレビのお手入れのしかた ... 14
付属品を確認する ... 15

各部の名前とはたらき

ディスプレイ ... 17
メディアレシーバー ... 18
リモコン ... 20
簡単リモコン ... 22
リモコンに電池を入れる ... 23

すぐに使いたい！

デジタル放送で広がるサービス ... 24
今すぐテレビを見たい！ ... 26
リモコンを使う ... 26
B-CASカードについて ... 27
電源を入れてテレビを見る ... 28
ホームメニューとは ... 30
ホームメニューを使うには ... 30
ホームメニューを終了するには ... 31

準備する（設置と接続）

設置の手順 ... 32
スピーカーを取り付ける ... 33
プラズマテレビを設置して接続する ... 35
アンテナをつなぐ ... 38
電話回線をつなぐ ... 41
設置がすんだら「かんたん設定」 ... 43

テレビを見る

番組表 / 週間番組表で番組を選ぶ ... 47
映画やドラマなどのジャンルで探す ... 51
デジタル放送のチャンネル一覧を使う ... 52
番組の詳細を表示する ... 54
音声を切り換える ... 55
データ連動放送を見る（デジタル放送のみ） ... 56
有料番組を見る（ペイ・パー・ビュー：PPV） ... 57
外部入力の映像を見る ... 58
画面サイズを切り換える ... 59
省エネ機能を使う ... 61
自動で電源を切る ... 62

録画を予約する

録画予約の前に ... 63
番組表 / 週間番組表 / ジャンル検索から録画予約する ... 64
日時とチャンネルを指定するときは（マニュアル予約） ... 66
予約の確認や変更、取り消しをする ... 67

- 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

画質と音質を調整する

お好みの画質・音質モードを選ぶ 68
お好みの画質に調整する 69
詳細な画質調整をする 70
お好みの音質や音場に調整する 72
画面の位置を調整する / 画面左右の明るさを選ぶ 74

便利な機能を使う

2 画面表示にする 76
画面を静止させる 78
複数の音声・字幕や映像（マルチビューなど）を切り換える 78
字幕や文字スーパーを設定する 79
i.LINK 操作パネルで機器を操作する 80
トピックスを見る 81
デジタル放送の情報を見る 82
視聴制限を設定する 86

接続して使う

録画機器の接続方法を選ぶ 90
- i.LINK端子があるときは 90
- i.LINK端子がないときは（ビデオコントローラーを使う） 90
- その他の接続のときは（ビデオコントローラーを使わない） 91

i.LINK 録画機器をつなぐ 92
- 使用したいi.LINK機器を設定する 93

ビデオデッキや DVD レコーダーなどをつなぐ 94
- ビデオコントローラーを取り付ける 95
- ビデオコントローラーの設定をする 95

DVD プレーヤーなどをつなぐ 97
HDMI 機器をつなぐ 98
- HDMI接続の設定をする 98

オーディオ機器をつなぐ 100
コントロール接続について 101
パソコン（PC）の画面を見る 102
メモリーカードの静止画を見る 106
ネットワークにつなぐ 110

テレビの設定を変更する

地上アナログ放送のチャンネルを設定する 114
時計を合わせる 121
地上デジタル放送のチャンネルを設定する 122
BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルと周波数を修正する 126
デジタル放送の選局対象（すべて / お好み）を選ぶ 127
デジタル放送のリモコンのチャンネル設定を自分で修正する 128
居住地域を設定する 130
アンテナの設定をする 131
B-CAS カードのテストをする 133
電話の設定をする 134
自動更新の設定をする 136
デジタル音声の出力フォーマットを設定する 137
設定をリセットする 138

困ったときは

故障かな？と思ったら 139
メッセージ表示一覧 147
保証とアフターサービス 150

付録

地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表 151
地上アナログ放送局コード一覧表 154
地上デジタル放送チャンネル一覧表 155
画面に表示されるアイコンの説明 157
おもな仕様 158
商標／著作権・個人情報について 159
用語の解説 160
メニュー一覧 162
索引 164

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

異常時の処置

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

- 万一、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

- 万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

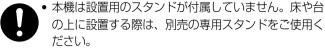
設置

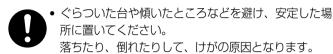
- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
  また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

- AC変換プラグを使用する場合、電源プラグのアース線は、アース端子に接続してください。コンセント端子に差し込むと、感電や火災の原因となります。

- 壁掛け工事は、工事専門業者または販売店にご依頼ください。
  工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

⚠警告

- 本機は設置用のスタンドが付属していません。床や台の上に設置する際は、別売の専用スタンドをご使用ください。
  それ以外の方法で設置すると、倒れたり、壊れたりして、けがの原因となります。

- ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。
  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

使用環境

- 本機の内部に水が入ったり、濡れないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

- 本機の内部に水が入ったり、濡れないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

- 前面パネルには衝撃を加えないでください。ディスプレイの前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。
  ガラスが割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

設置

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 放熱を良くするため、他の機器や壁などから以下の間隔を取って設置してください。
  - ◆ ディスプレイ：左右背面10cm以上、上50cm以上
  - ◆ メディアレシーバー：上左右5cm　以上、背面10cm以上

  また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - ◆ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - ◆ じゅうたんやふとんの上に置く。
  - ◆ テーブルクロスなどをかける。
  - ◆ 横倒しにする（メディアレシーバーの縦置き設置を除く）。
  - ◆ 逆さまにする。

- 本機のディスプレイは質量が31.8kg（PDP-506HD）・25.8kg（PDP-436HD）あり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、及び設置は２人以上で取っ手を持って行ってください。
  けがの原因となることがあります。

⚠注意

- 地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところにディスプレイを固定してください。
  転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 移動させる場合は本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
  - ◆ 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
  - ◆ BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取り付けてください。

- ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

使用方法

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる場合には、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電池のお取り扱い

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（＋極と－極）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

保守・点検

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
  感電の原因となることがあります。

- ３年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- ディスプレイ背面にある通気孔は、月に１回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）

⚠注意

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

プラズマテレビについて

プラズマテレビの画素欠けについて

- プラズマテレビは、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり常時点灯する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電磁波妨害について

- 本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。「AMラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」などの機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

ファンモーターの音について

- メディアレシーバー周辺の温度が高くなると、冷却用のファンモーターの回転数が上がります。そのため、ファンモーターの音が大きく感じられる場合があります。

駆動音について

- 本機に電源を入れると駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

プラズマテレビの温度について

- 本機を長時間使用すると、ディスプレイの一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。

プラズマテレビの保護機能について

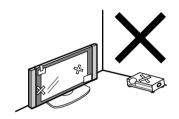
- デジタルカメラの画像やパソコンの画面など、動きのない映像を長い時間表示すると画面がやや暗くなります。これは、動きの少ない映像を約3分間検知すると、自動的に明るさを調整して画面を保護する機能が働くためです。故障ではありません。

守ってください

すべての接続が終わってから電源プラグをコンセントにつないでください

- 本機と他の機器との接続をする前に、電源プラグを抜いてください。すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

スピーカーについて

- スピーカー前面のグリルネットに力を加えたり、指などを差し込んだりしないでください。ネットを破損したりスピーカーユニットを傷めることがあります。
- スピーカーを本ディスプレイ以外に使用しないでください。故障・火災の原因になることがあります。

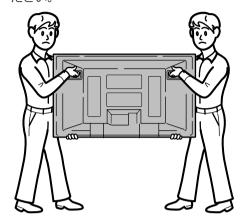
メモリーカードの使用上の注意

- メモリーカード使用中(「ホームギャラリー」画面での操作中)は電源を切ったり、カードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。必ず「ホームギャラリー」画面を消してから抜いてください。
- メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- メモリーカードについては、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

B-CASカードは必要なとき以外は抜かないでください

- 必要がないのに抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

背面の「取っ手」について

- ディスプレイ部を移動する場合は、必ず二人で作業を行い、背面の「取っ手」を使用してください(片側の「取っ手」のみでの移動は行わないでください)。図のように使用してください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル放送に対応した衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

周辺温度に注意してください

- 本機は、周囲温度0～40℃の範囲内でご使用ください。
  また、本機を冷え切った状態のままで室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、室温を徐々に上げてからご使用ください。

ディスプレイの置き場所に注意してください

- ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

画面の焼き付きと残像について

静止画像など同じ絵柄の映像を長時間表示すると、画面に残像が残る場合があります。残像の原因には次の2つがあります。

1. 電気負荷の残留による残像

輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像がでることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

2. 焼き付きによる残像

プラズマテレビに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。また、画面サイズ4：3や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像が残ります。

お知らせ

- 本機では、番組表などの映像を約10分間表示していると、焼き付きを防ぐために、自動的に番組表などの表示が消えます。

焼き付きを避けるために

- 著作権者の権利を侵害するおそれがある場合を除き、映像を画面サイズにいっぱいに映してお楽しみになることをおすすめします。**(著作権、画面サイズの切り換えについては☞59ページ)**
- 「省エネ機能を使う」の「消費電力」の設定 (☞61ページ) により、焼き付きの発生を軽減することができます。

赤外線について

- プラズマテレビは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり、赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は、影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

国外では使用できません

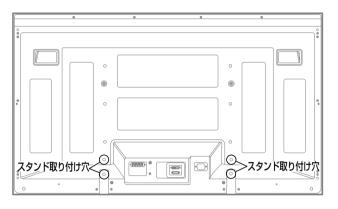
This product cannot be used in any other countries.

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

設置時の注意事項

本機を設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

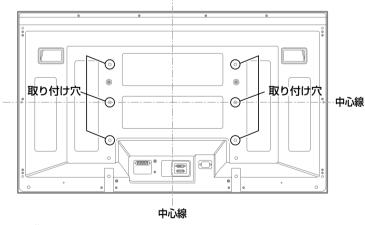
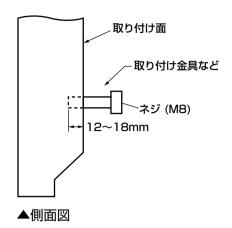
当社別売のスタンドなどを使って設置するとき

設置は販売店などに依頼してください。
スタンドで使う取り付け穴（4カ所）は下図のとおりです。必ず付属のネジをお使いください。
詳細はスタンドなどの取扱説明書をお読みください。

▲背面図

当社別売の金具などを使って設置するとき

販売店にご相談ください。
使うことのできる取り付け穴（6カ所）は下図のとおりです。

▲背面図

▲側面図

⚠注意

- 必ずディスプレイの中心線に対して上下左右対称な4カ所以上の取り付け穴をお使いください。
- ネジはM8を使用し、本機の取り付け面より本機内に12～18mm入るものをお使いください。（背面図、側面図参照）
- 背面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。
- 本機はガラスを使っていますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用にならないでください。
- スピーカーを取り付けたままスタンドから外したり、スタンドに取り付けたりしないでください。

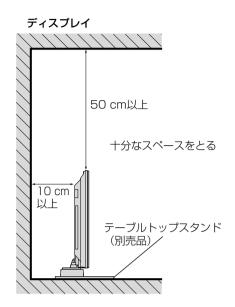
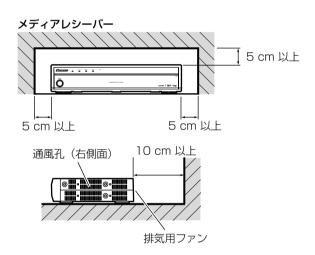
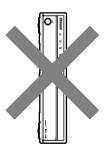
ご注意

- 当社製品以外の部品による事故損傷については、当社は一切責任を負いません。
- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機には設置用のスタンドは付属していません。
  設置の際は、別売のテーブルトップスタンド(PDK-TS12)や壁掛け金具をご使用ください。

設置スペースについて

ディスプレイ

メディアレシーバー

⚠注意

- メディアレシーバーの上には、ビデオデッキなどを載せないでください。
- ディスプレイの背面部･天面部、メディアレシーバーの背面部･側面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- メディアレシーバー側面の通風孔および背面の排気用ファンはふさがないでください。
- メディアレシーバーをオーディオラックなどに設置するときは、放熱のため後部が開放されているものを使用するなど、通風を妨げないようにしてください。
- メディアレシーバーを縦置きしないでください。故障の原因になります。

壁掛け設置する際の注意事項

1.設置場所について

- 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
- 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
- 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
- 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。

2.異常や不具合が発見された場合には、すみやかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。

3.壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機を壁掛け設置する際および点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

4.本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

壁掛け設置されたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

- 壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。
- 壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。
- 地震が起きた場合には、壁掛け設置されているプラズマテレビ（本機）や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。
- 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策（チェーンなどでの固定）を、工事専門業者にご依頼ください。

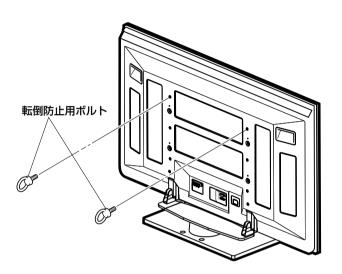
⚠注意

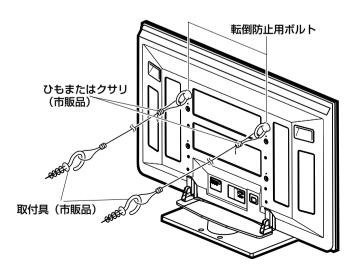
- 壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

設置後の転倒防止のお願い

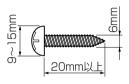
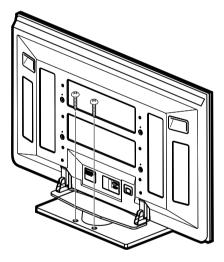
設置後は、安全のために必ず転倒防止処置をしてください。転倒防止処置をしないと、地震などの非常時にプラズマテレビが落下したり転倒して、ケガや事故の原因になるおそれがあります。

壁を利用する方法

1 ディスプレイ背面に、付属の転倒防止用ボルトを取り付ける

2 壁や柱などの堅牢な場所に、丈夫なひもまたはクサリでしっかりと固定する

ご注意
- 左右対称に、しっかりと固定してください。
- ひもまたはクサリは、スタンド回転分の余裕を持って長さを決めてください。
- 市販のひもまたはクサリ、取付具などをお使いください。

床に固定する方法

1 市販のネジで、スタンドを次の図のように固定する

ご注意
- 床に固定するためのネジは、M6の長さ20mm以上のものを使用してください。

プラズマテレビのお手入れのしかた

ご注意
- キャビネットはベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤など、揮発性の薬品をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチック部品が変質したり、塗料がはがれることがあります。
- 前面パネル部およびキャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴がパネルのすき間や通風孔をつたって本機内部に侵入し故障の原因になることがあります。

パネルの表面およびフロントキャビネットの光沢面のお手入れのしかた

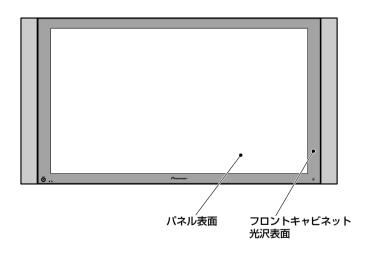
本機のパネル表面、フロントキャビネット光沢表面は、付属のワイピングクロスまたは他の軟らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。

ご注意
- ほこりのついた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- パネル表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面をつたって内部に侵入し故障の原因になることがあります。

乾拭きしても汚れが落ちない場合は、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。

キャビネットのお手入れのしかた

キャビネットの表面はきれいな柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。

ご注意
- ほこりのついた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつくことがあります。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われているのでベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- キャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面をつたって、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

付属品を確認する

お買い上げになったシステムに間違いがないかどうか、付属品がそろっているかを確認します。

購入したシステムの確認

お客様がお買い上げになったシステムが間違いなく納入されているかどうか、次の型番でご確認ください。

お買い上げモデル	型番		
	メディアレシーバー	ディスプレイ	スピーカー
PDP-506HD	PDP-R06（2モデル共通）	PDP-506P	PDP-506S
PDP-436HD		PDP-436P	PDP-436S

スピーカーの付属品

スピーカーケーブル×2本

取付ネジ（M5×10mm）×16

スピーカー取付金具

左スピーカー用

（左上用×1）

（左下用×1）

右スピーカー用

（右上用×1）

（右下用×1）

パッキン×2本
（ダイレクト取付用）

ダイレクト取付時に、スピーカーの側面に緩衝用に貼ります。

ディスプレイの付属品

電源コード×1
（ノイズフィルター付き）
（2.0 m、3ピン）

AC変換プラグ×1

ワイピングクロス×1

ビーズバンド×3

スピードクランプ×3

保証書

梱包箱に貼り付けられています。大切に保管してください。

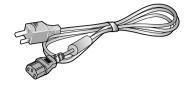
転倒防止用ボルト×2

メディアレシーバーの付属品

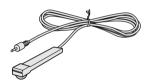
リモコン×1

簡単リモコン×1

単3乾電池 2本×2パック
（リモコン／簡単リモコン用）

電源コード×1
（ノイズフィルター付き）
（2.0 m、3ピン）

AC変換プラグ×1

モジュラー分配器×1

ビデオコントローラー×1
（1.8 m）

モジュラーケーブル（10 m）×1

システムケーブル（3 m）×1

B-CAS（ビーキャス）カード

ユーザー登録用紙

取扱説明書（本書）

安心サービス保証プログラムのご案内

安心サービス保証プログラム申込書

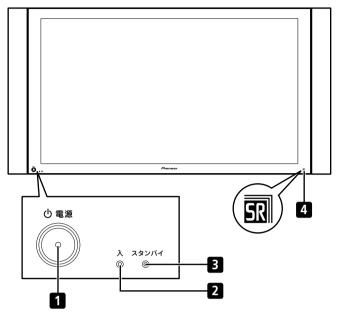
ご相談窓口・修理窓口のご案内

ご注意

- B-CAS（ビーキャス）カードのパッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
  開封前に必ず契約約款をよくお読みください。（☞27ページ）

お知らせ

- **B-CASカードについてのお問い合わせは**
  （株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ
  カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250

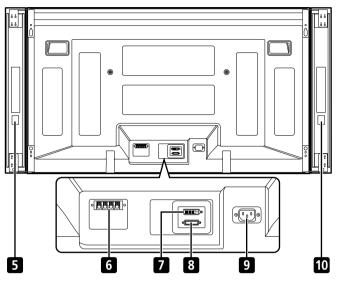
ディスプレイ

▼ディスプレイ（前面）

▼ディスプレイ（背面）

1　主電源ボタン　☞28ページ
ディスプレイの主電源を入／切します。

2　電源｢入｣ランプ(青)　☞28ページ
本機の電源が「入」のとき、青色で点灯します。

3　スタンバイランプ(赤)　☞28ページ
本機の電源が「スタンバイ（待機状態）」のとき、赤色で点灯します。

4　リモコン受光部　☞23ページ､28ページ
ここに向けてリモコンを操作します。

5　右スピーカー接続端子　☞35ページ
右スピーカーのケーブルを接続します。

6　スピーカー(右/左)接続端子　☞35ページ
スピーカーケーブルを接続します。

7　システムケーブル(白)接続端子　☞36ページ
システムケーブル（白）でメディアレシーバーと接続します。

8　システムケーブル(黒)接続端子　☞36ページ
システムケーブル（黒）でメディアレシーバーと接続します。

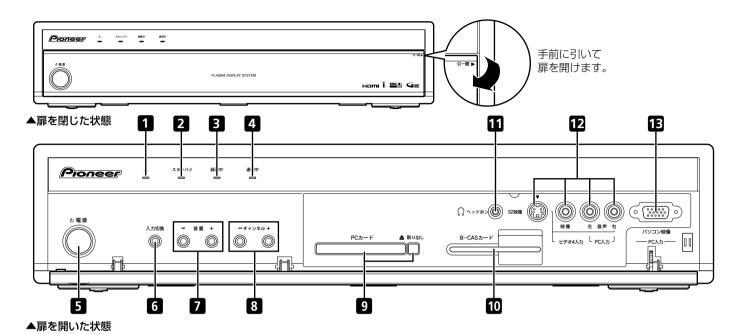
9　電源コード接続端子　☞36ページ
電源コードを接続します。

10　左スピーカー接続端子　☞35ページ
左スピーカーのケーブルを接続します。

メディアレシーバー

▼ メディアレシーバー（前面）

▲扉を閉じた状態

▲扉を開いた状態

1　電源「入」ランプ（青） ☞28ページ

本機の電源が「入」のとき、青色で点灯します。

2　スタンバイランプ（赤） ☞28ページ

本機の電源が「スタンバイ（待機状態）」のとき、赤色で点灯します。

3　録画中ランプ（赤）

本機を使った録画中に赤色で点灯します。

4　通信中ランプ（緑）

本機が放送局からの情報を受信しているとき、または電話回線を使用しているときに緑色で点灯します。

5　主電源ボタン ☞28ページ

メディアレシーバーの主電源を「入 / 切」します。

6　入力切換ボタン ☞58ページ

受信する放送や外部入力を切り換えます。

7　音量（+/−）ボタン ☞26ページ

お好みの音量に調整します。

8　チャンネル（+/−）ボタン ☞29ページ

見たい放送のチャンネルを順送り / 逆送りで選局します。

9　PCカード挿入口/PCカード取り出しボタン
☞106ページ、108ページ

デジタルカメラなどで撮影された静止画像を見ることができます。

必要に応じてメモリーカードにあったPCカードアダプター（別売品）をご使用ください。

10　B-CAS（ビーキャス） カード挿入口 ☞27ページ

デジタル放送を受信するためのB-CASカードを挿入します。

ご注意

- B-CASカードを常時挿入していないとデジタル放送を受信できません。
- B-CASカードには視聴に必要な情報などが記憶されます。

11　ヘッドホン出力端子

ヘッドホン（16～32 Ω推奨）を接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

2画面表示中に、スピーカーとヘッドホンで別々の音声を聞くことができます。（☞77 ページ）

ご注意

- ヘッドホンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

12　ビデオ4入力端子（S2映像・映像・音声） ☞58ページ

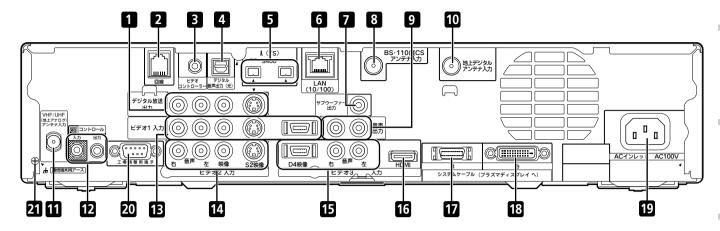
ビデオカメラなどを接続します。

13　PC入力端子（パソコン映像） ☞102ページ

パソコンの映像出力を接続します。

パソコンの音声を接続するときは、ビデオ4入力の音声端子を使用します。（共通接続）

▼メディアレシーバー（背面）

1　デジタル放送出力端子(S2 映像・映像・音声)
☞90ページ、94ページ
DVD レコーダーなどの入力端子と接続します。

2　電話回線端子　☞42ページ
電話回線を接続します。

3　ビデオコントローラー端子　☞90ページ、94ページ
DVD レコーダーやビデオデッキなどで録画予約を行うときに、ビデオコントローラーを接続します。

4　デジタル音声出力(光)端子　☞100ページ、137ページ
光デジタルケーブルで、AV アンプなどのデジタル音声入力（光）端子に接続します。

5　i.(TS)端子　☞90ページ、92ページ
i.LINK ケーブル（4ピン）でデジタル放送録画（TS 録画）に対応した当社製 DVD レコーダーを接続します。

6　LAN(10/100)端子　☞110ページ
ハブやブロードバンドルーターなどの10BASE-T端子または 10BASE-T/100BASE-TX 端子に接続します。

7　サブウーファー出力端子　☞100ページ
アンプ内蔵のサブウーファーを接続します。

8　BS・110度CS アンテナ入力　☞39ページ
BS・110度CS デジタル放送受信用アンテナを接続します。

9　音声出力(アナログ)端子　☞100ページ
AV アンプなどを接続します。

10　地上デジタルアンテナ入力　☞38ページ
地上デジタル放送受信用アンテナ（UHF）を接続します。

お知らせ
- ケーブルテレビ(CATV)で地上デジタル放送をご覧になる方は、**39ページ**をご覧ください。

11　VHF/UHF(地上アナログ)アンテナ入力　☞38ページ
地上アナログ放送受信用アンテナを接続します。

12　コントロール(入力／出力)端子　☞101ページ
SRマークの付いた当社製 AV アンプなどを接続します。

13　ビデオ1入力端子(S2映像・映像・音声・D4映像)
☞94ページ、97ページ
DVD レコーダーなどの出力端子と接続します。

14　ビデオ2入力端子(S2映像・映像・音声)
☞94ページ、97ページ
ビデオデッキなどの出力端子と接続します。

15　ビデオ3 入力端子(音声・D4映像)　☞94ページ、97ページ
DVD プレーヤーなどの出力端子と接続します。

16　HDMI端子(ビデオ3入力)　☞98ページ
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応 DVD プレーヤーなどの HDMI 端子と接続します。

17　システムケーブル(黒)接続端子　☞36ページ
システムケーブル（黒）でプラズマディスプレイと接続します。

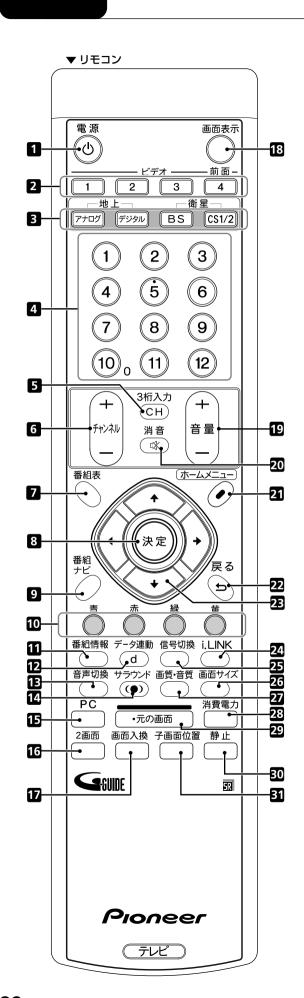
18　システムケーブル(白)接続端子　☞36ページ
システムケーブル（白）でプラズマディスプレイと接続します。

19　ACインレット端子　☞36ページ
付属の電源コードを接続します。

20　工場調整用端子
何も接続しないでください。

21　通信端末用アース

リモコン

▼リモコン

1　電源　☞28ページ
電源を入／スタンバイ（待機状態）します。

2　ビデオ1～ビデオ4(前面)　☞58ページ
ビデオ１～ビデオ４（前面）に切り換えます。

3　放送切換　☞29ページ
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル（CS1/CS2）を選びます。

4　チャンネル(①～⑫)　☞29ページ
見たい放送のチャンネルを一発選局します。

5　CH 3桁入力　☞29ページ
デジタル放送の3桁チャンネル番号を直接入力して選局するときに使います。

6　チャンネル(＋/－)　☞29ページ
見たい放送のチャンネルを順送り／逆送りで選局します。

7　番組表　☞2ページ､47ページ
番組表を表示します。

8　決定　☞30ページ
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

9　番組ナビ　☞51ページ､52ページ､81ページ､82ページ
番組を探すための番組ナビを表示します。また、放送局から届いたお知らせなどの確認もできます。

10　カラーボタン(青／赤／緑／黄)　☞47ページ､108ページ
番組表やデータ放送番組で､項目を選んだり表示を切り換えるときなどに使います。
カラーボタンが使えるときは､画面にカラーボタンの操作ガイドが表示されます。

11　番組情報　☞54ページ
視聴中の番組について詳細な情報を表示します。

12　d データ連動　☞56ページ
デジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を表示します。

13　音声切換　☞55ページ
二重音声の番組や複数の音声がある番組の音声を切り換えます。

14　サラウンド　☞73ページ
番組などの内容に合わせて、最適な音場の設定を選びます。

15 PC ☞102ページ
パソコン入力に切り換えます。

16 2画面 ☞76ページ
2 画面表示に切り換えます。

17 画面入換 ☞76ページ
2 画面表示のときに、主画面・親画面（操作できる画面）と副画面・子画面を入れ換えます。

18 画面表示 ☞54ページ
番組タイトルやチャンネル番号など現在の状態を確認するときに使います。

19 音量(＋/－) ☞26ページ
お好みの音量に調整します。

20 消音 ☞26ページ
音を一時的に消します。

21 ホームメニュー ☞30ページ
本機のいろいろな設定をするためのメニューを表示します。

22 戻る ☞30ページ
1 つ前の操作に戻ります。

23 カーソル(↑ ↓ ← →) ☞30ページ
メニュー項目や設定内容を選びます。

24 i.LINK ☞80ページ
接続した i.LINK 機器を操作するときに使います。画面に表示された操作パネルで i.LINK 機器を操作できます。

25 信号切換 ☞78ページ
デジタル放送で複数の映像や音声、字幕などがあるときに、切換に便利なメニューを表示します。

26 画面サイズ ☞59ページ、77ページ、104ページ
お好みの画面サイズを選びます。
2 画面表示（PsideP 表示のみ）のときは、左右の画面サイズを 3 段階に切り換えます。

27 画質・音質 ☞68ページ
番組やソフトの内容に合わせて、お好みの画質・音質の設定を選びます。

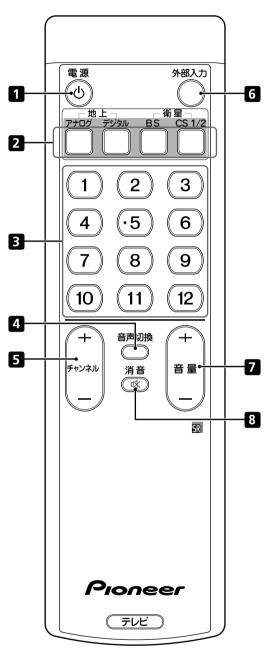
28 消費電力 ☞61ページ
節電しながらテレビを見るときに使います。

29 元の画面 ☞30ページ
2画面表示、番組表やメニュー画面などを終了して、テレビ放送の画面に戻ります。

30 静止 ☞78ページ
映像を一時的に静止画で表示します。

31 子画面位置 ☞77ページ
2 画面表示（PinP 表示のみ）のときに、子画面の位置を移動します。

簡単リモコン

▼簡単リモコン

1　電源　☞28ページ
電源を入 / スタンバイ（待機状態）します。

2　放送切換　☞29ページ
地上アナログ、地上デジタル、BS デジタル、110度CS デジタル（CS1/CS2）を選びます。

3　チャンネル（①〜⑫）　☞29ページ
見たい放送のチャンネルを一発選局します。

4　音声切換　☞55ページ
二重音声の番組や複数の音声がある番組の音声を切り換えます。

5　チャンネル（＋/－）　☞29ページ
見たい放送のチャンネルを順送り / 逆送りで選局します。

6　外部入力　☞58ページ
外部入力に切り換えます。

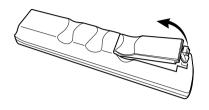
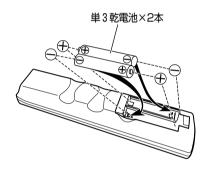
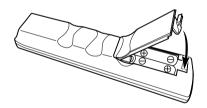
7　音量（＋/－）　☞26ページ
お好みの音量に調整します。

8　消音　☞26ページ
音を一時的に消します。

お知らせ
- 簡単リモコンでは、テレビの基本的な操作のみできます。データ放送を受信したり、番組表やホームメニューを操作することはできません。

リモコンに電池を入れる

電池を入れてリモコンの準備をします。

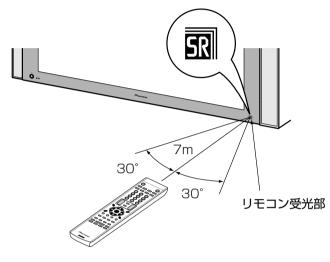
1 裏ブタを押しながら矢印の方向へ開く

2 ケース内に表記されている極性 ⊕(プラス)/ ⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる

3 フタを矢印の方向に閉める

ご注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池および種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間リモコンを使わないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池の向きを確かめて、入れ直してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下のリモコン受光部(SR)に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から7m、左右に30度以内です。

お知らせ

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオなどの赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。画面から放出される赤外線の強さは、表示している絵柄によって変わります。
- 設置環境によっては、画面から放出される赤外線の影響で、本機がリモコンの操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えてください。

デジタル放送で広がるサービス

テレビ放送が、アナログ放送（従来のテレビ放送）からデジタル放送へと変わりつつあります。本機は、デジタル放送（地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル）に対応していますので、デジタルならではのハイビジョン放送の美しい映像と音はもちろん、データ放送や双方向通信による番組参加など、多様なサービスをお楽しみいただけます。

受信できるデジタル放送の種類

本機では、従来の地上アナログ放送のほかに、次の3種類のデジタル放送を受信できます。

地上デジタル放送

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の方針として決定されています。

- デジタルならではの高画質・高音質です。
- ワイド画面のハイビジョン放送が主流です。
- ゴーストのないクリアな映像です。
- データ放送が楽しめます。
- デジタルならではの視聴者参加型の双方向通信番組が楽しめます。
- 受信には、専用のUHFアンテナが必要になることがあります。
- 無料（NHKを除く）で楽しめます。

地上デジタル対応
UHFアンテナ

BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting（ブロードキャスティング） Satellite（サテライト））を使った衛星デジタル放送です。従来のBSアナログ放送は、2011年には廃止されることになっています。

- デジタルならではの高画質・高音質です。
- ワイド画面のハイビジョン放送が主流です。
- ラジオ放送やデータ放送などの多様なチャンネルがあります。
- デジタルならではの視聴者参加型の双方向通信番組が楽しめます。
- 受信には、BSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。（110度CSデジタル放送と共用のアンテナを使います。）
- 一部の有料放送やNHKを除いて、無料で楽しめます。

BS・110度
CSデジタル放送
対応アンテナ

110度CSデジタル放送

BSデジタルの放送衛星と同じ軌道にある通信衛星（Communication（コミュニケーション） Satellite（サテライト））を使った衛星デジタル放送です。代表的なサービスに、「SKY PerfecTV！110」（スカパー！110）やWOWOWデジタルプラスがあります。スポーツ、映画、音楽などの多数の専門チャンネルから、見たいチャンネルを契約して視聴します。（有料）

- デジタルならではの高画質・高音質です。
- 多様で専門的なチャンネルがあります。
- 受信には、110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。（BSデジタル放送と共用のアンテナを使います。）
- 見たいチャンネルを契約して視聴します。（一部の無料放送を除いて有料）

BS・110度
CSデジタル放送
対応アンテナ

デジタル放送の特長

デジタル放送（地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル）には、アナログ放送では得られない、次のような特長があります。

■ワイド画面に広がる高画質！

デジタルハイビジョン放送では、高精細で美しい映像が楽しめます。また、最初から16：9のワイド画面で撮影されているのもハイビジョン放送の特長です。ハイビジョン放送ならではの、立体的でリアルな映像がワイド画面いっぱいに広がります。

■CD相当の高音質と臨場感あふれるサラウンド！

CDと同等のクリアでダイナミックな高音質が楽しめます。
また、映画やスポーツを臨場感あふれる「5.1chサラウンド」放送で楽しめます。
また、高音質を生かしたラジオ放送も充実しています。

5.1ch サラウンドを楽しむには

● 本機のデジタル音声出力をMPEG-2 AACデコーダー搭載のAVアンプなどにつないでください。（☞100ページ）

■暮らしに役立つデータ放送！

番組と連動した情報や最新のニュース、お住まいの地域の地震気象情報など、身近な暮らしの情報も見られます。

■電話回線で番組に参加できる双方向通信サービス！

デジタル放送では、電話回線をつなぐことで、放送局との双方向通信ができます。アンケートに答えたり投票したり、視聴中の番組に参加できるようになります。
また、電話回線を使って有料番組の購入や料金の管理もできます。

■番組表で好きな番組をいつでもチェック！

番組表をテレビ画面に表示して、見たい番組を探せます。
また、週間番組表で好きなチャンネルの番組の視聴や録画を予約するのも簡単です。

■デジタルならではのマルチなサービス！

デジタル放送では、1つの放送局で複数の放送を同時に送信するサービスがあります。例えば、警戒警報などが発令されたときの緊急警報放送や、降雨などで受信が途切れがちになったときなどに画質を落として放送する降雨対応放送、番組の続きを別チャンネルで放送するイベントリレー放送などがあります。画面の案内に従って操作すると、これらの放送を切り換えて見ることができます。
また、同じチャンネルで最大3方向からの映像を同時に放送するマルチビュー放送もあります。例えば、コンサートやスポーツなどのマルチビュー放送では、3つの角度からの映像を信号切換ボタンで切り換えて楽しめます。

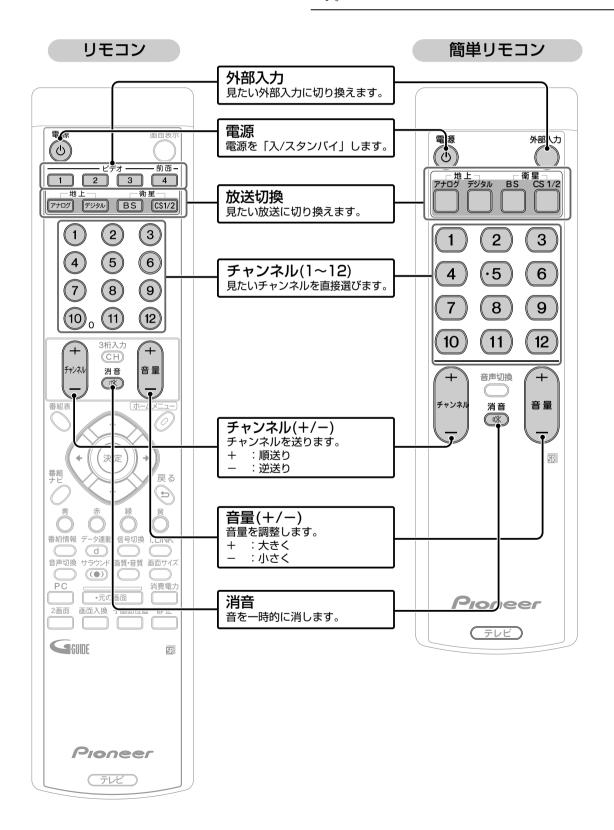
今すぐテレビを見たい！

電源を入れてテレビを見るまでの基本操作を紹介します。

リモコンを使う

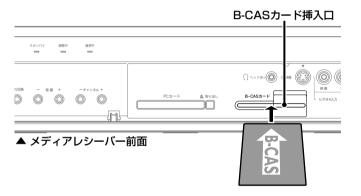
本機には、通常のリモコンのほかに、テレビを見るなどの基本操作のみに使える簡単リモコンがあります。

ご注意

- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- リモコンを水に濡らしたり温度の高いところに置かないでください。

B-CAS（ビーキャス）カードについて

デジタル放送（地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル）では、B-CASカードがないと放送を受信できません。**必ず、付属のB-CASカードをメディアレシーバーに挿入してください。**また、付属のユーザー登録ハガキをご覧になり、B-CASカードのユーザー登録をしてください。（登録無料）

B-CASカードの挿入のしかた

▲ メディアレシーバー前面

お知らせ

- B-CASカードは、デジタル放送の受信に必要な情報を書き込むためのICカードです。
- デジタル放送では、番組の著作権保護のため1回だけ録画可能とするコピー制御信号を送信しています。B-CASカードは、この制御信号を有効とするためにも利用されます。
- 有料チャンネル、ペイ·パー·ビュー（PPV）番組、ＮＨＫなどを視聴するときの契約情報は、B-CASカードに書き込まれます。また、双方向通信サービスの利用時にも情報の照合のために必要となります。
- B-CASカードには、有料チャンネルの契約情報が記録されますが、契約した方の個人情報（住所氏名など）は書き込まれません。

B-CAS カードが読み取れないときは

● B-CASカード挿入口やB-CASカードにゴミなどが付いていないか、ご確認ください。

● メディアレシーバーの主電源を切ってからB-CASカードを抜き差ししてください。それでもB-CASカードが読み取れないときは、B-CASカードが故障しているおそれがあります。B-CASカードのカスタマーセンター（TEL：0570-000-250）までご連絡ください。

「B-CAS カードに必要な情報がありません」と表示されたときは

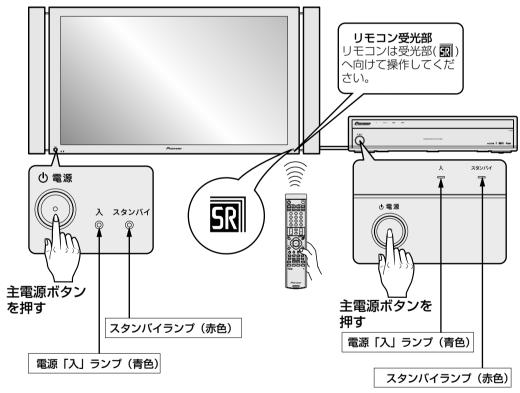
● 契約されていないチャンネルを選局しています。ご覧の放送チャンネルのカスタマー センターにご連絡のうえ、ご契約ください。

電源を入れてテレビを見る

確認してください！

- □ 設置は終わっていますか？ ☞32 ページ
- □ スピーカーは接続しましたか？ ☞33 ページ、35 ページ
- □ メディアレシーバーとディスプレイは接続しましたか？ ☞36 ページ
- □ アンテナは接続しましたか？ ☞38 ページ
- □ B-CAS カードを挿入していますか？ ☞27 ページ
- □ 電話回線は接続しましたか？ ☞41 ページ
- □ リモコンに電池は入っていますか？ ☞23 ページ
- □ 電源プラグをコンセントに接続しましたか？ ☞36 ページ
- □「かんたん設定」は終わっていますか？ ☞43 ページ

電源を入れる

1 メディアレシーバーとディスプレイの主電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

電源「入」ランプ（青）が点灯します。

メディアレシーバーとディスプレイの電源「入」ランプが、両方とも青色で点灯していることを確認してください。

- スタンバイランプ（赤）が点灯しているときは ☞ 手順２へ
- 電源「入」ランプ（青）が点灯しているときは ☞ 手順３へ

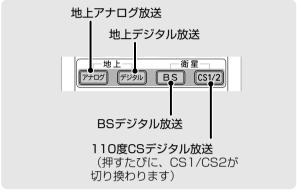
2 リモコンの 電源 ⏻ ボタンを押す

ディスプレイのリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。**電源が入ると、電源「入」ランプ（青）が点灯します。**

お知らせ

- リモコンの 電源 ⏻ ボタンを押して電源を切ると、本機はスタンバイ状態になります。スタンバイ（主電源が入った状態）で、本機は放送局からのさまざまな情報を取得しています。**通常は、メディアレシーバーの主電源ボタンで電源を切らないで、スタンバイ状態にしておくことを、おすすめします。**
- スタンバイランプ（赤）が点灯しているときは、本機が待機（スタンバイ）状態です。
- すべてのランプが消灯しているときや、スタンバイランプが点滅しているときは、リモコンで操作できません。

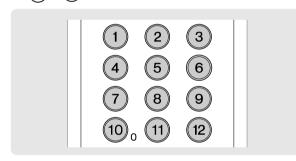
放送を選ぶ

3 リモコンの放送切換ボタンで、見たい放送を選ぶ

お知らせ

- ビデオ1～ビデオ4入力端子に接続した機器の映像を見たいときは、ビデオ1～ビデオ4を押して外部入力に切り換えます。

4 チャンネルを選ぶ

チャンネルボタン（①～⑫）の場合

● ①～⑫を押してチャンネルを選びます。

チャンネル（＋/－）ボタンの場合

● 押すたびに次のチャンネルに順送り/逆送りできます。

デジタル放送の３桁チャンネル番号を入力する場合 3桁入力 CH

● 3桁入力 CH を押すと、3桁チャンネル番号入力画面が表示されます。①～⑩0を押して3桁チャンネル番号を入力してください。

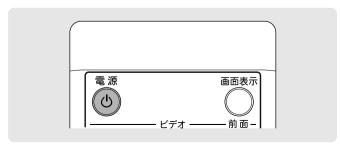
お知らせ

- 「0」を入力するときは、⑩0を押してください。
  間違って入力したときは、⑫を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。
- **地上デジタル放送で同じチャンネルに複数の放送がある場合（枝番入力）：**
  地上デジタル放送では、隣接する他地域の放送を受信できる場合、3桁チャンネル番号が重複することがあります。この場合、枝番（4桁目の番号）によって、チャンネル（放送局）が区別されます。枝番があるときは、チャンネル番号を入力すると、該当する複数の放送が一覧表示されます。リストで枝番号を確認して①～⑩0で枝番を入力してください。

  地上D 231
  0 マーキュリーテレビ
  1 テレビマーズ
  2 ジュピターテレビ

電源を切るときは

5 リモコンの 電源 ⏻ ボタンを押して、電源を切る

本機がスタンバイ（待機状態）になり、スタンバイランプ（赤）が点灯します。

次回、電源を入れるときには、リモコンの 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れてください。

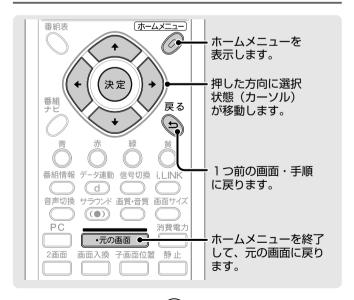
ホームメニューとは

リモコンの[ホームメニュー]を押すと「ホームメニュー」が表示されます。ホームメニューでは、テレビ画面上でいろいろな設定ができます。ここではホームメニューの基本的な使いかたを説明します。

ホームメニューを使うには

[ホームメニュー]を押すと、ホームメニュー画面が表示されます。画質を細かく調整したいときなど、テレビの設定を変更したいときにホームメニューを使います。

お知らせ

- お買い上げ後、初めて電源を入れると、かんたん設定画面が自動的に表示されます。画面の案内に従って、設定を行ってください。(☞43ページ)
  かんたん設定画面の操作方法は、ホームメニューと同じです。
- 本書に記載しているイラストや画面は、イメージであり説明用のものです。実際とは異なる場合があります。
- メニュー画面で灰色表示されている機能や項目は、選択や設定ができません。
- ホームメニューでは、選択しているメニュー項目の説明や操作方法などのガイドが表示されることがあります。操作の参考にしてください。

- 設定したい項目を選んで(決定)を押すと、次のメニュー画面または設定画面が表示されます。
- 設定画面によっては、(←)(→)で選ぶことがあります。

例

[ホームメニュー]を押すと…

「ホームメニュー」画面

HOME MENU
PLASMA DISPLAY
画質の調整
音質の調整
省エネの設定
おやすみタイマー
その他の設定
初期設定
番組ナビ
ホームギャラリー

(↑)(↓)で「画質の調整」を選んで(決定)を押すと…

「画質の調整」画面

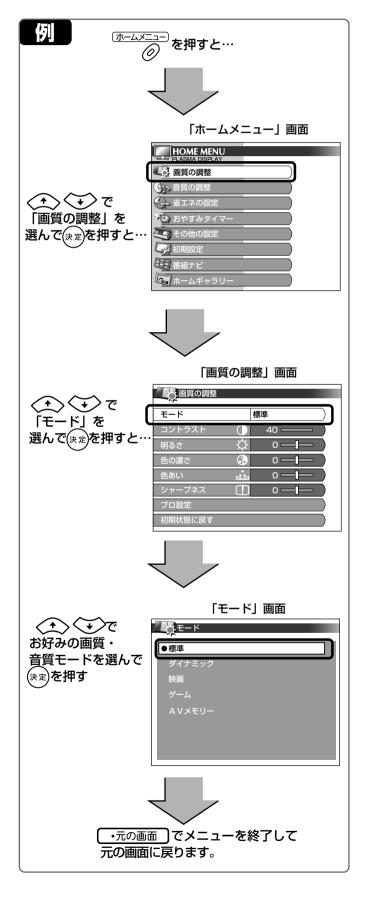
画質の調整		
モード		標準
コントラスト		40
明るさ		0
色の濃さ		0
色あい		0
シャープネス		0
プロ設定		
初期状態に戻す		

(↑)(↓)で「モード」を選んで(決定)を押すと…

「モード」画面

モード
●標準
ダイナミック
映画
ゲーム
AVメモリー

(↑)(↓)でお好みの画質・音質モードを選んで(決定)を押す

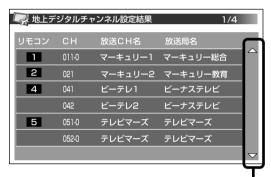
[•元の画面]でメニューを終了して元の画面に戻ります。

1つ前の画面や1つ前の手順に戻るには

 を押す

お知らせ
- 画面に「戻る」が表示されているときは、「戻る」を選んでも戻れます。

1つのメニューで複数画面あるときは

 で項目を送る

で項目を送ると、一番下または一番上の項目で画面が切り換わります。

複数画面にまたがるとき

ホームメニューを終了するには

 •元の画面 を押す

ホームメニューが消えて元の画面に戻ります。

設置の手順

本機を設置して、スピーカーやアンテナ、電話回線などを接続するまでの手順を確認します。次の手順で設置します。

1 置く場所を決める

ご注意

- 「使用上のご注意」(☞9ページ)と「設置時の注意事項」(☞11ページ)をご覧になって、設置場所を決めてください。

2 ディスプレイとメディアレシーバーを設置する

ディスプレイを設置するときは、別売のスタンドを組み立ててから、スタンドにディスプレイを取り付けます。

ご注意

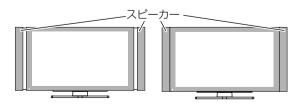
- ディスプレイの取り付けや取り外しは専門業者にご依頼ください。
- ディスプレイを設置するには、別売のスタンドが必要です。スタンドの取り付け方法については、スタンドの取扱説明書をご覧ください。
- メディアレシーバーを縦置きしないでください。故障の原因となります。

3 スピーカーを取り付ける (☞33ページ)

スピーカーをディスプレイに取り付けてケーブルをつなぎます。(「スピーカーを取り付ける」☞33 ページ)

本機にスピーカーを取り付ける方法は、「ワイド取付」と「ダイレクト取付」の２つがあります。

ワイド取付
スピーカーとディスプレイの間が約 15mm 空きます。

ダイレクト取付
スピーカーとディスプレイの間が空きません。

4 メディアレシーバーとディスプレイをつなぐ (☞35ページ)

メディアレシーバーとディスプレイ、スピーカーとディスプレイをつなぎます。
(「プラズマテレビを設置して接続する」☞35 ページ)

5 アンテナや電話回線をつなぐ (☞38ページ、☞41ページ)

地上アナログ放送やデジタル放送のアンテナをつなぎます。また、必要に応じて本機に電話回線をつなぎます。
(「アンテナをつなぐ」☞38ページ、「電話回線をつなぐ」☞41 ページ)

6 電源プラグをコンセントにつなぐ (☞36ページ)

ご注意

- コンセントは必ず最後(手順1〜5の後)に接続してください。

7 電源を入れてかんたん設定をする (☞43ページ)

かんたん設定画面の案内に従って、設定を行ってください。(「設置がすんだら「かんたん設定」」☞43 ページ)

スピーカーを取り付ける

スピーカーをディスプレイに取り付けます。スピーカーは左用・右用があります。取り付ける前にスピーカー裏面のラベルで確認してください。

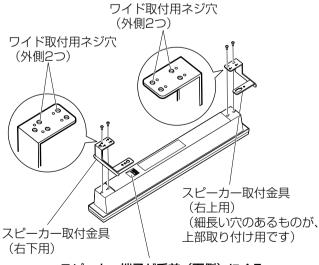
ご注意

- **スピーカーを取り付けるときは、必ず付属のネジを使用してください。付属以外のネジを使用すると、スピーカーが外れて落下するおそれがあります。**
- **スピーカーを取り付けるときは、ネジにゆるみがないようにしっかりと締めてください。**
- **本機を持ち運ぶときには、スピーカー部分を持たないでください。スピーカーが外れるおそれがありますので、ディスプレイの下部と取っ手を持って持ち運んでください。**
- **ダイレクト取付からワイド取付に、またはワイド取付からダイレクト取付に変更したいときは：**
  スピーカー取付金具をディスプレイとスピーカーから取り外して、最初から取り付け直してください。

1 スピーカーにスピーカー取付金具を取り付ける

スピーカー取付金具は、右スピーカー/左スピーカー別に、それぞれ上下用があります。スピーカー背面の上部と下部に、それぞれスピーカー取付金具を付属のネジで取り付けます。（図参照）

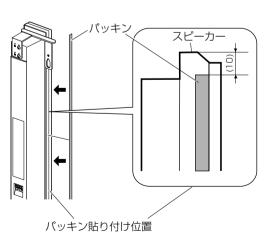
図は、右スピーカーの例です。左スピーカーも同様に取り付けます。

ワイド取付の場合

スピーカー端子が手前（下側）にくるように置きます。（右スピーカーの例）

ダイレクト取付の場合

スピーカー端子が手前（下側）にくるように置きます。（右スピーカーの例）

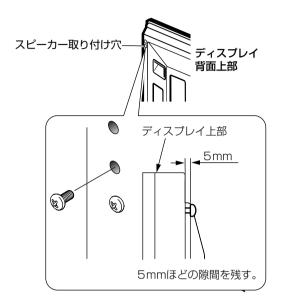
2 ダイレクト取付の場合は、スピーカーの側面（ディスプレイと接する面）に付属のパッキンを貼り付ける

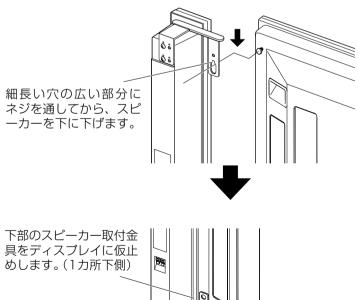
ダイレクト取付時は、緩衝のため、付属のパッキンを使います。パッキンのシートをはがして、スピーカー側面に貼り付けてください。

お知らせ

- 以降の手順は、ワイド取付のときの図を例にして説明しています。

次頁へつづく

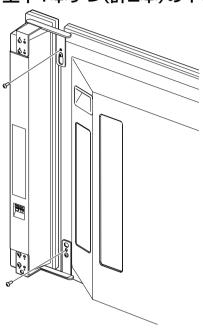
3 ディスプレイ背面上部のスピーカー取り付け穴(2つあるうちの下側)に、付属のネジを取り付ける

まだ、ネジを完全に止めないでください。5mm程度を残して軽く取り付けておきます。

4 取り付けた上部のネジを、スピーカー取付金具(上部)の細長い穴(広い部分)に通して引っ掛け、下のネジを仮止めする

スピーカー取付金具(上部)の細長い穴の広い部分にネジを通してから、スピーカーを下に下げます。

5 スピーカーの位置を調整する

スピーカーとディスプレイのすき間が均一になるように調整し、スピーカーとディスプレイの高さを合わせます。

その後、手順3と4で仮止めした2本のネジを締めて固定します。

6 上下1本ずつ(計2本)のネジを締める

図は、右スピーカーの例です。左スピーカーも同様に取り付けます。

プラズマテレビを設置して接続する

スピーカーとディスプレイ、メディアレシーバーとディスプレイをそれぞれつなぎます。

ご注意

- ディスプレイの取り付けや取り外しは専門業者にご依頼ください。
- ディスプレイを設置するには、別売のスタンドが必要です。スタンドの取り付け方法については、スタンドの取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーの接続・取り付け方法の変更をする前に、接続する各機器の電源を必ず切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

スピーカーケーブルをつなぐ

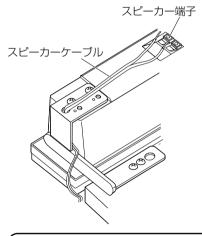
1 スピーカー取付金具の穴にケーブルを通す

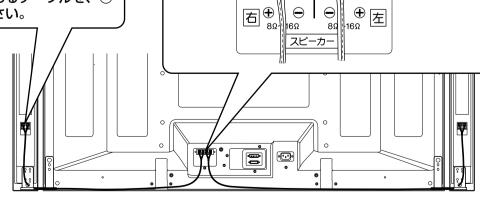
2 スピーカーケーブルをつなぐ（スピーカー側）

⊖ ⊕
黒 赤
灰色線
白

スピーカー端子の極性が合うように、それぞれ⊕の端子どうし、⊖の端子どうしを正しく接続してください。その際、⊕は灰色の線のあるケーブルを、⊖は白のケーブルを接続してください。

スピーカーケーブルのつなぎかた

レバーを押してケーブルの先端を差し込みます。
レバーを放すとスピーカーケーブルが固定されます。

3 スピーカー取付金具の溝にケーブルを押し込む

4 スピーカーケーブルをつなぐ（ディスプレイ側）

スピーカー端子の極性が合うように、それぞれ⊕の端子どうし、⊖の端子どうしを正しく接続してください。その際、⊕は灰色の線のあるケーブルを、⊖は白のケーブルを接続してください。

ご注意

- スピーカーケーブルを端子の奥まで差し込むと、被覆（ビニール部分）を挟み込んで音が出なくなる場合があります。
  銅線が外側から少し見えるように差し込んでください。

メディアレシーバーとディスプレイをつなぐ

ご注意

電源コードは最後に（他のケーブルの接続が終わってから）接続してください。

- すべての接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

▲ディスプレイ背面

システムケーブル（白）接続端子
システムケーブル（黒）接続端子
コンセント
AC変換プラグ（付属品）
白
黒
電源コード（3ピン）（付属品）
アース線
端子に差し込んだあと、ネジを時計方向に回して固定します。
両側のフックが「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込みます。
ノイズフィルター
電源から入ってくるノイズをカットします。
システムケーブル（付属品）
システムケーブル（黒）接続端子へ
黒
システムケーブル（白）接続端子へ
白
コンセント
AC変換プラグ（付属品）

▲メディアレシーバー背面

電源コード（3ピン）（付属品）
アース線
ノイズフィルター
電源から入ってくるノイズをカットします。

システムケーブルのつなぎかた

①▶部を指でつまんで、フックを広げる
②フックを広げたまま奥まで挿入する
③指をはなし、フックが端子のツメにかかっているか確認する

抜けかかり例

図のように、曲がったり抜けかかっていないか確認してください。

ご注意

- アース線は、絶対にコンセントに挿入しないでください。
- 本機の電源コードは、ディスプレイ用、メディアレシーバー用ともに3ピンプラグになっています。性能維持のため、必ずアース線を接続してください。
- アース端子のある2芯コンセントのときは、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。コンセントが3芯のときは、AC変換プラグを付けず、そのままお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。

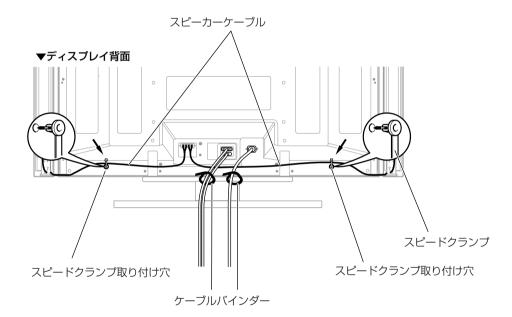
ケーブルを束ねる

ケーブルを束ねるときは、付属のスピードクランプやビーズバンド、スタンドに付属のケーブルバインダーを使います。（ビーズバンドは、必要に応じてご使用ください。）

ケーブルを出す方向に合わせて、スピードクランプを取り付けます。
※ 当社別売のスタンドを使わないときは、図の2カ所の矢印（→）の穴を、スピードクランプ取り付け穴としてご利用ください。

スピードクランプの使いかた

束ねたケーブルをスピードクランプでくるむようにして、Ⓐの穴にⒷを押し込みます。

スピードクランプを外すには、ペンチを使って90度ねじって引っ張ります。（場合によっては、劣化したり、破損することがあります。）

アンテナをつなぐ

本機にアンテナをつなぎます。

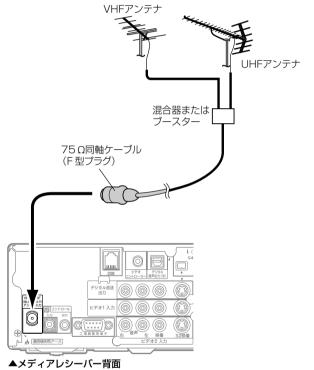
お知らせ

- アンテナの取り付けや取り扱いについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

地上アナログ放送のアンテナ（VHF/UHF）をつなぐ

ご注意

- 平行フィーダー線は、しま模様などの妨害を受けやすくなりますので使用しないでください。

▲メディアレシーバー背面

お知らせ

- アンテナ屋内端子がVHFとUHFで分かれているときは、市販の混合器を使用してください。

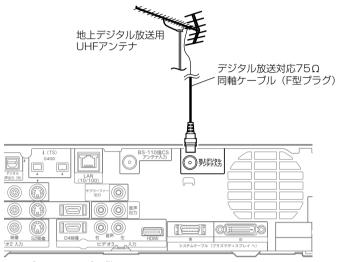
ケーブルテレビ（CATV）をつなぐ

ケーブルテレビ(CATV)を視聴するときは、ケーブルテレビ会社と受信契約が必要です。

有料チャンネルの受信にはセットトップボックス(チューナー)が必要です。

ケーブルテレビ会社によって受信できるチャンネルや接続方法が異なります。

詳しくは各ケーブルテレビ会社にご相談ください。

地上デジタル放送のアンテナ（UHF）をつなぐ

▲メディアレシーバー背面

地上デジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナレベルを確認し(☞131ページ)、「初期スキャン」(☞122ページ)でチャンネルを設定してください。

お知らせ

- 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で開始されますので、受信エリアが限定されます。
- 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。
- 受信するには、地上デジタル送出局に向け、アンテナを設置してください。お使いの地上アナログ放送のUHFアンテナが地上デジタルの放送局と同じ方向のときは、従来のアンテナをそのままお使いいただけます。
- デジタル放送対応のブースター･分配器などが必要なときがあります。
- 地上デジタル送出局からの放送出力が増大された場合、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要な場合があります。
- 本機では、地上デジタル放送の送信状況が変わったとき(新規の開局など)、お知らせメッセージが届くことがあります。このとき「チャンネル自動変更」を「する」に設定していると、自動でチャンネル設定が変更されます。「しない」に設定しているときは、お知らせメッセージに従って「再スキャン」を行ってください。
(地上アナログ放送などの電波の送出変更に関しては、メッセージは表示されませんので、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。)

ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を見るときは

本機はCATVパススルー方式に対応しています。ケーブルテレビ局からの放送がCATVパススルー方式のとき、ケーブルを直接接続することで地上デジタル放送が受信できます。

（地上デジタル放送の設定については☞122 ページ）

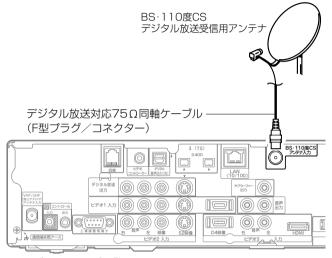
お知らせ

- トランスモジュレーション方式のとき、別途ケーブルテレビ会社から提供されるセットトップボックス（ＳＴＢ）が必要になります。接続方法等は、ご契約されたケーブルテレビ会社にご相談ください。

BS・110度CSデジタル放送用の衛星アンテナをつなぐ（個別受信のとき）

BS・110度CSデジタル放送用のアンテナをつないだあとは、アンテナの設定をします。個別受信の場合は、アンテナに本機から電源を供給するように設定してください。（☞132ページ）

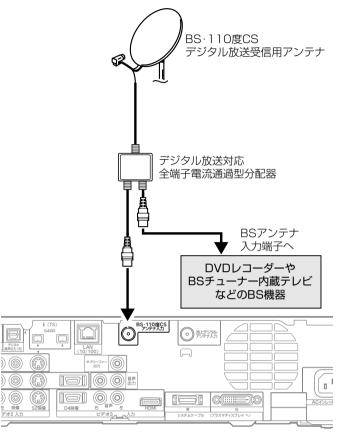
▲メディアレシーバー背面

ご注意

- BS·110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。接続後は、お使いの状況に合わせて設定してください。（☞132ページ）
- お買い上げ時は、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- BS·110度CSデジタル放送の受信には、必ず、BS·110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナをお使いください。従来のBSアナログ放送用の衛星アンテナでは、受信できなかったり、映像が乱れることがあります。
- BS·110度CSデジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。かんたん設定（☞43ページ）やBS·110度CSデジタル放送用のアンテナ設定（☞132ページ）をしてください。

お知らせ

- アンテナケーブルやブースター、混合器、分配器などをお使いの場合は、デジタル放送に対応しているものをお使いください。

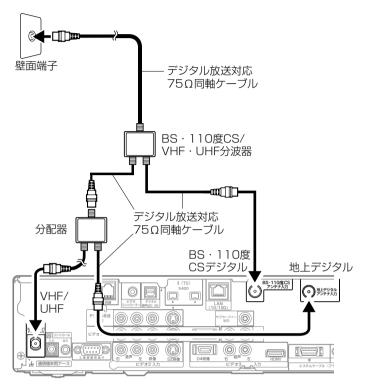
BS チューナー内蔵機器などをつなぐときは

● BSチューナー内蔵DVDレコーダーなどを接続するときは、市販のデジタル放送対応アンテナ分配器（全端子電流通過型）をお使いください。

▲メディアレシーバー背面

共同受信のときは

マンションなどの共同受信のときや、すべての放送が混合されているときは、分波器と分配器でつなぎます。

▲メディアレシーバー背面

ご注意

- BS·110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。(☞132ページ)

お知らせ

- アンテナケーブルや分配器などをお使いのときは、デジタル放送に対応しているものをお使いください。

電話回線をつなぐ

電話回線をつなぐと、デジタル放送の双方向通信サービスを利用したり、有料番組を購入できます。

電話回線の種類を確認する

下記に従って、お使いの電話回線の種類を確認してください。

お知らせ

- 電話回線とは別に、インターネット常時接続のブロードバンド環境でLANに接続すると、インターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。LAN（10BASE-T/100BASE-TX）接続ができる方は、LANの接続もしてください。（「ネットワークにつなぐ」 ☞110ページ）

お客様がお使いの電話回線は
通常の電話回線ですか？　ISDN回線（デジタル回線）ですか？

通常の電話回線
ISDN回線

お客様のお住まいは
集合住宅ですか？　一戸建てですか？

ターミナルアダプター
を使っていますか？

はい
いいえ

集合住宅
一戸建て

NTTに基本料金・通話料金を
払っていますか？

払っている

お手持ちの電話機は2台
以上ありますか？

押さない（NTT回線）

払っていない

2台以上
1台

通常、外線をかけるとき、
どのボタンを押していますか？

コードレスホンですか？

0〜9以外
0〜9

電話設定（☞56ページ）
を行ってください

いいえ
はい

電話機間で内線通話が
可能ですか？

はい

電話機の本体、ターミナルボックス、
またはドアホンアダプターは
壁に埋め込まれていますか？

いいえ
いいえ
はい

3ピン差し込みコンセント
ですか？

いいえ

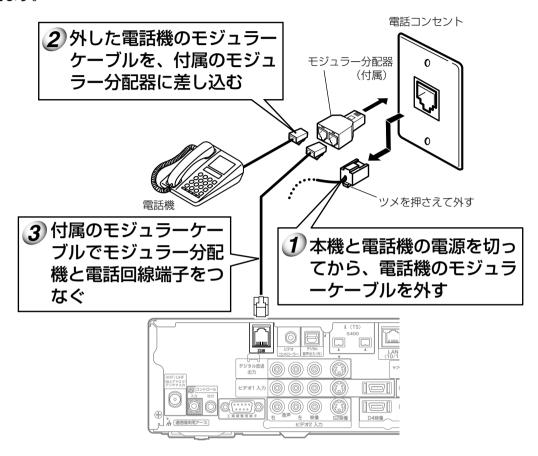
モジュラーコンセント
ですか？

はい
いいえ
はい

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお買い求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属のモジュラーケーブルとモジュラー分配器のみでつなげます。
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、または116（局番なし）でご相談ください。

電話回線につなぐ

有料放送を見たり双方向通信をするために、本機に電話回線をつなぎます。

ご注意

- 電話用のモジュラーケーブルをLAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に接続しないでください。故障の原因となります。
- キャッチホンでは通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンIIへのご加入をおすすめします。詳細はお近くのNTT営業窓口、または116(局番なし)にお問い合わせください。
- 本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。（回線使用中は、メディアレシーバー前面の「通信中ランプ」が緑色で点灯します。）通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。
- 1つの電話回線に3つ以上の機器を接続する場合は、市販のモジュラー分配器とモジュラーケーブルを必要に応じて別途お買い求めください。
- デジタル回線を直接接続することはできません。会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）などの端末器を介して接続してください。
- ホームテレホン･ビジネスホン用の回線には、そのまま接続しないでください。本機をホームテレホン･ビジネスホン用の回線にそのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障･発熱･火災の原因となることがあります。詳細は電話設置会社にご相談ください。

ご注意

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続：

- 3ピンプラグの場合には、市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお買い求めください。
- 直結配線方式の場合には、簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、または116(局番なし)にお問い合わせください。

NTT以外の電話回線をご使用の場合：

- NTT以外の電話回線やIP電話などをお使いの場合、つながらないことがあります。そのときには、NTTの電話回線に切り換えるとつながることがあります。切り換えの方法については、電話回線業者にお問い合わせください。

お知らせ

- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る場合がありますが故障ではありません。
- 通信先によっては、お客様がご契約している電話会社以外の会社から請求が来る場合があります。

設置がすんだら「かんたん設定」

[かんたん設定]

お買い上げ後、初めて電源を入れると、かんたん設定画面が自動的に表示されます。
画面の案内に従って、設定を行ってください。

確認してください！

□設置は終わっていますか？ ☞32ページ
□スピーカーは接続しましたか？ ☞33ページ、35ページ
□メディアレシーバーとディスプレイは接続しましたか？ ☞36ページ
□アンテナは接続しましたか？ ☞38ページ
□B-CAS（ビーキャス）カードを挿入していますか？ ☞27ページ
□電話回線は接続しましたか？ ☞41ページ
□リモコンに電池は入っていますか？ ☞23ページ
□電源プラグをコンセントに接続しましたか？ ☞36ページ

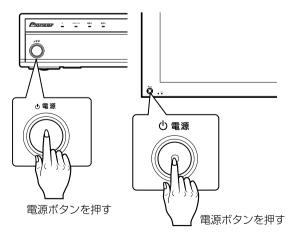
お知らせ

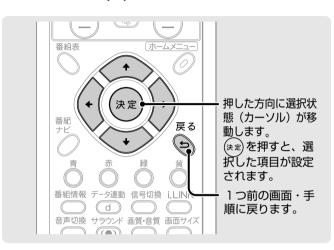
- あとから地上デジタル放送やBS･110度CSデジタル放送のアンテナをつなぐ場合や、引越しなどでもう１度設定をやり直したいときは、ホームメニューから、いつでも「かんたん設定」を表示できます。(☞46ページ)
- しばらく何も操作しないと、自動的に「かんたん設定」が終了します。その場合は、その時点までの設定内容は保存されます。もう一度「かんたん設定」をやり直したいときには、ホームメニューから表示してください。(☞46ページ)

かんたん設定を始める

1 メディアレシーバーとディスプレイの主電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

電源「入」ランプ（青）が点灯します。

電源ボタンを押す　電源ボタンを押す

2 かんたん設定 が始まったら、画面の案内に従って操作する

で項目を選んで（決定）を押します。

「かんたん設定」では、設定内容の説明や操作方法などの操作ガイドが表示されます。また、設定するかどうかの確認や設定結果も表示されます。画面の説明をよく読んで操作してください。

操作ガイド

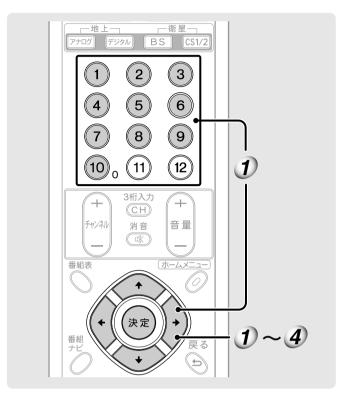
次頁へつづく

ステップ1：地上アナログ放送のチャンネル設定

［一括チャンネル設定/チャンネル設定結果］

地上アナログ放送のチャンネルを設定します。

1 地域名 または 地域コード を選んで、お住まいの地域を設定する

地域名	◀ ▶ で地域を選びます。
地域コード	①～⑩₀を押して3桁の地域コードを入力します。（地域コードについては ☞151 ページ）

2 決定 を押す

地上アナログ放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

3 チャンネルを確認して 決定 を押す

4 デジタル放送の設定をするかどうかを選んで 決定 を押す

続けてデジタル放送の設定をするかどうかの確認画面が表示されます。BS・110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナを接続した方は、「する」を選んで 決定 を押します。

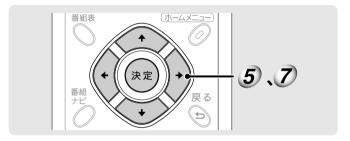
デジタル放送の設定をしない方は

● 「しない」を選んだとき、「時計合わせ」画面が表示されます。画面の説明に従って、日付と時刻、時計合わせ用のチャンネルを指定してください。（☞121 ページ）

ステップ2：　衛星放送のアンテナの設定

［衛星アンテナ設定］

衛星アンテナの電源供給をするかどうかを設定して、アンテナレベルを確認します。

5 衛星アンテナに本機から電源を供給するかどうかを ◀ ▶ で選んで 決定 を押す

入	個別に衛星アンテナを設置しているときに選びます。本機からアンテナに電源が供給されます。
切	マンションの共同アンテナのときなどに選びます。

6 入 を選んだときは、アンテナレベルを確認する

お知らせ

- 「現在値」が「最大値」に近づくように、アンテナの向きや角度を調整します。（☞132ページ）

7 アンテナレベルの確認が終わったら 決定 を押す

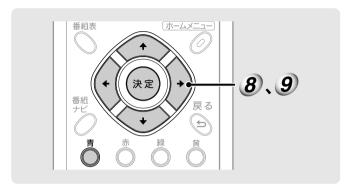
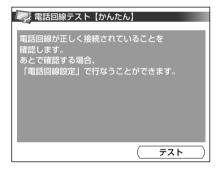
電話回線のテスト画面が表示されます。

ステップ3：　電話回線のテスト

［電話回線テスト］

デジタル放送の有料番組を購入するときや双方向通信の番組に参加するときは、接続した電話回線のテストをします。

電話回線のテストをしない方は

● 電話回線のテストをしないときは、青を押すと、「**ステップ4：居住地域の設定**」に進みます。

8 決定を押す

電話回線のテストが始まり、しばらくすると結果が表示されます。

「電話回線テストに失敗しました」と表示されたときは

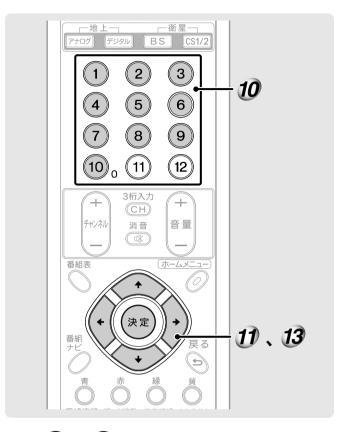
● かんたん設定終了後、電話回線接続や設定を確認して、もう一度テストを行ってください。（☞41 ページ、135 ページ）

9 決定を押す

居住地域の設定画面が表示されます。

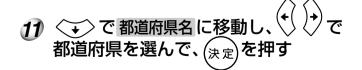
ステップ4：　居住地域の設定

［居住地域設定］

居住地域を設定すると、お住まいの地域に関する緊急警報放送やデータ放送が受信できます。

10 1～10₀を押して7桁の郵便番号を入力する

お知らせ

- 間違って入力したときは、12を押すと１つ前の桁に戻って入力し直せます。
- ←→を押すとカーソルが移動します。

11 ↓で 都道府県名 に移動し、←→で都道府県を選んで、決定を押す

次頁へつづく

12 地上デジタル放送の設定をするかどうかを選んで 決定 を押す

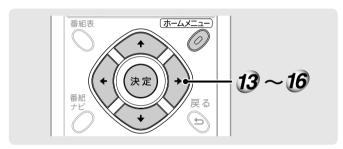
続けて地上デジタル放送の設定をするかどうかの確認画面が表示されます。地上デジタル放送のアンテナを接続した方は、「はい」を選んで 決定 を押します。

地上デジタルの設定をしない方は

- 「いいえ」を選んだ場合「かんたん設定」の終了確認画面に変わります。決定 を押すと、かんたん設定が終了します。（または、・元の画面 を押しても終了します。）

ステップ5：地上デジタル放送のチャンネル設定

［地上デジタル設定］

地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

13 ← → で地域を選ぶ

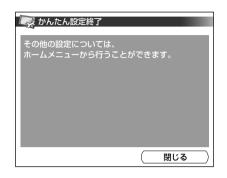
14 ↓ で スキャン開始 を選んで、決定 を押す

地上デジタル放送の初期スキャンが始まります。しばらくすると、地上デジタル放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

15 チャンネルを確認して 決定 を押す

「かんたん設定」の終了確認画面に変わります。

16 決定 を押す

かんたん設定が終了します。（または、・元の画面 を押しても終了します。）

かんたん設定をやり直すときは

あとから地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送のアンテナをつないだ場合など、ホームメニューから「かんたん設定」を呼び出せます。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 かんたん設定 を選んで 決定 を押す

「かんたん設定」が始まります。画面の案内に従って操作してください。

番組表 / 週間番組表で番組を選ぶ

番組表 ／ ［番組表］

番組表/週間番組表を使って、見たい番組を選びます。

番組表を使う

お知らせ

- 地上アナログ放送の番組表はGガイドシステムを利用しています。Gガイドに対応していない地上アナログ放送のチャンネルでは、番組表の内容が表示されません。
- 地上アナログ放送の番組表データを受信するには、番組表データの送信時刻に、本機がデジタル放送の視聴状態か、またはスタンバイ状態である必要があります。**(番組表データの送信時刻☞118ページ)**
- かんたん設定直後は、地上アナログ放送の番組表は表示されません。半日以上スタンバイ状態にするか、デジタル放送を受信してください。地上アナログ放送の番組表が表示されないときは、チャンネル設定や地域設定を確認してください。**(☞119ページ)**
- 地上デジタル放送の番組表のデータが表示されないときは、チャンネルを選んで (決定) を押すと表示されます。(表示に数分かかる場合があります。)

1 アナログ デジタル BS CS1/2 で、見たい放送に切り換える

2 番組表 を押す

番組表が表示されます。

お知らせ

- 番組ナビ を押して、メニューから「番組表」を選んでも番組表が表示されます。
- ホームメニューの「番組ナビ」から「番組表」を選んでも番組表が表示されます。
- 現在より前(過去)の番組は表示されません。

3 で番組を選んで (決定) を押す

放送中の番組のとき

- 選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

- 予約登録画面が表示されます。「録画／視聴」で「視聴」を選んでから「予約する」または「視聴予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。

「放送予定の番組を視聴予約する」☞50 ページへ

(録画予約については ☞64 ページ)

お知らせ

- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。**(☞57ページ、☞86ページ)**
- 番組表を消したいときは、［・元の画面］を押します。

番組表 (例：BS デジタル放送)

放送を切り換えるには

- アナログ デジタル BS CS1/2 を押して放送を選びます。選択した放送の番組表に変わります。

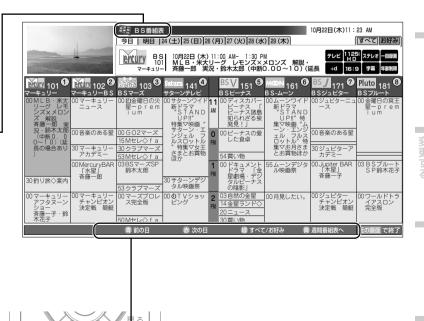
表示対象を切り換えるには (デジタル放送の場合)

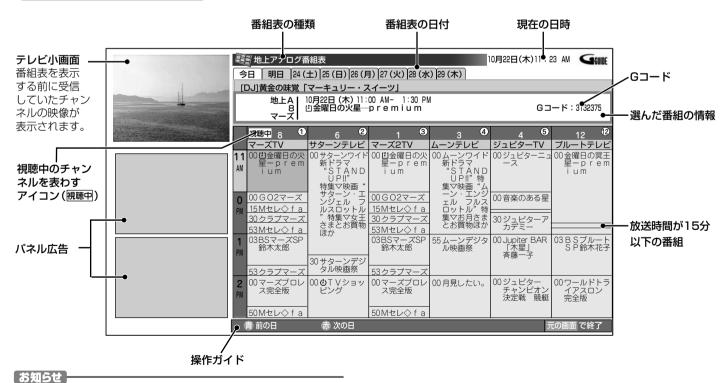
- 緑 を押すたびに、「すべて」(すべてのチャンネル) と「お好み」(お好み登録されているチャンネル) が切り換わります。**(☞53ページ)**

日付を切り換えるには

- 青 を押すと前の日の番組表に、赤 を押すと次の日の番組表に変わります。

番組表を切り換えるには (デジタル放送の場合)

- 黄 を押すたびに、番組表と週間番組表が切り換わります。**(☞49 ページ)**

デジタル放送 番組表の見かた（例：BS デジタル放送）

地上アナログ放送 番組表の見かた

お知らせ

選んだ番組の詳細を見たいとき

- 番組情報 を押すと、選択した番組情報が表示されます。
  もう一度 番組情報 を押すと、番組表に戻ります。

週間番組表を使う（デジタル放送のみ）

お知らせ
- 週間番組表は、デジタル放送のときだけ利用できます。

1 デジタル放送の番組表を表示中に 黄 を押す

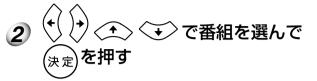
選んでいたチャンネルの週間番組表が表示されます。

お知らせ
- 現在より前(過去)の番組は表示されません。
- デジタル放送を見ているときに、番組ナビ を押して、メニューから「週間番組表」を選んでも週間番組表が表示されます。
- 黄 を押すたびに、番組表と週間番組表が切り換わります。(☞47ページ)

チャンネルを切り換えるには

- 青 を押すと前のチャンネルに、赤 を押すと次のチャンネルに変わります。
- ①～⑫ を押すと、選んだチャンネルに変わります。
- 3桁入力 CH を押すと、３桁チャンネル番号入力画面が表示されます。①～⑩₀を押して3桁チャンネル番号を入力してください。

お知らせ
- 週間番組表の表示中に 番組情報 を押すと、選択した番組の情報が表示されます。もう一度 番組情報 を押すと週間番組表に戻ります。
- 週間番組表の表示中に 黄 を押すと、番組表が表示されます。もう一度 黄 を押すと、週間番組表に戻ります。

2 で番組を選んで 決定 を押す

放送中の番組のとき

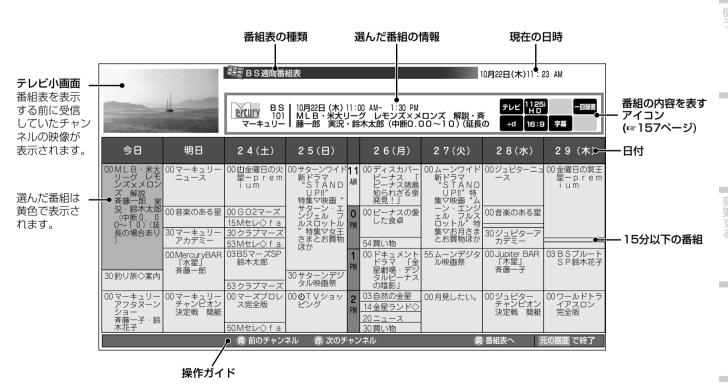
- 選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

- 予約登録画面が表示されます。「録画／視聴」で「視聴」を選んでから「予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。

「放送予定の番組を視聴予約する」☞50 ページへ
（録画予約については ☞64 ページ）

お知らせ
- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を視聴するときは、画面の指示に従ってください。(☞57ページ、☞86ページ)
- 週間番組表を消したいときは、 元の画面 を押します。

週間番組表の見かた（例：BS デジタル放送）

放送予定の番組を視聴予約する

番組表/週間番組表で放送予定の番組を選んで（決定）を押すと、番組の予約登録画面が表示されます。予約した日時になると予約番組に切り換わります。

（録画予約については☞64ページ）

ご注意

- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。（☞57ページ、☞86ページ）
- 有料番組を予約すると、予約した番組の視聴開始時点で料金が発生します。

1 予約登録画面の 録画/視聴 で 視聴 を選ぶ

デジタル放送を予約するとき

● ◀ ▶ で「録画／視聴」に移動して、▲ ▼ で「視聴」を選びます。

「視聴」を選ぶ

地上アナログ放送を予約するとき

● 手順2に進んでください。特に操作をする必要はありません。

2 （決定）を押す

デジタル放送を予約するとき

●「予約する」にカーソルが移動します。

地上アナログ放送を予約するとき

●「視聴予約する」にカーソルが移動します。

3 予約する（または 視聴予約する ）が選ばれていることを確認して（決定）を押す

番組が予約されて、「予約が完了しました」と表示されます。

4 （決定）を押す

お知らせ

- 本機がスタンバイ状態の場合、視聴予約は実行されません。
- 最大予約数は、地上アナログ放送とデジタル放送合わせて28件です。28件を超えるときは、これ以上予約できないことを知らせるメッセージが表示されます。
- 予約した時刻にテレビを見ていたときは、予約実行の確認画面が表示されます。
- 地上アナログ放送では、「視聴」の予約だけができます。録画の予約はできません。

日時を指定して予約するには

マニュアル予約画面で、日時とチャンネルを指定して予約できます。「録画／視聴」で「視聴」を選んでから「予約する」（または「視聴予約する」）を選ぶと、番組の視聴予約ができます。

（☞66ページ）

予約内容を確認して変更・削除するには

予約一覧画面で、予約内容を確認できます。また、予約の変更と削除もできます。（☞67ページ）

映画やドラマなどのジャンルで探す

[ジャンル検索]

番組のジャンルから見たい番組を探せます。

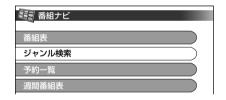
お知らせ
- 地上アナログ放送のジャンル検索にはGガイドシステムを利用しています。Gガイドに対応していない地上アナログ放送のチャンネルでは、検索ができない場合があります。
- 本機は、放送局から送られた番組データをもとに番組を探します。実際の放送では該当する項目が含まれている番組でも、選んだジャンルによっては番組が探せないことがあります。

1 アナログ デジタル BS CS1/2 で、見たい放送に切り換える

2 番組ナビ を押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

3 ジャンル検索 を選んで 決定 を押す

ジャンル検索画面が表示されます。

ジャンル検索画面の見かた

ジャンル検索の種類　検索の日付　デジタル放送の場合、現在の検索対象が緑色で表示されます。

BSジャンル検索　10月22日(木)11：23 AM
今日 明日 24(土) 25(日) 26(月) 27(火) 28(水) 29(木)　すべて お好み

メインジャンル: ニュース／報道、スポーツ、情報／ワイドショー、ドラマ、音楽、バラエティ、映画、アニメ／特撮、ドキュメンタリー／教養、劇場／公演、趣味／教育、福祉、その他

サブジャンル: すべて、芸能・ワイドショー、ファッション、暮らし・住まい、健康・医療、ショッピング・通販、グルメ・料理、イベント、番組紹介・お知らせ、その他

青 前の日　赤 次の日　緑 すべて/お好み　元の画面 で終了

メインジャンル　操作ガイド　サブジャンル

放送を切り換えるには

- アナログ デジタル BS CS1/2 を押して放送を選びます。選択した放送のジャンル検索画面に変わります。

検索対象を切り換えるには（デジタル放送のとき）

- 緑 を押すたびに、「すべて」（すべてのチャンネル）と「お好み」（お好み登録されているチャンネル）が切り換わります。（☞53ページ、☞127ページ）

日付を切り換えるには

- 青 を押すと前の日のジャンル検索画面に、赤 を押すと次の日のジャンル検索画面に変わります。

4 メインジャンルを選んで ➔ または 決定 を押す

お知らせ
- メインジャンルで ➔ を押すと、サブジャンルにカーソルが移動します。サブジャンルで ← を押すと、メインジャンルにカーソルが移動します。

5 サブジャンルを選んで 決定 を押す

検索が始まり、しばらくすると検索された番組が表示されます。

6 番組を選んで 決定 を押す

放送中の番組のとき

- 選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

- 予約登録画面が表示されます。「録画／視聴」で「視聴」を選んでから「予約する」または「視聴予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。

「放送予定の番組を視聴予約する」☞50ページへ

（録画予約については☞64ページ）

お知らせ
- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。（☞57ページ、☞86ページ）
- 手順6で 番組情報 を押すと、選択した番組の情報が表示されます。もう一度 番組情報 を押すと、ジャンル検索画面に戻ります。
- ジャンル検索画面を消したいときは、元の画面 を押します。

デジタル放送のチャンネル一覧を使う

[チャンネル一覧]

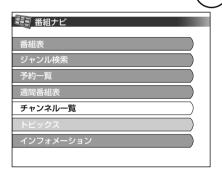
デジタル放送では、チャンネル一覧で、番組内容を確認したり見たいチャンネルを選べます。

1 デジタル放送を見ているときに 番組ナビ を押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ

- アナログ放送の視聴時は、チャンネル一覧は見られません。
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 チャンネル一覧 を選んで 決定 を押す

チャンネル一覧が表示されます。

放送を切り換えるには

- デジタル BS CS1/2 を押して放送を選びます。選択した放送のチャンネル一覧に変わります。

表示対象や放送種類（テレビ / ラジオ / データ放送）を切り換えるには

- 緑 を押すたびに、「**すべて**」（すべてのチャンネル）⇒「**お好み**」（お好み登録されているチャンネル）⇒「**テレビ放送**」⇒「**ラジオ放送**」（BS/CS1/CS2の場合のみ）⇒「**データ放送**」の順に変わります。

  （お好みチャンネルについては☞53ページ、☞127ページ）

お知らせ

- 地上デジタル放送受信中は「ラジオ」は選べません。

3 ◀ ▶ ▲ ▼ でチャンネルを選ぶ

画面上部に、選択したチャンネルの情報が表示されます。

4 決定 を押す

チャンネル一覧が消えて、選んだチャンネルに変わります。

お知らせ

- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。（☞57ページ、☞86ページ）
- チャンネル一覧を消したいときは、 •元の画面 を押します。

チャンネル一覧の見かた

テレビ小画面
チャンネル一覧を表示する前に受信していたチャンネルの映像が表示されます。

チャンネル一覧の種類

現在表示されている放送の種類が緑色で表示されます。 緑 を押すと切り換えられます。
選択できない場合は、文字がグレーで表示されます。
（この例では、「ラジオ」）

チャンネル一覧の内容

地上デジタル放送の場合は、3桁チャンネル番号のあとに枝番が表示されることがあります。
（枝番については☞29ページ）

お好みマーク（お好み）
お好みチャンネルとして登録されていると表示されます。

操作ガイド

お好みチャンネルを登録するには

よく見るデジタル放送のチャンネルを「お好みチャンネル」として登録しておくと、登録した放送局（お好みチャンネル）のみを［チャンネル＋］［チャンネル－］で選局できます。また、番組表にも、「お好みチャンネル」のみを表示できるようになります。チャンネル一覧では、このお好みチャンネルを登録したり、お好みチャンネルの登録を解除したりできます。

1 チャンネル一覧で、お好みに登録したいチャンネルを選んで、［赤］を押す

お好みチャンネルに登録されて［お好み］マークが表示されます。

お好みチャンネルを解除するには

● ［お好み］マークの付いているチャンネルを選んで［赤］を押します。［お好み］マークが消えて、お好みチャンネルの登録が解除されます。

お知らせ

- お好みチャンネル機能を利用するには、「視聴設定」を「お好み」に設定します。(☞127ページ)
- お買い上げ時、リモコンの①～⑫に設定されているチャンネルが、初期状態の「お好みチャンネル」となります。

テレビを見る

番組の詳細を表示する

画面表示 番組情報

番組の情報やテレビのチャンネルなどの情報を表示します。

チャンネル情報を表示する

画面表示

見ている番組の情報やテレビのチャンネルの情報を表示します。

1 画面表示 を押す

画面に情報が表示され、しばらくすると自動的に消えます。

チャンネル情報の表示サイズを切り換えるには [チャンネル情報設定]

画面表示 を押したときに表示されるチャンネル情報の表示サイズを変更できます。

表示サイズ大（お買い上げ時の設定）

表示サイズ小

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 チャンネル情報設定 を選んで 決定 を押す

4 で 大きく表示 か 小さく表示 を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 「サイドマスクの設定」(☞75ページ)が「明るさ自動」になっていると、地上アナログ放送の受信中は設定に関係なく、表示サイズは「小」になります。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

番組情報を表示する

番組情報

放送中の番組の情報を表示します。

1 番組情報 を押す

番組情報が表示されます。

2 番組情報を消すときは、•元の画面 を押す

番組情報が消えて、元の画面に戻ります。

番組情報画面の見かた

音声を切り換える

音声切換

複数の音声を含むデジタル放送の番組や、二カ国語（二重音声）放送、ステレオ放送の音声を切り換えます。

1 音声切換 を押す

押すたびに、音声が切り換わります。

地上アナログ放送のとき

二カ国語／二重音声放送のとき	**主** ⇒ **副** ⇒ **主＋副** の順に変わります。
ステレオ放送のとき	**ステレオ** ⇒ **モノラル** の順に変わります。

デジタル放送のとき

複数の音声があるとき	**音声１** ⇒ **音声２** ⇒ **音声３** …の順に変わります。 •「音声１」「音声２」…の内容は、番組によって異なります。
音声１が二重音声のとき	**音声１（主）** ⇒ **音声１（副）** ⇒ **音声１（主＋副）** ⇒ **音声２** …の順に変わります。 •「音声１」「音声２」…の内容は、番組によって異なります。

お知らせ

- 番組に複数の音声がない場合は、切り換えられません。
- 切り換えられる音声は、番組によって異なります。
- デジタル放送の場合、切り換えた音声が有料の場合があります。
- i.LINK入力（TS録画されたデジタル放送）のときも切り換えられます。

データ連動放送を見る（デジタル放送のみ）

データ連動 d

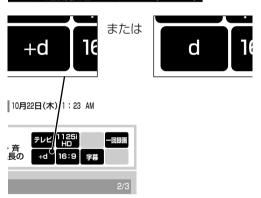
デジタル放送では、データ連動放送を行っていることがあります。番組に関連する情報やニュースなど、さまざまな情報を見られます。

お知らせ

- データ放送の内容や操作方法は、番組や放送局によって異なります。
- データ放送では、本機に接続した電話回線で放送局と通信することがあります。通信中は、電源ボタン以外の操作ができなくなることがあります。
- 本機が電話回線で放送局と通信しているとき（通信中ランプが緑色で点灯）は、電話が使えません。

1 デジタル放送を見ているときに 番組情報 を押す

番組情報が表示されます。次のアイコン（ +d または d ）が表示されている番組には、データ連動放送があります。

データ連動放送のアイコン（マーク）

お知らせ

- d アイコンは、番組とは別のデータ放送を行っている番組です。
- データ アイコンは、独立データ放送です。データ連動 d を押さずに、通常の選局操作で見られます。
- 番組によっては、アイコンは表示されません。

2 番組情報を消すときは、・元の画面（または 番組情報 ）を押す

3 データ連動放送のある番組で データ連動 d を押す

データ連動画面が表示されます。情報が多いときは、表示に時間がかかることがあります。

4 画面の指示に従って操作する

画面の説明に従って、↑ ↓ ← → で項目を選んで 決定 を押します。番組によっては、1～10₀で数字を入力したり、青 赤 緑 黄 を押すこともあります。

5 データ連動画面を消したいときは、・元の画面 を押す

お知らせ

- 独立データ放送では、・元の画面 を押してもデータ放送は終了しません。

有料番組を見る（ペイ・パー・ビュー：PPV）

デジタル放送の有料放送には、番組単位で購入できる有料番組（ペイ・パー・ビュー：PPV）があります。有料番組を視聴または録画するときは、画面の指示に従って購入してください。

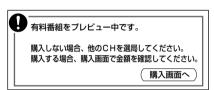
確認してください！

□ 有料放送を購入するときは、電話回線を接続してください。
☞41ページ、134ページ

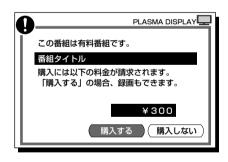
ご注意

- 有料番組の購入操作が終わると、その時点で料金が発生します。

1 有料番組を選ぶ

有料番組であることを伝えるメッセージが表示されます。番組によってはプレビュー映像（一時的な表示）が表示されます。

2 購入画面へ を選んで 決定 を押す

3 項目を選んで 決定 を押す

購入画面が表示されます。

購入する	番組を購入して視聴できます。ただし、コピーガードのかかっている番組は録画できません。
購入しない	番組を購入しません。他のチャンネルを選んでください。

録画オプションのあるとき

● 録画するのに追加料金が必要なときは、「購入する」の代わりに次の２つの項目が表示されます。

視聴のみ	番組を購入して視聴できます。録画はできません。
録画あり	番組を購入して視聴と録画ができます。録画したいときに選びます。

お知らせ

- 2005年6月現在、ペイ･パー･ビューは運用されていません。
- 視聴するには、放送会社とのペイ･パー･ビュー（番組購入）契約が必要です。
- 画面の表示は、番組によって異なります。
- 視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、暗証番号入力画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
  （視聴制限については ☞86ページ）
- デジタル録画ができないようにコピーガードをかけている番組では、「録画あり」の購入はできません。
- 地上デジタル放送のペイ･パー･ビューには対応していません。

外部入力の映像を見る

ビデオ 1 ～ ビデオ 4　外部入力

ビデオ1～ビデオ4入力端子に接続した機器の入力に切り換えます。

確認してください！

□ 外部機器を接続していますか？ ☞94ページ、97ページ、98ページ

1 見たい機器の電源を入れる

ビデオ１～ビデオ４入力端子に接続した機器のうち、見たい機器の電源を入れます。

2 機器を接続した入力を ビデオ 1 ～ ビデオ 4 で選ぶ

お知らせ

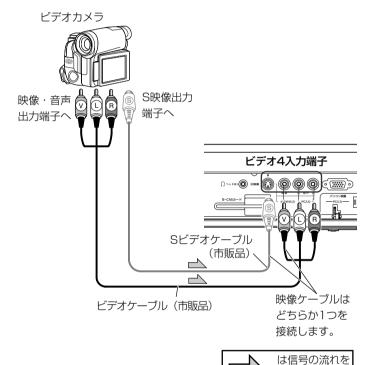
- 簡単リモコンの場合は、外部入力を押してください。メディアレシーバーのボタンで操作するときは、入力切換ボタンを押してください。押すたびに入力が切り換わります。

3 接続した機器を再生する

HDMI 接続の機器は

● ビデオ 3 入力を選びます。

ビデオカメラやゲームを楽しむときは

● ビデオカメラやゲームは、メディアレシーバー前面のビデオ４入力端子に接続すると便利です。

は信号の流れを表しています。

映像入力端子の優先順位について

● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

D4 映像　⇒　S2 映像　⇒　映像

お知らせ

- 接続した機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

画面サイズを切り換える

放送や映像の内容によってお好みの画面サイズに切り換えます。

画面サイズを選ぶ

画面サイズ

画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選びます。

ご注意

- **画面サイズ4:3や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作権者の権利を侵害するおそれがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをおすすめします。**
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、画面サイズ切り換え機能などを使って、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面サイズの種類

ワイド	横縦比４：３映像を、違和感を抑えて画面いっぱいに表示します。
4：3	横縦比４：３映像をそのまま表示します。
フル	16：９から４：３に圧縮（スクイーズ）された映像を、元の16：９に戻して画面いっぱいに表示します。
ズーム	シネマスコープサイズまたは16：９サイズの映像を画面いっぱいに表示します。
シネマ	ビスタサイズの映像を画面いっぱいに表示します。

お知らせ

- 入力された映像信号に画面サイズの情報があるときは、その情報に合わせて画面サイズが自動的に最適なサイズに切り換わります。(☞60ページ)

1 画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

現在の画面サイズ

選べる画面サイズについて

放送・入力／信号		ワイド	4：3	フル	ズーム	シネマ
地上アナログ放送／ビデオ(映像／S2)／デジタル放送／i.LINK/HDMI/D4	標準(525i)	○	○	○	○	○
デジタル放送／i.LINK/HDMI/D4	標準(525p)	○	○	○	○	○
デジタル放送／i.LINK	ハイビジョン(1125i)	○	—	○ フル1／フル2	—	—
	ハイビジョン(750p)	—	—	○	—	—
HDMI/D4	ハイビジョン(1125i)	○	○	○ フル1／フル2	○	—
	ハイビジョン(750p)	○	○	○	○	—

ハイビジョン映像（1125i）のときは

- デジタル放送やi.LINKなどでハイビジョンを見ているときは、「フル１」「フル２」「ワイド」が選べます。

フル１	ハイビジョン映像をそのまま表示します。
フル２	フル１で表示すると画面上部に黒帯が見えるとき、画面いっぱいに表示します。
ワイド	フル１やフル２で表示すると画面左右に黒帯などの無画部が見えるとき、画面いっぱいに表示します。

- 「ワイド」を選ぶと、映像の一部が欠けることがあります。この場合、「フル１」または「フル２」にすることをおすすめします。

画面サイズを自動的に切り換える

[画面サイズ自動切換]

本機には、放送や入力の映像信号に含まれる画面サイズ制御信号に合わせて、画面サイズを自動的に最適なサイズに切り換える機能があります。

ご注意

- 地上アナログ放送の受信中は、「画面サイズ自動切換」の設定はできません。

お知らせ

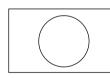
- デジタル放送、およびi.LINK、HDMI、D4端子、S2端子からの入力に対して働きます。
- お買い上げ時は、「画面サイズ自動切換」は「する」に設定されています。
- 画面サイズの自動切換中は、画面サイズの表示が緑色で表示されます。
- 「しない」を選ぶと、自動的に画面サイズが切り換わらなくなります。画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選びます。

オリジナルの映像がレターボックスのときは

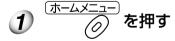
- ４:３の画面の中に16:９の映像が含まれるとき（レターボックス）は、自動的に「ズーム」で表示されます。

レターボックス制御信号の入った映像　　ズームで表示

オリジナルの映像が16:９のときは

- オリジナルの映像が16:９のとき（フルモード）は、自動的に「フル」で表示されます。

フルモード制御信号の入った映像　　フルで表示

1

を押す

2 その他の設定 を選んで 決定 を押す

3 画面サイズ自動切換 を選んで 決定 を押す

4 ↑ ↓ で する または しない を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

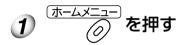
４：３映像の表示サイズを設定する [４:３信号の表示]

４：３映像を自動切換で画面に表示するときに、どのように表示するかを設定できます。**(画面サイズ☞59ページ)**

お知らせ

- お買い上げ時は、「ワイド」に設定されています。
- 地上アナログ放送の受信中や「画面サイズ自動切換」が「しない」に設定されているときは、「4:3信号の表示」の設定はできません。

1

を押す

2 その他の設定 を選んで 決定 を押す

3 4:3信号の表示 を選んで 決定 を押す

4 ↑ ↓ で ワイド または ４：３ を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

省エネ機能を使う

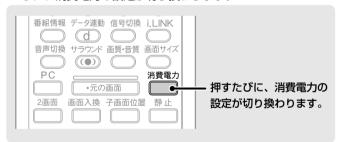
消費電力 / [省エネの設定]

節電のための省エネ機能の設定をします。次の3つの省エネ機能があります。
(パソコン接続時の省エネ機能については ☞105ページ)

消費電力	消費電力を抑える機能を設定します。	
	標準	通常の明るい映像です。
	省エネ1	明るさの低下を最小限にしながら節電します。
	省エネ2	明るさを下げて、より消費電力を抑えます。
	消画	画面を消して音だけを出します。消画状態で 音量＋ 音量－ 消音 サラウンド 以外のボタンを押すと、標準状態に戻ります。
無信号オフ	入力信号がなくなったときに、約15分後に自動的に電源を切る(スタンバイ状態にする)機能です。 「する」または「しない※」を選びます。	
無操作オフ	約3時間テレビの操作をしなかったときに、自動的に電源を切る(スタンバイ状態にする)機能です。 「する」または「しない※」を選びます。	

※お買い上げ時の設定

リモコンで消費電力を切り換えるには 消費電力

● 消費電力は、リモコンでも切り換えられます。消費電力 を押すたびに、消費電力の設定が切り換わります。

「無信号オフ」機能について

● 「無信号オフ」機能は、地上アナログ放送とビデオ入力時のみ有効です。
● 次のような場合、正しく動作しないことがあります。
—放送が終わっても、他局の放送電波が混入するとき
—試験放送など、その他の電波が混入するとき
—ブルーバックなどの映像信号が入力されているとき
● テレビを見ているときに、電波の状況によって「無信号オフ」機能が働いて電源が切れてしまうときは、「しない」に設定してください。

お知らせ

- 「無信号オフ」や「無操作オフ」を「する」に設定すると、電源が切れる(スタンバイ状態になる)5分前から、残り時間が1分ごとに表示されます。
- PC(パソコン)入力時は、「無信号オフ」や「無操作オフ」はありません。「パワーマネージメント」で設定してください。(☞105ページ)

1 ホームメニュー を押す

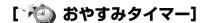
2 省エネの設定 を選んで 決定 を押す

3 設定したい項目を選んで 決定 を押す

4 ↑ ↓ で設定を選んで 決定 を押す

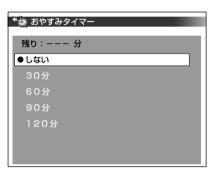
お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

自動で電源を切る

設定した時間が過ぎると、自動的にスタンバイ（待機状態）にすることができます。
30分/60分/90分/120分を設定できます。

1 ホームメニュー を押す

2 おやすみタイマー を選んで 決定 を押す

3 ↑ ↓ で設定を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 「おやすみタイマー」を設定すると、電源がスタンバイ状態になる5分前から、残り時間が1分ごとに表示されます。
- 残り時間が0分になると、本機の電源がスタンバイ状態になり、おやすみタイマーの設定が「しない」に戻ります。
- おやすみタイマーの動作中に、主電源を切ったり手動でスタンバイ状態にすると、おやすみタイマーは中止され、設定が「しない」に戻ります。
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

録画予約の前に

録画を予約する前に、以下の内容をご確認ください。

本機と連動して録画するには

本機と連動して録画するには、録画機器と本機をi.LINKケーブルで接続するか、付属のビデオコントローラーを接続します。(「録画機器の接続方法を選ぶ」☞90ページ)

録画予約の方法について

録画を予約するには、次の2つの方法があります。

- 予約登録画面で、選んだ番組を予約できます。(☞64 ページ)
- マニュアル予約画面で、日時とチャンネルを指定できます。(☞66 ページ)

録画中の映像を見るには（録画機器の同時モニター）

デジタル放送の録画予約の実行中（録画中）に、録画同時モニターができます。 2画面 を押してデジタル放送と録画機器の映像を表示させます。

お知らせ

- i.LINK録画中は、同時モニターできません。
- 録画機器によっては、モニター画面が表示できない場合があります。

録画するときのご注意

録画を予約するときは、以下の点にご注意ください。

- **地上アナログ放送は録画予約できません。地上アナログ放送を録画するときは、DVD レコーダーなど録画機器内蔵のチューナーをご利用ください。**
- 放送中または、開始直前の番組を録画予約したときは、録画機器の電源を入れたあと、録画できるようになるまで数十秒が必要になるときがあります。

  (当社製品での例)

  − DVD レコーダー：約 90 秒
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約 10 秒早く終了します。
- 録画中は、選局など一部の機能が使用できなくなります。これらの機能を操作すると、録画を中止してもよいかの確認画面が表示されます。録画予約を中止するときは画面の説明に従って操作してください。
- デジタル放送を録画中でも地上アナログ放送は見られます。
- メディアレシーバーの主電源が入っていないときは、録画予約は開始されません。
- 録画予約中は、録画機器は操作しないでください。録画が中止されるなど、正常に録画できなくなります。
- 録画予約中は、放熱のためメディアレシーバー背面のファンが回転しますが故障ではありません。
- 番組が予告なしに変更された場合など、番組表の内容と実際の放送が異なることがあります。
- コピーガードがかかっている番組は、録画機器で正しく録画することができません。
- 有料番組を予約したときは、予約した番組の開始時点で、番組が購入され、実際には視聴や録画をしなくても料金が請求されます。
- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。

  − 有料番組については　(☞57 ページ)

  − 視聴制限については　(☞86 ページ)
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

番組表 / 週間番組表 / ジャンル検索から録画予約する

番組表/週間番組表/ジャンル検索画面で番組を選ぶだけで、簡単にデジタル放送の録画予約ができます。ここでは番組表を例に説明します。

ご注意

- 有料番組を予約すると、録画を開始した時点で料金が発生します。

お知らせ

- 本機がスタンバイ状態のときは、自動的に電源が入り予約が開始されます。主電源が入っていないときは、予約は実行されません。
- 最大予約数は、地上アナログ放送とデジタル放送を合わせて28件です。28件を超えるときは、これ以上予約できないことを知らせるメッセージが表示されます。
- 契約が必要な番組を予約しようとすると、契約されていないことを知らせるメッセージが表示されます。
- 予約した時間にテレビを見ていたときは、予約実行の確認画面が表示されます。
- 地上アナログ放送は、録画予約できません。

1 デジタル放送を見ているときに 番組表 を押す

番組表が表示されます。

週間番組表やジャンル検索のときは

● 週間番組表やジャンル検索のときは、それぞれ以下の説明をご覧ください。

▶「週間番組表を使う」☞49 ページ

▶「映画やドラマなどのジャンルで探す」☞51 ページ

2 で、放送予定の番組を選んで 決定 を押す

予約登録画面が表示されます。

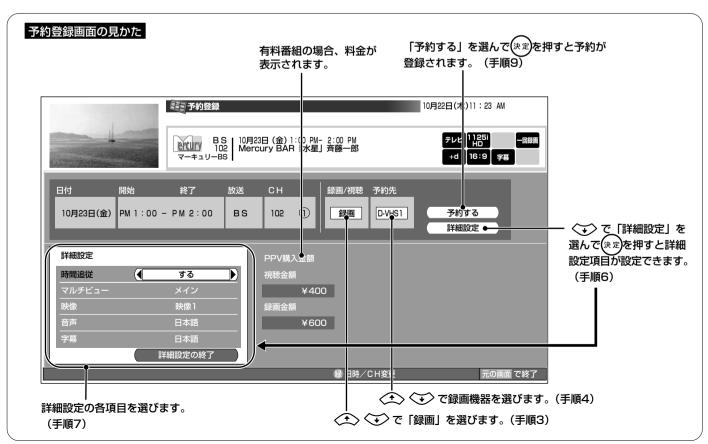
お知らせ

- 現在放送中の番組を選ぶと、その番組が映ります。予約登録画面にはなりません。
- 放送中の番組は、番組表から録画予約できません。マニュアル予約をしてください。(☞66ページ)

日付を切り換えるには

● 青 を押すと前の日の番組表に、赤 を押すと次の日の番組表に変わります。

予約登録画面の見かた

3 ◀ ▶ で 録画/視聴 に移動して、▲ ▼ で 録画 を選ぶ

お知らせ

- 「視聴」を選ぶと、番組の視聴予約になります。(☞50ページ)

4 ▶ で 予約先 に移動して、▲ ▼ で録画機器を選ぶ

ビデオ	デジタル放送出力端子に接続した録画機器の場合に選びます。 ●ビデオコントローラーを接続したとき／その他の接続のときに選びます。
D-VHS ○※ (機種名)	i.LINK 接続の録画機器です。i.LINK 接続されている録画機器のうち、登録されている機種の名前が表示されます。 ●接続されている機器がない場合は表示されません。

※：○印は各機器に付けられる番号

5 決定 を押す

「予約する」にカーソルが移動します。

詳細な設定をするときは、手順6へ進みます。すぐに予約するときは、手順９へ進みます。

6 詳細な設定をするときは、▲ ▼ で 詳細設定 を選んで 決定 を押す

7 ▲ ▼ で各項目を選んで ◀ ▶ で設定する

時間追従	「時間追従」を「する」にすると、番組の放送時間が変更されたときに、自動的に予約時間も変更されます。（最大３時間まで）
マルチビュー、 映像、音声、 字幕	複数の映像や音声・字幕がある放送では、見たい（録画したい）映像と音声をそれぞれ選べます。 ●切り換えられる映像や音声がない場合は、項目を選べません。

お知らせ

- 「時間追従」を「する」に設定していて、予約時間が延長されたとき、別の予約と重複することがあります。このとき、予約開始時刻の早い番組が優先されます。

8 詳細設定の終了 を選んで 決定 を押す

「詳細設定」にカーソルが移動します。

9 ▲ で 予約する を選んで 決定 を押す

番組が予約されて、「予約が完了しました」と表示されます。

お知らせ

- 有料番組や視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。(☞57ページ、86ページ)

10 決定 を押す

予約完了のメッセージが消えます。

お知らせ

- 録画に失敗したときには、お知らせメッセージをご覧ください。(☞82 ページ)

日時とチャンネルを指定するときは（マニュアル予約）

予約登録画面で 緑 を押すと、マニュアル予約画面になります。日時とチャンネルを自由に指定して録画/視聴の予約ができます。

ご注意

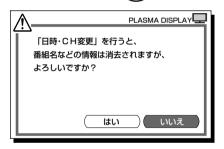
- 予約一覧画面で「新規予約」を選んだときも、マニュアル予約画面が表示されます。(☞67ページ)

1 番組表/週間番組表/ジャンル検索画面で、放送予定の番組を選んで 決定 を押す

予約登録画面が表示されます。

2 予約登録画面で、緑 を押す

選択中の番組名などの情報を消去していいかどうかの確認画面が表示されます。

3 はい を選んで 決定 を押す

マニュアル予約画面が表示されます。

4 日付、開始/終了時刻、放送、チャンネルをそれぞれ設定する

お知らせ

- 予約登録画面、または予約一覧画面で選ばれていた番組の日付、開始/終了時刻などが表示されます。
- マニュアル予約では、予約一覧画面の番組名が「マニュアル予約」と表示されます。

5 録画/視聴 で 録画 を選んで、予約先 で録画機器を選ぶ

6 決定 を押す

「予約する」にカーソルが移動します。

7 予約する が選ばれた状態で 決定 を押す

番組が予約されて、「予約が完了しました」と表示されます。

暗証番号が設定されているときは ☞89 ページ

- マニュアル予約をしようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。

8 決定 を押す

予約完了のメッセージが消えます。

予約の確認や変更、取り消しをする

[予約一覧]

録画/視聴の予約を一覧で確認します。また、一覧から予約の変更や取り消しもできます。

お知らせ
- 最大予約数は地上アナログ放送とデジタル放送合わせて28件です。
- 予約一覧画面は、地上アナログ放送とデジタル放送で別々に表示されます。青 で、それぞれ切り換えられます。

1 番組ナビ を押す

番組ナビが表示されます。

2 予約一覧 を選んで 決定 を押す

予約一覧画面が表示されます。

3 予約一覧画面で、変更または削除したい予約を選んで 決定 を押す

予約一覧画面（デジタル放送の例）

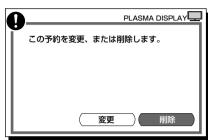
「新規予約」を選んで 決定 を押すと、マニュアル予約画面が表示されます。

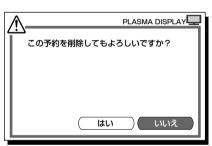
選択中の一覧画面／総画面数

青 を押すたびに、地上アナログ放送とデジタル放送の予約一覧が切り換わります。

予約一覧
登録されている予約が、古い順に一覧表示されます。予約を選んで 決定 を押すと、変更・削除の選択画面が表示されます。

お知らせ
- 「新規予約」を選んだときは、マニュアル予約画面が表示されます。(☞66ページ)
- 予約がいっぱいのときは、「新規予約」は選べません。(表示されません。)

4 変更 または 削除 を選んで 決定 を押す

「変更」を選んだときは
- 予約登録画面に、選択した番組の予約情報が表示されます。必要に応じて変更してください。(☞64ページ)

「削除」を選んだときは
- 削除の確認画面が表示されます。「はい」を選んで 決定 を押してください。

お好みの画質・音質モードを選ぶ

画質·音質 / [モード]

本機には、映画やゲームなどを最適な画質・音質で楽しむための5種類の設定が用意されています。

標準	標準的な画質・音質の設定です。
ダイナミック	コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
映画	コントラスト感を抑えて、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
AV メモリー	入力ごとに、お好みにあわせて調整することができます。

お知らせ

- 画質·音質モードは、テレビやビデオ入力など入力ごとに選べます。
- パソコン接続時(PC入力)は、「標準」と「AVメモリー」の2種類になります。
- ご家庭では「標準」でご使用になることをおすすめします。

1 画質·音質 を押す

現在の画質・音質モードが表示されます。

2 画質·音質 を押して、希望の画質·音質モードを選ぶ

押すたびに、画質・音質モードが切り換わります。

お知らせ

- ホームメニューの「画質の調整」で「モード」を選んでも、画質·音質モードを選べます。

お好みの画質に調整する

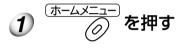
[画質の調整]

画質・音質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ調整をしたい画質・音質モードに切り換えください。（画質・音質モード☞68ページ）

ご注意

- 画質･音質モードが「ダイナミック」のときは画質調整できません。

コントラスト	部屋の明るさにあわせて明るさを調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
色の濃さ	お好みの色の濃さに調整します。
色あい	肌色がきれいに見えるよう調整します。
シャープネス	映像のくっきり感を調整します。

1 ホームメニュー を押す

2 画質の調整 を選んで 決定 を押す

3 ↑ ↓ で調整したい項目を選んで 決定 を押す

4 ← → でお好みの画質に調整する

お知らせ

- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順3と4を繰り返します。
- 手順4の調整中に ↑ ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えられます。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

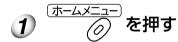
画質の調整を元に戻すには

[初期状態に戻す]

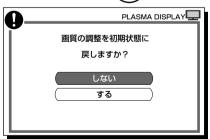
画質・音質モードの調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ

- 初期状態に戻したい画質･音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質･音質モード☞68ページ）

1 ホームメニュー を押す

2 画質の調整 を選んで 決定 を押す

3 初期状態に戻す を選んで 決定 を押す

4 する を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

詳細な画質調整をする

［プロ設定］

よりきめ細かく画質調整（プロ設定）ができます。調整をしたい画質・音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質・音質モード☞68ページ）

ピュアシネマ	フィルム収録の映像を高画質に再生できます。
カラーディテール	色温度など詳細な色調整ができます。
ノイズリダクション	映像のざらつきを軽減することができます。
DRE	映像のコントラストや明るさを詳細に調整できます。
動き補正	映像に適した画像補正を詳細に調整できます。

ご注意
- 画質･音質モードが｢ダイナミック｣のときは画質調整できません。

プロ設定画面を表示する

［プロ設定］

1 ホームメニュー を押す

2 画質の調整 を選んで 決定 を押す

3 プロ設定 を選んで 決定 を押す

4 プロ設定画面で、設定したい項目を選んで 決定 を押す

プロ設定
ピュアシネマ　標準
カラーディテール
ノイズリダクション
DRE
動き補正

お知らせ
- 各設定項目は､以下の説明をご覧ください｡
- 終了するときは､ ･元の画面 を押します｡

フィルム収録の映像を高画質に再生する

［ピュアシネマ］

▲ ▼ で以下の項目を選んで 決定 を押してください。

しない	ピュアシネマ機能を使いません。
標準	映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき､記録されている映像情報を自動的に検出して､フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しめます。
アドバンス	映画など毎秒24コマで収録されているDVD ソフトを表示するとき、72Hzに変換して再生することで、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感を楽しめます。

お知らせ
- プログレッシブ信号(525pや750p)が入力されているときは､｢標準｣は選べません(灰色で表示されます)｡
- ｢アドバンス｣にすると､映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります｡このような場合は､設定を｢しない｣または｢標準｣にしてください｡

詳細な色調整をする

［カラーディテール］

以下の項目を選んで（決定）を押してください。▲▼で設定を選んで（決定）を押すか、◀▶で調整します。

色温度	白色をお好みの色調に調整します。色温度が高いほど、青味が強く、低いほど、赤みが強い白になります。 • 「手動」では、お好みに応じてさらに詳細な色温度の調整ができます。		
CTI	色の境目（輪郭）を鮮明にします。 カラー トランジェント インプルーブメント • CTIは、Color Transient Improvementの略です。		
カラーマネージメント	色相を系列色ごとにより細かく調整します。		
	項目	◀	▶
	R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
	Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
	G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
	C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
	B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
	M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

色温度を手動調整したいときは ［手動］

「色温度」で「手動」を選んで、（決定）を３秒以上押してください。色温度の手動設定画面が表示されます。RGB（赤・緑・青）のそれぞれの色成分で微調整ができます。

Rドライブ	明るい部分の微調整をします。	赤の強さを調整します。
Gドライブ	▶：＋側	緑の強さを調整します。
Bドライブ	◀：－側	青の強さを調整します。
Rカットオフ	暗い部分の微調整をします。	赤の強さを調整します。
Gカットオフ	▶：＋側	緑の強さを調整します。
Bカットオフ	◀：－側	青の強さを調整します。

映像のざらつきを軽減する

［ノイズリダクション］

以下の項目を選んで（決定）を押してください。▲▼で設定を選んで（決定）を押します。

DNR	映像のざらつきを抑えて、すっきりさせます。 デジタル ノイズ リダクション • DNRは、Digital Noise Reductionの略です。
MPEG NR	デジタル放送やDVDなどのMPEG映像のざわつき（モスキートノイズ）を抑えて、映像をすっきりさせます。 エムペグ ノイズ リダクション • MPEG NRは、MPEG Noise Reductionの略です。

コントラストや明るさを詳細に調整する

［DRE］

以下の項目を選んで（決定）を押してください。▲▼で設定を選んで（決定）を押します。

お知らせ

ダイナミック レンジ エキスパンダー
• DREは、Dynamic Range Expanderの略です。

ダイナミックコントラスト	映像のコントラストを強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
黒伸張	映像の暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
ACL	映像に適したコントラスト特性に補正します。 オートマチック コントラスト リミッター • ACLは、Automatic Contrast Limitterの略です。
ガンマ	映像の明暗バランスを調整します。

映像に適した画像補正にする

［動き補正］

以下の項目を選んで（決定）を押してください。▲▼で設定を選んで（決定）を押します。

3DYC分離	映像に適したY/C分離特性にします。
IP変換	映像に適したプログレッシブ変換を行います。

お知らせ

• 「3DYC分離」は、コンポジット映像信号入力時のみ設定できます。
• プログレッシブ信号（525pや750p）入力時、「ＩＰ変換」は設定できません。

お好みの音質や音場に調整する

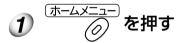
画質・音質モードを、お好みの音質や音場（サラウンド）に調整できます。
あらかじめ、調整したい画質・音質モードに切り換えてください。
（画質・音質モード☞68ページ）

お知らせ
- ヘッドホン出力の音質·音場調整はできません。
  ヘッドホンを接続したまま調整を行うと、ヘッドホンを取り外したときに出るスピーカーの音声が調整されます。

お好みの音質にする

［高音］［低音］［バランス］

高音	高音の音量を調整します。
低音	低音の音量を調整します。
バランス	左右の音量を調整します。

1 を押す

2 音質の調整 を選んで 決定 を押す

3 ↑ ↓ で調整項目を選んで ← → で調整する

「高音」と「低音」は、→ で＋側に、← で－側に調整できます。
「バランス」は、→ で右のレベルが上がり、← で左のレベルが上がります。

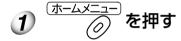
お知らせ
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

音質の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

画質・音質モードの調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ
- 初期状態に戻したい画質·音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質·音質モード☞68ページ）

1 を押す

2 音質の調整 を選んで 決定 を押す

3 初期状態に戻す を選んで 決定 を押す

4 する を選んで 決定 を押す

お知らせ
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

お好みの音場にする

[FOCUS] [サラウンド]

FOCUSとは、音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。「する」に設定すると、画面の中から音が聞こえてくるような効果が得られます。
サラウンドでは、より自然で立体的な音声を再生する「SRS」、無理なく豊かな重低音を再生する「TruBass」を選べます。

FOCUS	音像（音の聞こえてくる方向）を上方向に引き上げ、音の輪郭を明瞭にする機能です。このFOCUS機能を使用「する」または「しない※」を設定します。	
サラウンド	音の立体感と臨場感を高めるサラウンドの設定をします。次の４つから選びます。	
	しない	サラウンド機能を使いません。
	SRS	どの位置でも自然な立体音場が楽しめます。
	TruBass※	無理のない豊かな低音を再生します。
	TruBass＋SRS	TruBass とSRSの両方を使ったサラウンド効果が得られます。

※お買い上げ時の設定

お知らせ
- 「FOCUS」を「する」、「サラウンド」を「TruBass+SRS」にした状態をSRS(WOW)（ワウ）といいます。
- SRS(WOW)は、SRS Labs, Inc. の商標です。
- WOW技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 効果の度合いは音声信号によって異なります。
- サラウンドで音場の設定を切り換えることもできます。

1 ホームメニュー 押す

2 音質の調整 を選んで 決定 を押す

3 FOCUS と サラウンド で、設定したい値を選ぶ

◀ ▶ で選びます。

お知らせ
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

お好みのサラウンドを選ぶ

サラウンド

1 サラウンド を押す

現在のサラウンドの設定が表示されます。

(◉):SRS ― 現在のサラウンド

2 サラウンド を押して、お好みのサラウンドを選ぶ

押すたびに、次の順にサラウンドが切り換わります。

しない ⇒ SRS ⇒ TruBass ⇒ TruBass ＋ SRS

画面の位置を調整する / 画面左右の明るさを選ぶ

画面に表示される映像の位置を調整できます。
また、4：3画面左右の灰色部分（サイドマスク）の明るさを選べます。

画面の位置を調整する

［画面位置の調整］

1. ホームメニュー を押す
2. その他の設定 を選んで 決定 を押す
3. 画面位置の調整 を選んで 決定 を押す

4. 水平・垂直位置 を選んで 決定 を押す

5. ▲ ▼ ◀ ▶ で、上下左右の位置を調整する

お知らせ

- 画面位置を調整すると、映像の一部が欠けることがあります。その場合は、最適な位置に調整し直してください。
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

画面位置の調整を元に戻すには

［初期状態に戻す］

画面位置をお買い上げ時の状態に戻します。

1. ホームメニュー を押す
2. その他の設定 を選んで 決定 を押す
3. 画面位置の調整 を選んで 決定 を押す

4. 初期状態に戻す を選んで 決定 を押す

5. する を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

4：3画面左右の明るさを選ぶ

[サイドマスクの設定]

画面サイズ4：3を選んでいるとき、画面左右の灰色部分（サイドマスク）の明るさを選ぶことができます。

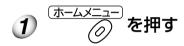
明るさ固定※	サイドマスクの明るさを、一定の明るさ（灰色）で表示します。
明るさ自動	サイドマスクの明るさを、映像に連動した明るさ（灰色）で表示します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- **「明るさ自動」を選ぶと、画面の残像や焼き付きの発生を軽減することができます。**
- 「明るさ自動」にすると、アナログ放送の受信中は、「チャンネル情報設定」の設定に関係なく、チャンネル情報の表示サイズは「小」になります。

1 ホームメニュー を押す

2

を選んで 決定 を押す

3 サイドマスクの設定 を選んで 決定 を押す

4 ↑ ↓ で 明るさ固定 または 明るさ自動 を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

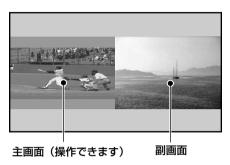
便利な機能を使う

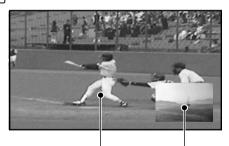
2画面表示にする

2画面

テレビ放送と外部入力など別々の画面を同時に見られます。

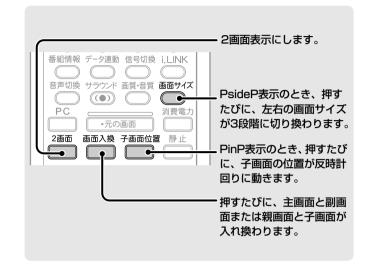
PsideP 表示

画面を2分割して表示します。主画面のみ入力切換などの操作ができます。画面サイズ でPsideP表示の画面サイズを変更できます。(☞77 ページ)

PinP 表示

親画面の中に子画面を表示します。
親画面のみ入力切換などの操作ができます。
子画面位置 でPinP表示の子画面を移動できます。(☞77 ページ)

ご注意

- **長時間2画面表示にしたり、短時間でも毎日くり返し2画面表示にすると、焼き付きによる残像がでることがあります。**

お知らせ

- 2画面表示のとき、スピーカーからは主画面・親画面の音声が聞こえます。2画面ヘッドホン機能を使うと、同時に副画面・子画面の音声をヘッドホンで聞くことができます。(☞77ページ)
- 次の場合は、2画面表示ができません。
  — 2つの地上アナログ放送
  — 2つのデジタル放送の組み合わせ（例：地上デジタル放送とＢＳデジタル放送）
  — デジタル放送とi.LINK入力
  — 2つの外部入力（例：ビデオ１とビデオ２）
  — ホームギャラリー（メモリーカードの映像）
- 2画面表示中は、操作に制限があります。
- デジタル放送の録画が開始されると、デジタル放送の受信チャンネルが固定されます。
- 2画面表示にしたとき、映像によっては、右側の画面（副画面）が粗く見えることがあります。

1 2画面 を押す

2画面表示に変わります。2画面 を押すたびに次の順に切り換わります。

⇒ 1画面表示 ⇒ PsideP表示 ⇒ PinP表示 ⇒

2 2画面表示を終了するときは、•元の画面 を押す

画面を入れ換える

画面入換

2画面表示のときに、画面を入れ換えて操作できる画面を切り換えます。

1 画面入換 を押す

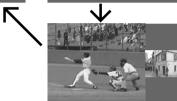
押すたびに、現在表示中の2つの画面の内容が入れ換わります。

PsideP表示の画面サイズを変える

PsideP表示のときに、左右の画面サイズを3段階に切り換えます。

お知らせ
- PinP表示は画面サイズを切り換えられません。

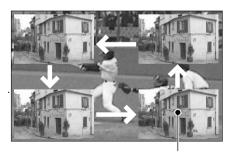
1 PsideP表示のときに、画面サイズ を押す

押すたびに、左右の画面サイズが次のように変わります。

PinP表示の子画面位置を移動する

PinP表示にすると、子画面が親画面の右下に表示されます。子画面をお好みの位置に移動できます。

お知らせ
- PsideP表示では画面位置を移動できません。

1 PinP表示のときに、子画面位置 を押す

押すたびに、子画面が反時計回りに移動します。

PinP表示にすると最初はこの位置(右下)に子画面が表示されます

ヘッドホンから副画面・子画面の音を出すには ［2画面ヘッドホン］

2画面表示のときに、副画面・子画面の音声をヘッドホンで聞くことができます。

ご注意
- 「2画面ヘッドホン」を「する」に設定すると
  - — **1画面表示のときにヘッドホンを接続しても、スピーカーの音声は止まりません。**スピーカーとヘッドホンから同時に同じ音声が聞こえます。
  - — ヘッドホンの音量調整や消音は、リモコンや本体操作ボタンで直接操作できません。

お知らせ
- スピーカーからは、主画面(親画面)の音声が聞こえます。
- お買い上げ時は、「2画面ヘッドホン」は「しない」に設定されています。

1 ホームメニュー を押す

2 音質の調整 を選んで 決定 を押す

3 2画面ヘッドホン で する を選ぶ

音質の調整【標準】

項目	設定
高音	0
低音	0
バランス	0
初期状態に戻す	
FOCUS	しない
サラウンド	しない
2画面ヘッドホン	する
2画面ヘッドホン音量	30

4 2画面ヘッドホン音量 で、音量を調整する

 で音量が大きく、 で音量が小さくなります。

お知らせ
- 「2画面ヘッドホン」を「する」に設定しないと、「2画面ヘッドホン音量」は設定できません。
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

便利な機能を使う

画面を静止させる

静止

見ているテレビ放送や映像を静止することができます。料理番組や電話番号などのメモを取るときに便利です。

ご注意

- **長時間画面を静止したり、短時間でも毎日くり返し静止画面を表示させると、焼き付きによる残像がでることがあります。**

お知らせ

- 静止画面で5分経過すると、静止画面を終了して1画面表示に戻ります。
- 静止画面では、画面サイズの切り換えはできません。

1 静止 を押す

2画面表示になり、右側の画面に静止画が表示されます。

通常の画面（動画）　静止画面

2 静止画面を終了するときは、・元の画面 を押す

便利な機能を使う

複数の音声・字幕や映像（マルチビューなど）を切り換える

信号切換

デジタル放送には、マルチビュー（1つの番組で3つの映像を放送）など、複数の映像を放送している番組があります。この映像を切り換えます。また、複数の音声や字幕もそれぞれ切り換えられます。

1 信号切換 を押す

2 ↑ ↓ で マルチビュー または 映像 を選ぶ

3 ← → で見たい映像を選ぶ

4 同様に、音声 と 字幕 を選ぶ

5 設定 を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 切り換えられる映像や音声がない場合は、項目を選択できません。
- 切り換えた映像が有料（または追加料金が必要）の場合は、有料番組であることを伝えるメッセージ（または追加の金額）が表示されます。購入するときは、画面の指示に従ってください。
- 信号切換画面での設定は一時的なものです。チャンネルを変更したり、番組に変更があったときは、リセットされます。

字幕や文字スーパーを設定する

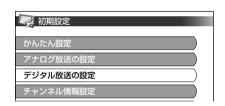
デジタル放送を見るときに字幕や文字スーパーを表示するかしないかを設定できます。
また、表示する場合の言語の優先順位も設定できます。

字幕設定	字幕の表示方法を選びます。字幕とは、映画の日本語字幕など、放送内容と連動した文字の表示です。
文字スーパー設定	文字スーパーの表示方法を選びます。文字スーパーとは、ニュース速報やお知らせなどの、放送内容とは非同期の文字表示です。

お知らせ
- リモコンで字幕を切り換えたいときは 信号切換 を押してください。字幕や文字スーパー、音声をそれぞれ切り換えられます。
- 番組によっては、設定が無効になり強制的に字幕や文字スーパーが表示されることがあります。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 画面表示設定 を選んで 決定 を押す

5 字幕設定 で表示方法を選ぶ

→ を押すたびに、次の順に切り換わります。（← で逆順）

表示しない（お買い上げ時の設定）⇒ **日本語優先表示** ⇒ **外国語優先表示**

6 文字スーパー設定 で表示方法を選ぶ

→ を押すたびに、次の順に切り換わります。（← で逆順）

日本語優先表示（お買い上げ時の設定）⇒ **外国語優先表示** ⇒ **表示しない**

お知らせ
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

i.LINK 操作パネルで機器を操作する

i（TS）端子に接続したi.LINK機器を、画面上のi.LINK操作パネルで操作できます。

確認してください！

□ 接続したi.LINK機器の設定は済んでいますか？ ☞93ページ

お知らせ

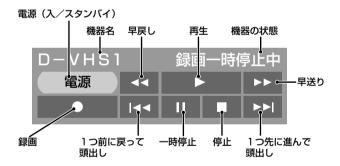
- 操作できるのは、接続されているi.LINK機器のうち1台のみです。（☞93ページ）
- **本機と接続動作が確認されている当社製i.LINK機器：**
  DVDレコーダー DVR-920H、DVR-720H（2004年発売）
- i.LINK機器を直接操作して再生状態になると、本機の入力が自動的にi.LINKに切り換わります。

1 i.LINK ボタンを押す

i.LINK 操作パネルが表示されます。

お知らせ

- 当社製のDVDレコーダーを接続すると、機器名に「D-VHS」と表示されます。

2 操作パネルのボタンを選んで 決定 を押す

「録画」ボタンについて

- 現在視聴中の番組の録画を開始して、番組終了と同時に録画を終了します。

ご注意

- デジタル放送の試聴中に録画できます。アナログ放送、ビデオ入力時は録画できません。
- 番組切り換わり時は、番組情報の受信タイミングによって、録画してもすぐに停止することがあります。

3 i.LINK操作パネルを消したいときは、•元の画面 を押す

便利な機能を使う

トピックスを見る

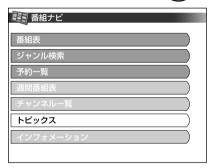
映画やスポーツ、音楽などの情報トピックスを見られます。

1 アナログ放送を見ているときに 番組ナビ を押す

番組ナビが表示されます。

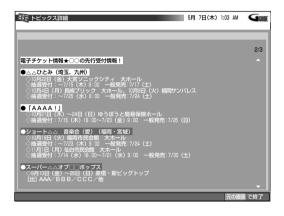
お知らせ

- デジタル放送の視聴時は、トピックスは見られません。
- トピックスは、Gガイドシステムによって提供される情報です。
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 トピックス を選んで 決定 を押す

トピックス画面が表示されます。

3 ↑ ↓ でメインカテゴリーを選んで → または 決定 を押す

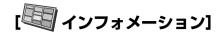
4 ↑ ↓ でサブカテゴリーを選んで 決定 を押す

トピックス詳細画面が表示されます。

画面を切り換えるには

- 複数の画面があるときは、↑ ↓ で切り換えます。

お知らせ

- 終了するときは、［・元の画面］を押します。

デジタル放送の情報を見る

デジタル放送局からのお知らせメッセージや、有料番組の購入履歴などを確認できます。

お知らせメッセージ	デジタル放送局からのお知らせや、本機のダウンロード情報を確認します。
PPV購入履歴	有料番組（ペイ・パー・ビュー）の購入履歴を確認します。
B-CASカード	B-CASカードの動作テストをします。（☞133ページ）
CS1ボード/CS2ボード	110度CSデジタル放送局からの情報を確認します。
バージョン情報	本機のソフトウェアのバージョンを確認します。

お知らせメッセージを読む

[お知らせメッセージ]

デジタル放送局からのお知らせメッセージや、本機のダウンロード情報を確認します。（最大46件まで保存）

お知らせ

- 本機の自動更新の設定を「しない」に設定していると、ダウンロードするデータがあるときに、お知らせメッセージが届きます。お知らせメッセージを読んで、自動更新を「する」に設定すると、自動更新のダウンロードが実行されます。
  (自動更新については ☞136ページ)
- 46件を超えると、古いお知らせメッセージから順に削除されます。
- 視聴予約／録画予約が失敗したときも、お知らせメッセージが届きます。
- 未読のお知らせメッセージがあるときは、チャンネル情報の表示中に、マークが表示されます。**(☞54ページ)**

1 デジタル放送を見ているときに、番組ナビを押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ

- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 インフォメーションを選んで 決定 を押す

3 お知らせメッセージを選んで 決定 を押す

インフォメーション
お知らせメッセージ
ＰＰＶ購入履歴
Ｂ－ＣＡＳカード
ＣＳ１ボード
ＣＳ２ボード

お知らせメッセージの一覧が表示されます。

4 ⬆ ⬇ でお知らせメッセージを選んで（決定）を押す

お知らせメッセージの内容が表示されます。

お知らせメッセージを削除したいときは

● お知らせメッセージの一覧で、削除したいお知らせメッセージを選びます。➡ を押して「削除」を選んで（決定）を押すと、削除の確認画面が表示されます。「はい」を選んで（決定）を押してください。

お知らせ
- 終了するときは、［•元の画面］を押します。

有料番組の購入履歴などを見る
［PPV購入履歴］

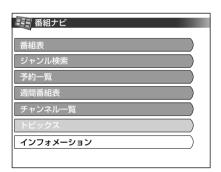
購入した有料番組（ペイ・パー・ビュー:PPV）の番組名･放送日時・金額などの履歴や合計金額を確認します。（最新の80件まで保存）

お知らせ
- 購入履歴は、前月分と今月分が保存されます。それ以前の履歴は自動的に削除されます。

1 デジタル放送を見ているときに（番組ナビ）を押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 インフォメーション を選んで（決定）を押す

3 PPV購入履歴 を選んで（決定）を押す

PPV購入履歴画面に、購入履歴の一覧が表示されます。

次頁へつづく

購入履歴を削除したいときは

● PPV購入履歴画面で、削除したい購入履歴を選びます。（→）を押して「削除」を選んで（決定）を押すと、削除の確認画面が表示されます。「はい」を選んで（決定）を押してください。

お知らせ
- 価格改定などにより表示金額が、実際の金額と異なる場合があります。
- 終了するときは、［•元の画面］を押します。

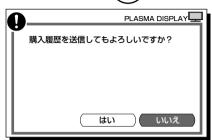
購入履歴を送信する　［購入履歴送信］

有料番組（PPV）を購入すると、通常、番組の購入記録が（株）B-CASに自動的に送信されます。エラーなどでこの自動送信ができなかったとき、PPV購入履歴画面で購入履歴を手動で送信できます。

確認してください！
□ **電話回線は接続しましたか？** ☞41ページ

お知らせ
- 通常は、購入履歴送信の操作をする必要はありません。

1 PPV購入履歴画面で、（→）を押す

「削除」にカーソルが移動します。

2 （↓）を押して 購入履歴送信 を選んで（決定）を押す

送信の確認画面が表示されます。

お知らせ
- 「購入履歴送信」が灰色で表示されているときは、この操作はできません。

3 はい を選んで（決定）を押す

選んだ購入履歴の送信が始まり、しばらくすると、送信結果が表示されます。

お知らせ
- 送信が失敗したときは、電話の接続を確認してから送信し直してください。

ボード（110度CSデジタル放送局からの情報）を見る　［CS1ボード］［CS2ボード］

110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や案内を確認します。（ボード当たり最大50タイトルまで表示）

1 デジタル放送を見ているときに（番組ナビ）を押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 インフォメーション を選んで（決定）を押す

3 CS1ボード または CS2ボード を選んで 決定 を押す

CS1 ボード、またはCS2 ボードの内容が一覧表示されます。

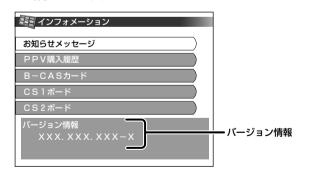
4 ↑ ↓ でタイトルを選んで 決定 を押す

タイトルの内容が表示されます。

お知らせ
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

本機のソフトに関する情報などを見る
［バージョン情報］

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。本機に関して当社にお問い合わせになるときなどに必要になる場合があります。

1 デジタル放送を見ているときに 番組ナビ を押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 インフォメーション を選んで 決定 を押す

3 インフォメーション画面で、バージョン情報を確認する

視聴制限を設定する

デジタル放送の有料番組や成人向け番組の視聴を暗証番号で制限できます。視聴制限を設定すると、制限対象の番組は、暗証番号を入力しないと見られなくなります。設定できる視聴制限は「年齢制限」と「PPV購入制限」の2つです。

暗証番号設定	視聴制限を設定すると、制限対象の番組は暗証番号を入力しない限り見られません。視聴制限を解除して番組を見るための4桁の暗証番号を設定します。また、暗証番号は、視聴制限を設定するときにも必要です。
年齢制限設定	年齢で視聴制限をします。4歳から19歳までの1歳単位で設定できます。設定した年齢以上を対象とする番組は、暗証番号を入力しないと見られません。年齢制限をしないときは「しない」を選択します。
PPV購入制限設定	有料番組の購入（視聴）制限を「する」「しない」を設定します。「する」に設定すると、有料番組は、暗証番号を入力しない限り購入できなくなります。

お知らせ
- お買い上げ時は、「暗証番号」と「視聴制限」は設定されていません。

暗証番号を登録する（初めて視聴制限を設定するとき）

初めて視聴制限を設定するときは、暗証番号を登録します。

ご注意
- 暗証番号は、忘れないように必ずメモしてください。

お知らせ
- お買い上げ後、初めて視聴制限設定をする場合や、暗証番号を削除したときに、以下の操作になります。一度暗証番号を登録すると、次回からは暗証番号の確認入力に変わります。
- 暗証番号を忘れたときは、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。

1 ホームメニュー を押す

2

を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 視聴制限設定 を選んで 決定 を押す

初めて視聴制限を設定するとき、暗証番号の新規登録画面が表示されます。

5 ①～⑩0で4桁の暗証番号を入力する

お知らせ
- 「0」を入力するときは、⑩0を押します。
- 間違って入力したときは、⑫ を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。
- 約10分間入力がないと、暗証番号登録を中断して元の画面に戻ります。

４桁目を入力すると、確認用入力の１桁目にカーソルが移動します。

6 確認用にもう一度同じ暗証番号を入力する

「暗証番号を忘れないようにメモしておいてください」と表示されます。

7 決定 を押す

視聴制限設定画面が表示されます。

お知らせ
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

暗証番号を変更する

［暗証番号設定］

暗証番号を変更します。

ご注意
- 暗証番号は、忘れないように必ずメモしてください。

1 ホームメニュー ⓪ を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 視聴制限設定 を選んで 決定 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

5 ①〜⑩₀で4桁の暗証番号を入力する

お知らせ
- 「0」を入力するときは、⑩₀を押します。
- 間違って入力したときは、⑫ を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。
- 約10分間入力がないと、暗証番号登録を中断して元の画面に戻ります。

6 暗証番号設定 を選んで 決定 を押す

暗証番号の設定画面が表示されます。

7 暗証番号変更 を選んで 決定 を押す

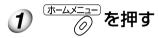
8 ①〜⑩₀で、新しい4桁の暗証番号を入力する

４桁目を入力すると、確認用入力の１桁目にカーソルが移動します。

9 確認用にもう一度同じ暗証番号を入力する

「暗証番号を忘れないようにメモしておいてください」と表示されます。

10 決定 を押す

お知らせ
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

暗証番号を削除する ［暗証番号削除］

暗証番号を削除します。

ご注意

- 暗証番号を削除すると、視聴制限の設定も無効になります。視聴制限を設定するときは、再度暗証番号を登録してください。

1

を押す

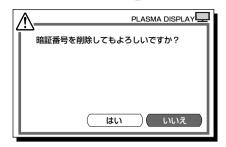
2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 視聴制限設定 を選んで 決定 を押す

5 ①～⑩₀で4桁の暗証番号を入力する

視聴制限設定画面が表示されます。

6 暗証番号設定 を選んで 決定 を押す

7 暗証番号削除 を選んで 決定 を押す

暗証番号の削除の確認画面が表示されます。

8 はい を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、［・元の画面］を押します。

視聴できる年齢を制限する ［年齢制限設定］

視聴できる番組の年齢を設定して暗証番号で制限します。例えば、年齢制限を「15歳」に設定すると、16歳以上を対象とする番組は、暗証番号を入力しないと見られなくなります。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 視聴制限設定 を選んで 決定 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ後初めて視聴設定をする場合や、暗証番号を削除した場合は、暗証番号の新規登録画面が表示されます。暗証番号を新しく登録してください。

5 ①～⑩₀で4桁の暗証番号を入力する

6 年齢制限設定 で、年齢を選ぶ

（→）を押すたびに、**しない**（お買い上げ時の設定）⇒ **4歳** ⇒ **5歳・・・** ⇒ **19歳**の順に変わります。（（←）で逆順）

お知らせ

- 終了するときは、［・元の画面］を押します。

有料番組の購入を制限する ［PPV購入制限設定］

有料番組の購入を暗証番号で制限します。

1 ［ホームメニュー］を押す

2 初期設定 を選んで（決定）を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで（決定）を押す

4 視聴制限設定 を選んで（決定）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

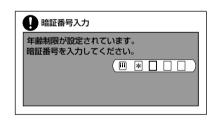
お知らせ

- お買い上げ後初めて視聴設定をするときや、暗証番号を削除したときは、暗証番号の新規登録画面が表示されます。暗証番号を新しく登録してください。

5 ①～⑩₀で4桁の暗証番号を入力する

6 PPV購入制限設定 で、する を選ぶ

（←）（→）で選びます。PPV購入制限を設定しないときは、「しない」（お買い上げ時の設定）を選びます。

お知らせ

- 終了するときは、［・元の画面］を押します。

視聴制限を一時的に解除して番組を見るには

視聴制限（年齢制限／PPV購入制限）を設定しているとき、制限対象の番組を選ぶと暗証番号入力画面が表示されます。

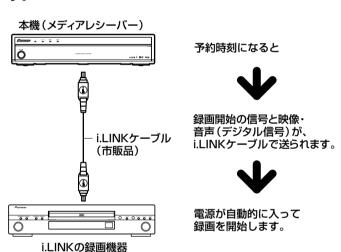
1 視聴制限の対象となる番組を選ぶ

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 ①～⑩₀で4桁の暗証番号を入力する

視聴制限が一時的に解除されます。

お知らせ

- 本機の電源を切る（またはスタンバイにする）まで、解除されます。

録画機器の接続方法を選ぶ

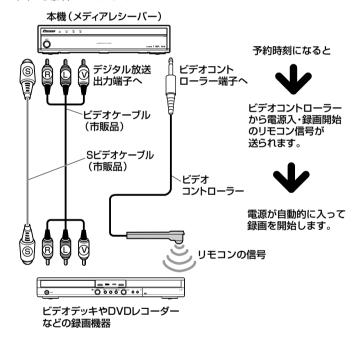
本機と録画機器を連動して、番組表から簡単にデジタル放送を録画予約できます。
本機と連動して録画するには、録画機器と本機をi.LINKケーブルで接続するか、付属のビデオコントローラーを接続します。その他の接続のときは、本機の予約時間に合わせて録画機器側でも録画予約をします。

i.LINK端子があるときは

i.LINKケーブルで録画機器をつなぐ ☞92ページ

i.LINK機器をi.LINKケーブルで接続するだけで、本機と連動してデジタル放送を高画質のまま録画・再生できます。

お知らせ

- i.LINK録画のときは、予約実行前に録画機器側の入力や録画モードを設定する必要はありません。
- **本機と接続動作が確認されている当社製i.LINK機器：**
  DVDレコーダーDVR-920H、DVR-720H（2004年発売）
- 接続後、i.LINK機器の設定をしてください。（☞93ページ）

録画の前に

● 予約実行前に録画機器側で次の操作をしてください。
  – 録画機器が録画予約の待機状態であることを確認する（予約すると録画機器は録画予約の待機状態になります）

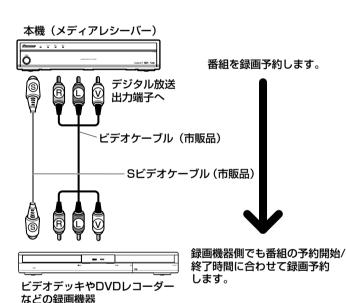
i.LINK端子がないときは（ビデオコントローラーを使う）

付属のビデオコントローラーをつなぐ ☞94ページ

i.LINKに対応していない録画機器は、ビデオコントローラーを接続すると、本機と連動してデジタル放送を録画できます。予約時刻になると、録画機器の電源が入り録画が開始されます。

お知らせ

- 接続後、録画機器に合わせビデオコントローラーの設定を行ってください。（☞95ページ）
- テレビ放送、ラジオ放送と連動したデータやデータ放送は録画できません。

録画の前に

● 予約実行の３分（135秒）前までに録画機器側で次の操作をしてください。
  – ディスクやテープを入れる
  – HDD内蔵DVDレコーダーなどの場合は録画先を選択する
  – 本機のデジタル放送出力端子を接続した外部入力に切り換える（当社製のDVDレコーダーをお使いのときは、自動的に切り換わります）
  – 録画予約機能やオートスタート録画機能を解除する
  – 録画モードを設定する
  – 録画できる状態であることを確認してから、電源を「切」にする（録画予約やオートスタート録画の待機状態にはしないでください）

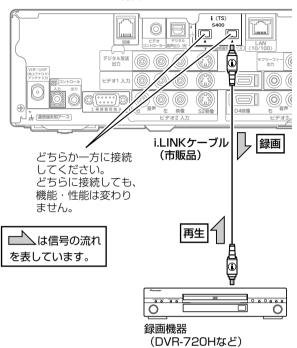
その他の接続のときは（ビデオコントローラーを使わない）

☞94ページ

i.LINK機器ではなく、ビデオコントローラーが使用できないときは、本機の録画予約開始／終了時刻に合わせて、録画機器側でも録画予約をしてください。

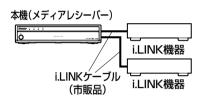
録画の前に

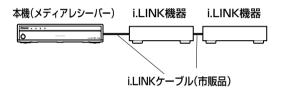
- 録画機器に、予約設定の信号は送信されません。録画機器側で次の操作をしてください。
  - ディスクやテープを入れる
  - 本機のデジタル出力端子を接続した外部入力に切り換える
  - 録画モードを設定する
  - 録画できる状態であることを確認する
  - 録画開始と録画終了の時刻を設定して、予約する

録画機器を接続するときのご注意

- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ケーブルが足りないときは、必要に応じて市販のケーブルをお買い求めください。
- 接続ケーブルのプラグは、奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 複数の機器を接続したときは、互いの干渉を避けるため、使わない機器の電源を切ってください。
- 接続した機器および本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、各機器間の距離を十分に離してください。

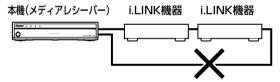
i.LINK 録画機器をつなぐ

i.LINKケーブルで録画機器を接続します。接続後は、使用するi.LINK機器をホームメニューで選択してください。

▼メディアレシーバー背面

ご注意

- 本機との接続にはS400対応以上のi.LINKケーブル（4ピン）をお使いください。（☞160ページ）
- i.LINKで接続されている機器を使っての録画、録画予約中、および再生中に、使っていない他のi.LINK機器の電源を「入」「切」したり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像や音声がとぎれることがあります。
- i.LINK機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK機器の取扱説明書もご覧ください。
- 著作権保護に対応したi.LINK機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

i.LINK機器が2台のときは

i.LINK機器を2台まで接続して登録できます。ただし、操作できるのは、そのうちの1台だけです。

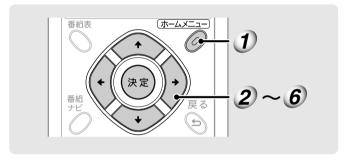
よい例：直接２台接続

よい例：数珠つなぎ（ディジーチェーン）

悪い例：ループ接続

ループ状（閉じた輪）の接続はしないでください。

お知らせ

- i.LINKについて、パイオニア製のDVDレコーダーDVR-920HとDVR-720H（2004年発売）で動作を確認しています。HDV/DV方式のデジタルビデオカメラ、パソコン（PC）、パソコン周辺機器などは、扱う信号の仕様が異なりますので接続できません。接続した場合、誤動作を起こすことがあります。
- 接続したi.LINK機器のうち、1台を選択して使用できます。（選択方法は☞93ページ）
- 他社製i.LINK機器（D-VHSビデオデッキなど）では、本機のi.LINK操作パネルで操作できなかったり、録画や再生ができないことがあります。
- 本機とi.LINK接続して録画できるのは、デジタル放送のみです。それ以外の地上アナログ放送や外部入力は、録画できません。
- 番組の内容によっては、i.LINK機器で録画や録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器で録画した内容を再生中に、早送り／早戻しをすると画面にブロック状のノイズが出ることがあります。
- 万一、i.LINKの操作で正常に録画・録音や再生ができなかったとき、内容の補償についてはご容赦ください。

使用したいi.LINK機器を設定する
[i.LINK接続設定]

i.LINKの録画機器を接続したら、使用するi.LINK機器（1台）を選んで設定します。ここで設定したi.LINK機器を本機で操作できます。

お知らせ
- 接続したi.LINK機器が認識されないなど、動作が不安定なときは、i.LINKケーブルを外し、機器を一覧から削除した後、もう一度登録してください。

確認してください！
□接続は終わっていますか？ ☞92ページ

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

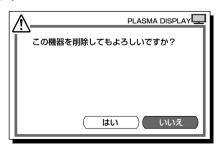
4 外部機器設定 を選んで 決定 を押す

5 i.LINK接続設定 を選んで 決定 を押す

接続されている i.LINK 機器の一覧が表示されます。

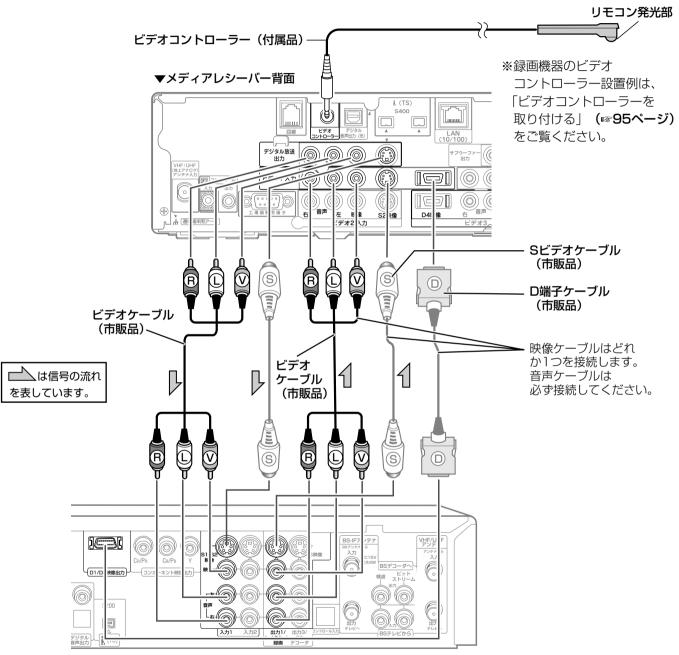
6 使用したいi.LINK機器を選んで 決定 を押す

決定 を押すと、選択したi.LINK 機器の左側に「●」マークが表示されます。

お知らせ
- 設定できる（使用できる）i.LINK機器は1台のみです。
- 使用するi.LINK機器を変更すると、録画の予約が無効になります。もう一度録画を予約し直してください。
  （録画予約するには ☞64ページ）
- 「状態」が「不明」の機器は、設定できません。（使用できません。）

機種名	「D-VHS○」（○印は各機器に付けられる番号）、または「その他」が表示されます。	
メーカー名	機器のメーカー名が表示されます。 • 認識できない場合は、「不明」と表示されます。	
型番	機器の型番が表示されます。 • 認識できない場合は、「不明」と表示されます。	
状態	接続	正常に接続されています。（認識できています。）
	未接続	機器の電源が「切」の状態か、または、前に一度接続されたが現在は接続されていません。
	不明	状態が不明です。（認識できません。）

お知らせ
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

i.LINK機器を一覧から削除したいときは

削除したい機器を選んで ➔ を押します。決定 を押すと削除の確認画面が表示されるので、「はい」を選んで 決定 を押してください。

お知らせ
- 録画予約中の機器を削除すると、録画予約も削除されます。

ビデオデッキやDVDレコーダーなどをつなぐ

ビデオデッキやDVDレコーダーなどの録画機器をつなぎます。
また、デジタル放送の番組を本機と連動して録画する方は、付属のビデオコントローラーをつないで、ビデオコントローラーの準備をします。接続後は、ビデオコントローラーの設定をしてください。

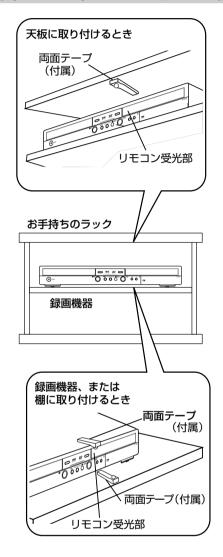
▲DVDレコーダーなどの録画機器（背面）

ご注意

- ビデオコントローラーは、メディアレシーバー背面のビデオコントローラー端子に確実に接続してください。誤ってコントロール(入力／出力)端子に接続すると、リモコン操作ができなくなります。

お知らせ

- 接続する録画機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、デジタル放送出力端子にビデオデッキを通して、他のテレビをつなぐと正常に表示できないことがあります。

映像入力端子の優先順位について

● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

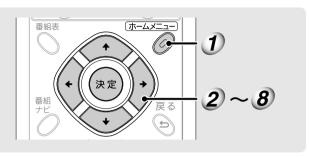
D4 映像 ⇒ S2 映像 ⇒ 映像

お知らせ

- ビデオ入力1、2、4には、複数の映像入力端子がありますが、どれか1つのみ接続してください。例えば、D4端子とS2映像端子の両方を同時に接続するなど、不要な接続はしないでください。

ビデオコントローラーを取り付ける

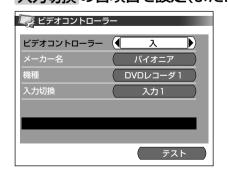
ビデオコントローラーをつないだら、録画機器のリモコン受光部近くにビデオコントローラーを設置します。

録画機器（DVR-530H）のビデオコントローラー設置例

ご注意

- ビデオコントローラーの取り付け位置が適切でないと、録画機器を制御できません。
- ビデオコントローラーは、録画機器のリモコン受光部近くに確実に取り付けてください。録画機器のリモコン受光部については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 両面テープを貼り付ける箇所のゴミやホコリをあらかじめ取り除いておいてください。
- 両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと無理にはがすと、板の表面を傷めることがあります。ご注意ください。

ビデオコントローラーの設定をする

[ビデオコントローラー]

ビデオコントローラーで制御する録画機器を設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. 初期設定 を選んで 決定 を押す
3. デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す
4. 外部機器設定 を選んで 決定 を押す

5. ビデオコントローラー を選んで 決定 を押す

6. ビデオコントローラー、メーカー名、機種、入力切換 の各項目を設定(または確認)する

次頁へつづく

↑ ↓ ← →で、次の項目を設定します。

項目	内容		
ビデオコントローラー	「入」を選びます。		
メーカー名	録画機器のメーカーを、次のメーカー名から選びます。		
	パイオニア	ソニー	松下
	東芝	シャープ	日立
	日本ビクター	サンヨー	三菱
	フナイ	アイワ	NEC
機種	録画機器の機種を選びます。選べる機種は、メーカーごとに異なります。		
	パイオニア	DVDレコーダ1～7※	
	ソニー	VTR1～6／DVDレコーダ1～3	
	松下	VTR1～5／DVDレコーダ1～3	
	東芝	VTR1、2／DVDレコーダ1～3	
	シャープ	VTR1、2／DVDレコーダ1、2	
	日立	VTR1～3／DVDレコーダ1	
	日本ビクター	VTR1～3／DVDレコーダ1～4	
	サンヨー	VTR1～4	
	三菱	VTR1～4／DVDレコーダ1、2	
	フナイ	VTR1	
	アイワ	VTR1～3	
	NEC	VTR1～4	
入力切換（「メーカー名」が「パイオニア」のときのみ）	当社製DVDレコーダーをご使用のときのみ設定できます。 本機のデジタル放送出力端子を接続したDVDレコーダーの外部入力端子を選んでください。あらかじめ録画機器側（DVDレコーダー）の外部入力を選ばなくても、自動的に本機からデジタル放送を録画予約できるようになります。 **（録画予約について☞64ページ）** ※入力切換は、2003年以降新発売の当社製DVDレコーダーが対象となります。		

※当社製DVDレコーダー（DVR-920Hなど）をビデオコントローラー接続する場合、機種はDVDレコーダ1～4の中から選びます。DVR-3000またはDVR-1000をご使用の場合は、DVDレコーダ5～7のいずれかに設定してください。

ご注意

- 設定を間違えると、正しく録画できません。

7 テストを選んで決定を押す

録画機器の電源が入ります。

ご注意

- テストは、録画機器が録画予約待機状態や録画予約実行中でないときに行ってください。

8 決定を押すたびに録画機器の電源が入/切することを確認する

録画機器の電源が入／切するかどうかを確認します。

お知らせ

- テスト中は、「メーカー名」や「機種」などの設定を変えられません。設定変更の操作をすると、テストは中止されます。
- テスト結果は本機には表示されません。
- 設定が終わったら、録画機器の電源を切ってください。
- 終了するときは、・元の画面を押します。

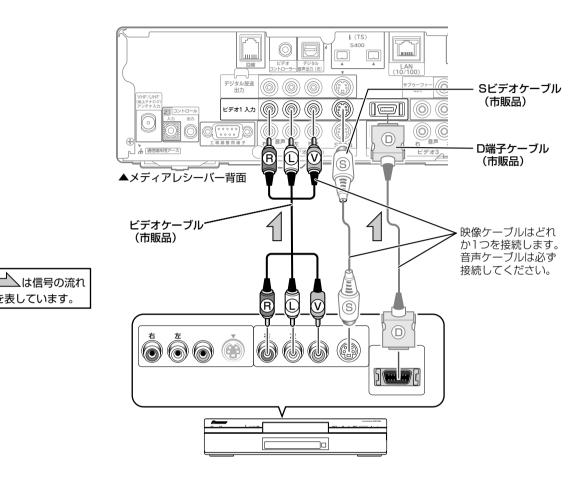
録画機器の電源を入/切できなかったときは

以下の手順で確認してください。

1 録画機器付属のリモコンで、録画機器の電源を入/切できるか確認する

2 ビデオコントローラーの接続と取り付け位置を確認する（☞94ページ）

3 「ビデオコントローラーの設定をする」（☞95ページ）の手順6で機種を変更してテストをする

録画機器の電源が入／切できるまで、「機種」を変更してテストを繰り返してください。

ご注意

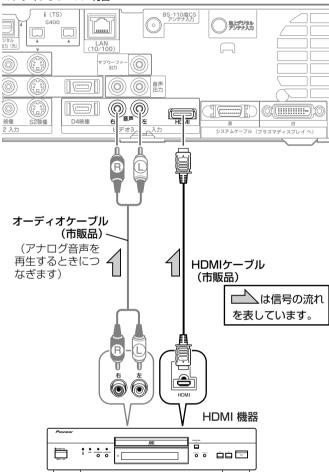
- 録画機器の機種によっては、対応していない場合があります。テストのリモコン信号を受け付けない録画機器のときは、本機のビデオコントローラーは使えません。その場合は、「ビデオコントローラの設定をする」（**☞95ページ**）の手順6で「ビデオコントローラー」を「切」に設定し、録画予約は、本機と録画機器の両方で設定してください。（**☞91ページ**）

DVD プレーヤーなどをつなぐ

DVDプレーヤーなどをつなぎます。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

映像入力端子の優先順位について

● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

D4 映像 ⇒ S2 映像 ⇒ 映像

お知らせ

- ビデオ入力1、2、4には、複数の映像入力端子がありますが、どれか1つのみ接続してください。例えば、D4端子とS2映像端子の両方を同時に接続するなど、不要な接続はしないでください。
- HDMIケーブルで接続するときは、「HDMI機器をつなぐ」(☞98ページ)をご覧ください。

HDMI 機器をつなぐ

HDMI対応のDVDプレーヤーなどを接続します。接続後は、HDMI接続の設定をしてください。

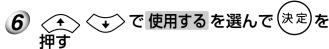
▼メディアレシーバー背面

お知らせ

- HDMIは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル映像·音声信号を伝送します。1本のHDMIケーブルをつなぐだけで、高品質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。
- HDMI入力に接続した機器の映像を見るときは、ビデオ3を選びます。
- 「HDMI入力」を「使用する」に設定したときは、ビデオ3入力のD4端子に接続した機器は見られません。D4端子で接続するときは、「使用しない」に設定してください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

HDMI接続の設定をする

［HDMI入力］

HDMIケーブルで接続した機器を使うための設定をします。必要に応じて映像と音声の設定もします。

確認してください！

□接続は終わっていますか？

□本機を設定する前に、HDMI機器の出力信号を、次のいずれかに設定してください。

- 本機で対応している映像信号
  - 720 × 480 ピクセルのインターレース映像
  - 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ映像
  - 1920 × 1080 ピクセルのインターレース映像
  - 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
- 本機で対応している音声信号
  - リニア PCM（ステレオ　2ch）
    サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz

1 ビデオ 3 を押して、ビデオ3を選ぶ

2 ホームメニュー を押す

3 その他の設定 を選んで 決定 を押す

4 HDMI入力 を選んで 決定 を押す

5 設定 を選んで 決定 を押す

HDMI入力

設定	使用しない
映像	
音声	

6 ⇧ ⇩ で 使用する を選んで 決定 を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「使用しない」に設定されています。

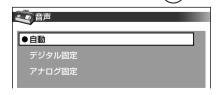
7 戻る を押す

8 映像 または 音声 を選んで 決定 を押す

HDMI入力

設定	使用する
映像	自動
音声	自動

映像

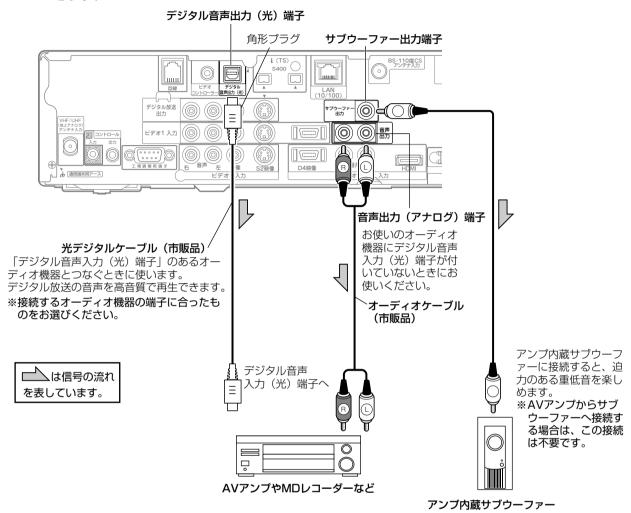
● HDMI 端子から入力される映像信号の設定をします。⇧ ⇩ で選んで 決定 を押してください。

映像
●自動
カラー1
カラー2
カラー3

自動※	入力信号に合わせて自動的に設定されます。
カラー1～カラー3	「自動」で色が正しく表示されないときに、正常に表示されるように最適な設定を選んでください。

※お買い上げ時の設定

音声

● HDMI 端子から入力される音声信号の設定をします。DVI対応機器と接続するときは、ビデオ３音声入力端子にオーディオケーブルを接続し、「アナログ固定」に設定します。⇧ ⇩ で選んで 決定 を押してください。

自動※	HDMI端子とビデオ3の音声入力を両方接続したときに選びます。自動的にデジタル音声とアナログ音声が切り換わります。
デジタル固定	HDMIだけに接続したときに選びます。HDMIのデジタル音声だけを再生します。
アナログ固定	HDMI端子とビデオ3の音声入力を両方接続したときに選びます。ビデオ3の音声入力（アナログ）の音声だけを再生します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- DVI対応機器を接続するときは、DVI-HDMI変換ケーブル（市販品）をご使用ください。
- 接続するDVI対応機器によっては、映像が正しく表示されないことがあります。
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

オーディオ機器をつなぐ

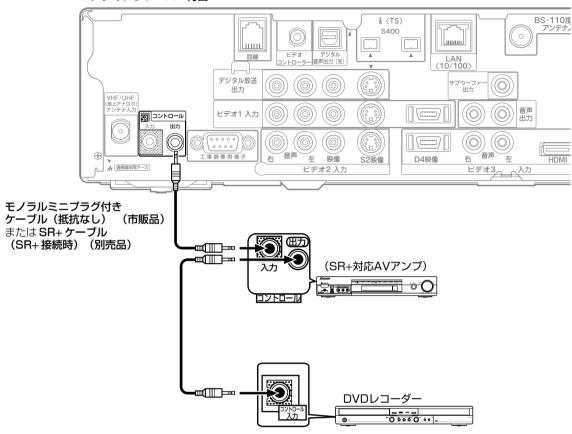
本機の音声出力（光デジタル／アナログ）にAVアンプやMDレコーダーなどのオーディオ機器をつなぎます。サブウーファーをつないで迫力の重低音を楽しむこともできます。

ご注意

- 接続する前に、本機とオーディオ機器の電源を切ってください。
- 録音が制限された放送や番組は、デジタル録音できません。
- 本機に光デジタル音声ケーブルで接続できるのは、MPEG-2 AACまたはサンプリング周波数が32kHz／48kHzのPCM信号に対応した（サンプリングレートコンバーターを内蔵した）オーディオ機器に限ります。

お知らせ

- 地上アナログ放送や、ビデオ1〜4入力からの音声を出力することができます。このとき、設定に関係なく「PCM」で出力されます。
- HDMI入力（ビデオ3入力）からの入力信号（デジタル音声）は、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- MPEG-2 AAC対応のオーディオ機器を接続するときは、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- 番組によっては、録音が制限されている場合があります。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル放送の5.1chサラウンドを楽しむには

● 光デジタルケーブルで、MPEG-2 AAC対応のAVアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子と接続します。デジタル音声の出力フォーマットを「自動」または「AAC」にすると5.1チャンネルサラウンドが楽しめます。（☞137ページ）

ご注意

- お買い上げ時の音声出力のフォーマットは「PCM」に設定されています。5.1チャンネルのサラウンド再生をするときに、設定を変更してください。

コントロール接続について

SRマークの付いた当社製の機器を接続すると、他の機器のリモコン信号を本機のリモコン受光部で受信できるようになります。コントロール接続をした機器のリモコンは、本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- コントロール端子とビデオコントローラー端子を間違えないようにご注意ください。
- コントロール接続をする前に、ほかの機器の接続をすべて済ませてください。

SR+ について

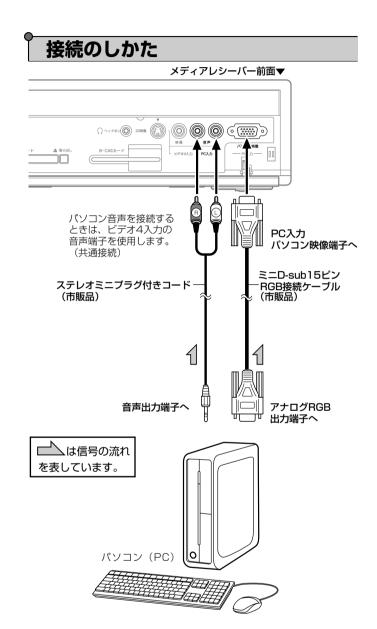
● 本機は、SR+ 端子を装備した当社製 AV アンプとの連動動作を可能にする SR+ に対応しています。SR+ には、システム連動動作機能やサラウンドモードの画面表示機能などがあります。詳しくは、お使いの SR+ 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- SR+接続をするときは、専用のSR+ケーブルをご使用ください。SR+ケーブル（パイオニア部品番号：ADE7095）をお求めになるときは、詳しくはパイオニア部品受注センター（裏表紙）までご相談ください。
- 接続例のように間に他の機器を挟まないで、本機とAVアンプを直接接続してください。
- SR+接続による連動動作が始まると、本機の音量が一時的に最小になることがあります。本機のスピーカーから音を出したいときは本機の音量を調整してください。

パソコン（PC）の画面を見る

PC

メディアレシーバーの前面扉を開けると、PC入力端子（パソコン映像）があります。
パソコンを接続して、リモコンの PC を押すと、本機でパソコン画面を表示できます。

本機で表示可能なパソコン信号一覧

パソコンを接続する前に、パソコン側で画面の解像度を設定してください。

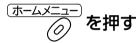
解像度	垂直周波数
720×400	70Hz
640×480（VGA）	60Hz
	72Hz
	75Hz
800×600（SVGA）	56Hz
	60Hz
	72Hz
	75Hz
1024×768（XGA）	60Hz
	70Hz
	75Hz
1280×768（ワイドXGA）	56Hz
	60Hz
	70Hz

お知らせ

- パソコン側のモニター出力や解像度の設定(例:画面のプロパティ)が必要な場合があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

接続のしかた

パソコン画面を調整する
[その他の設定]

最適な表示になるように、パソコン画面を調整できます。「自動調整」と「手動調整」の2つがあります。

お知らせ
- スクリーンセーバーや動画など動きのある映像や、画面全体が単色になっているときには、「自動調整」では最適な画面が表示されないことがあります。その場合は、「手動調整」を行ってください。
- 接続しているパソコンによっては、「自動調整」では最適な画面が表示されないことがあります。その場合も、「手動調整」を行ってください。

自動で調整する　[画面の自動調整開始]

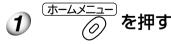
パソコン画面を自動で調整します。

1 ホームメニュー を押す

2 を選んで 決定 を押す

3 画面の自動調整開始 を選んで 決定 を押す

画面の自動調整が始まります。

自動調整が終わると、「その他の設定」画面に戻ります。

お知らせ
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

手動で調整する　[画面の手動調整]

パソコン画面を手動で調整します。

水平・垂直位置	画面の水平・垂直位置を調整します。
クロック周波数	映像に縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	文字などの表示中にチラツキがあるときや、コントラストがつかないときに調整します。

1 ホームメニュー を押す

2 を選んで 決定 を押す

3 画面の手動調整 を選んで 決定 を押す

4 水平・垂直位置 を選んで 決定 を押す

5 ▲ ▼ ◀ ▶ で、上下左右の位置を調整する

6 戻る を押す

7 クロック周波数 または クロック位相 を選んで 決定 を押す

8 ◀ ▶ で調整する

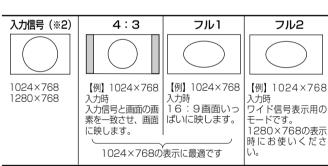
お知らせ
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

画面の調整を元に戻すには　[初期状態に戻す]

調整した画面の状態をお買い上げ時の設定に戻したいときは、「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んで 決定 を押してください。

画面サイズを切り換える

画面サイズ

画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選びます。

ご注意

- 静止画像、または画面サイズ4:3やDot by Dot、上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作権者の権利を侵害するおそれがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映してお楽しみになることをおすすめします。

お知らせ

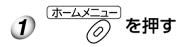
- 入力信号（解像度や垂直周波数）によって、選べる画面サイズは変わります。

入力信号	4：3	フル	Dot by Dot（※1）
720×400 640×480 800×600	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。

入力信号（※2）	4：3	フル1	フル2
1024×768 1280×768	【例】1024×768入力時 入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。	【例】1024×768入力時 16：9画面いっぱいに映します。	【例】1024×768入力時 ワイド信号表示用のモードです。 1280×768の表示時にお使いください。
	1024×768の表示に最適です		

※1： PDP-436HDをお使いのときは、横長画素のため、実際の入力信号よりも横長に映ります。

※2： PDP-506HDをお使いのときは、1024×768（XGA）信号入力時のDot by Dot表示は、画面サイズ「4：3」を選んでください。また、1280×768（ワイドXGA）信号入力時のDot by Dot表示は、画面サイズ「フル2」を選んでください。

1 画面サイズ を押して、画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

画質を調整する

［画質の調整］

画質・音質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ調整をしたい画質・音質モードに切り換えてください。（画質・音質モード ☞68ページ、音質を調整するときは ☞72ページ）

1

を押す

2 画質の調整 を選んで 決定 を押す

3 ↑ ↓ で調整したい項目を選んで 決定 を押す

コントラスト	部屋の明るさにあわせて明るさを調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
Rレベル	お好みの赤色に調整します。
Gレベル	お好みの緑色に調整します。
Bレベル	お好みの青色に調整します。

4 ← → で調整する

→ で＋側に、← で－側に調整できます。

5 戻る を押して、手順3と4を繰り返す

お知らせ

- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

映像の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

調整した画質をお買い上げ時の設定に戻したいときは、「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んで 決定 を押してください。（詳しい操作方法 ☞69ページ）

省エネ機能を使う

［省エネの設定］

パソコン入力専用の省エネ機能を設定します。

(その他の省エネ機能 ☞61ページ)

パワーマネージメント	無信号の状態が一定時間続いたときに、自動的にスタンバイ状態またはサスペンド（入力信号待ち）状態にする機能を設定します。	
	しない※	パワーマネージメント機能を使いません。
	モード1	無信号の状態が約8分間続くと、スタンバイ状態にします。
	モード2	無信号の状態が約8秒間続くと、サスペンド（入力信号待ち）状態にします。

※お買い上げ時の設定

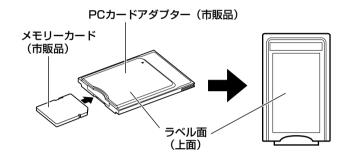
お知らせ
- 省エネ機能が働いているときに 電源 を押すと、電源が入ります。このとき入力信号がとぎれていると、再び省エネ機能が働きます。

を押す

2 省エネの設定 を選んで 決定 を押す

3 設定したい項目を選んで 決定 を押す

4 ⇧ ⇩ で設定を選んで 決定 を押す

お知らせ
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

メモリーカードの静止画を見る

［ホームギャラリー］

本機では、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで撮影された静止画を見ることができます。

メモリーカードについて

メモリーカードは、PCカードアダプターに装着して使います。

- 本機では、TYPE II 準拠の PC カードアダプターが使えます。
- メモリーカードの装着方法は、各 PC カードアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- お使いのメモリーカード、PC カードアダプターの種類によっては、一部使用できないことがあります。
- 本機は、PC カードの CardBus には対応していません。
- カード型のハードディスクには対応していません。

お知らせ

- 推奨のメモリーカード、PCカードアダプターについて知りたいときは、当社ホームページをご覧になるか、カスタマーサポートセンターへご相談ください。(☞裏表紙)

画像データについて

- 動画の再生や録画はできません。
- JPEG 形式のファイルを見ることができます。
- 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」にしてください。また、長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。
- 画素数が 160 × 120 ～ 3264 × 2448 の画像データを表示できます。
- 同じファイル名があった場合や、DCF規格上表示をしないファイル名のときは、それらを表示しません。
- フォルダー名とファイル名は、半角文字のみに対応しています。

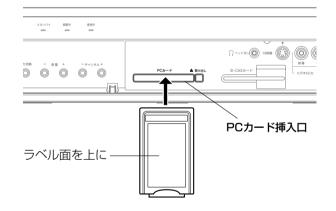
お知らせ

- 本機が対応するファイルシステムはDOS FAT(FAT16)／VFAT／FAT32です。
- パソコンでは、ディレクトリをフォルダーと呼びます。
- JPEGファイルとフォルダーのみが表示されます。
- フォルダー名は40文字(半角)まで、ファイル名は8文字までが表示されます。
- 音楽や音声など、音の再生はできません。

画像を見る（フォルダー一覧～アルバム表示）

メディアレシーバーの前面扉内のPCカード挿入口にPCカードを挿入するだけで、PCカード（メモリーカード）の内容が表示されます。

ご注意

- **上下左右に黒帯が表示される映像や同じ画像を長時間表示しないでください。画面が焼き付き、残像が残ることがあります。**
- 表示中は、電源を切ったりPCカードを抜かないでください。

お知らせ

- 録画予約の実行中は操作できません。

1 PCカード挿入口にPCカードを挿入する

PC カードアダプターのラベル面を上にして、奥まで確実に押し込んでください。

しばらくすると、PCカード（メモリーカード）内のフォルダー一覧が表示されます。

2 でフォルダーを選んで 決定 を押す

アイコン	説明
(フォルダー)	フォルダーの中に画像ファイルがあります。選択すると、画像ファイルが表示されます。
(灰色フォルダー)	フォルダーの中に画像ファイルはありません。このフォルダーは選べません（灰色で表示）。
(サブフォルダー)	フォルダーの中にフォルダー（サブフォルダー）があります。選択すると、フォルダー（サブフォルダー）が表示されます。
(画像データ)	画像ファイルです。現在のフォルダーの中に複数の画像ファイルがあるときは、このアイコンで「画像データ」として表示されます。選択すると、画像が表示されます。

サブフォルダーのあるフォルダー（）を選択したとき

- フォルダー一覧が表示されます。見たい画像の入っているフォルダーを選んで 決定 を押します。
- またはが表示されたら、選んで 決定 を押してください。アルバム表示画面に、画像が一覧表示されます。

画像を含むフォルダー（）／画像データ（）を選択したとき

- 決定 を押すと、アルバム表示画面に、画像が一覧で表示されます。

お知らせ

- １つ上のフォルダに戻るときは、戻る を押します。戻る を押すたびに1つ前の画面に戻ります。

3 アルバム表示画面で、選んだ画像ファイルの情報を見る

アルバム表示画面では、で選んだ画像ファイルの情報を確認できます。

次頁へつづく

4 希望の表示方法を選んで画像を見る

画像の表示方法は、シングル表示とスライドショーが選べます。

アルバム表示	サムネイル（縮小画像）と画像情報を一覧表示します。（☞107ページの画面例）
シングル表示	1つの画像を画面に大きく表示します。
スライドショー	スライドを見るように連続して画像を表示します。スライド設定画面で、再生モード（自動／手動）などを選べます。

画像を1枚ずつ見るには（シングル表示）

● アルバム表示で、▲▼◀▶で画像を選んで（決定）を押してください。画像が大きく表示されます。**（1枚ずつ見る（シングル表示）☞本ページ右段）**

画像をスライドショーで見るには

● アルバム表示で（青）を押してください。スライド表示に変わります。**（連続して見る（スライドショー）☞109ページ）**

スライドショーの再生モードなどを設定するには

● アルバム表示で（赤）を押してください。スライドショーの設定画面に変わります。**（☞スライドショーの設定をするには☞109ページ）**

画質を調整するには

● アルバム表示で（緑）を押してください。画質の調整画面に変わります。**（画質の調整方法は☞69ページ）**

5 終了するときは、［・元の画面］を押す

お知らせ

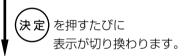
- 終了後に、もう一度ホームギャラリーを表示するには、ホームメニューの「ホームギャラリー」を選んでください。（PCカードを挿入した状態で電源を入れたときも、同じです。）
- ホームギャラリーを終了してから、PCカードを抜いてください。

PCカードを取り出すときは

［・元の画面］を押して、ホームギャラリーを終了後、PCカード取り出しボタンを押してください。PCカード（アダプター）が途中まで出てきたら抜いてください。

！ご注意

- PCカードアダプターを本機に挿入した状態で、メモリーカードを抜き差ししないでください。
- PCカードアダプターを挿入したままにしておくと、故障の原因になることがあります。
- 表示中は、電源を切ったりPCカードを抜かないでください。

1枚ずつ見る

［シングル表示］

アルバム表示で画像を選んで（決定）を押すと、選んだ画像が大きく表示されます。
表示モードには、「ノーマル表示」（操作ガイド/ファイル情報あり）と「フル表示」（操作ガイドなしで画面いっぱいに表示）があります。

ノーマル表示

フル表示

画像を切り換えるには

● （青）⇒前の画像に変わります。

● （赤）⇒次の画像に変わります。

画像を回転するには（ノーマル表示のときのみ）

● （緑）を押すたびに、時計回りに90度ずつ回転します。

表示モード（ノーマル／フル）を切り換えるには

● （決定）を押すたびに、ノーマル表示とフル表示が切り換わります。

お知らせ

- アルバム表示に戻るときは、（戻る）を押します。
- 終了するときは、［・元の画面］を押します。

連続して見る（スライドショー）

アルバム表示で 青 を押すと、スライドショーで画像を連続して表示できます。スライドショーの再生モードには、自動再生と手動再生があります。

自動再生	一定の時間で画像を自動的に切り換えて表示します。
手動再生	青 または 赤 を押すたびに画像を切り換えます。

お知らせ

- 初期状態の再生モードは「自動」です。
- 自動再生モードの画像切り換え時間は、スライドショーの設定画面で設定できます。初期状態では「3秒」になっています。

自動再生モードで一時停止するには

- 青 を押します。もう一度 青 を押すと、再生されます。

手動再生モードで画像を切り換えるには

- 青 ⇒前の画像に変わります。
- 赤 ⇒次の画像に変わります。

表示モード（ノーマル / フル）を切り換えるには

- 決定 を押すたびに、ノーマル表示とフル表示が切り換わります。

お知らせ

- アルバム表示に戻るときは、戻る を押します。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

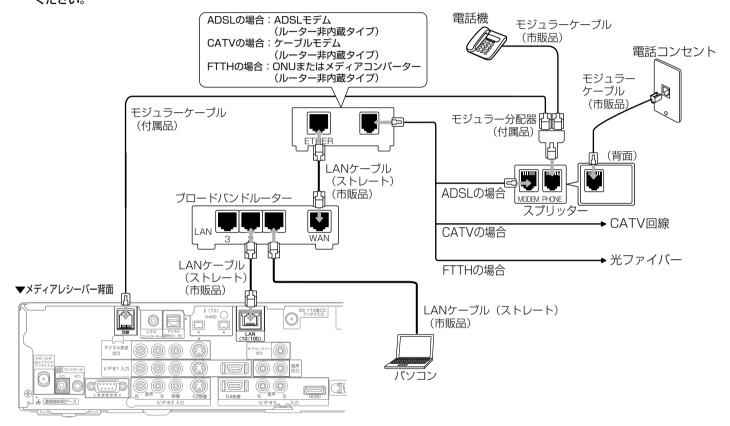
スライドショーの設定をするには

アルバム表示で 赤 を押すと、スライドショー設定画面に変わります。再生モードや画像の表示間隔などを設定できます。

▲ ▼ ◀ ▶ で、次の項目を選びます。

表示モード	**ガイド付き**※	操作ガイドありのノーマル表示
	全画面	操作ガイドなしのフル表示
再生順序	**名前順**※	ファイル名のアルファベット順に再生
	ランダム	ランダムに再生
再生回数	**1回**※	1回再生して終了
	繰り返し	繰り返して再生
再生モード	**自動**※	自動再生モード
	手動	手動再生モード
表示間隔	自動再生モードで、各画像を切り換える時間（秒数）を、以下から選択します。 3※⇒5⇒10⇒20⇒30⇒60⇒90 ……	

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- アルバム表示に戻るときは、戻る を押します。
- 「表示間隔」の値は、おおよその目安です。画像サイズが大きいときは、表示に時間がかかるため、設定した時間で切り換わらないことがあります。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

ネットワークにつなぐ

インターネット常時接続（ブロードバンド）の環境でLANに接続すると、インターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。接続後は、ホームメニューで**IPアドレス設定**と**プロキシサーバー設定**の2つを設定してください。

確認してください！

□ インターネット常時接続（ブロードバンド）環境で、LAN（10BASE-T/100BASE-TX）接続ができるときにお読みください。

ご注意

- 本書では、すでにブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでないお客様は、接続できません。
- 本機では、インターネットのホームページの閲覧やEメールの送受信はできません。
- 回線業者やプロバイダーによって、必要な機器と接続方法が異なります。
  — ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。また、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  — 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きのADSLモデムなどの設定はできません。
- パソコン(PC)などで設定が必要になることがあります。
- ADSLモデムについてご不明の点は、ご利用のADSL回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
- 電話用のモジュラーケーブルをLAN(10BASE-T/100BASE-TX)端子に接続しないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- インターネット常時接続のネットワークに接続すると、インターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。
- ブロードバンドルーターまたはブロードバンドルーター機能付きADSLモデムをお使いであれば、ほとんどの場合、本機のLAN(10BASE-T/100BASE-TX)端子に接続して設定すると使えます。
- ブリッジ接続型ADSLモデムをお使いのお客様は、ブロードバンドルーターが別途必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときなどは、ADSL事業者にご相談ください。
- 回線業者やプロバイダー、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- 詳しくは販売店にご相談ください。接続後は、ネットワークの設定をしてください。**(☞111ページ)**
- 接続ケーブルや接続機器などは、必要に応じて市販品をお買い求めください。

ネットワークの設定をする

[ネットワーク設定]

ネットワーク（LAN）の接続が終わったら、インターネットに接続するための設定をします。IPアドレス設定とプロキシサーバー設定の2つを設定して、接続テストをします。

確認してください！

□ LANに接続しましたか？ ☞110ページ

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 ネットワーク設定 を選んで 決定 を押す

ネットワーク設定画面が表示されます。

5 項目を選んで 決定 を押す

ネットワーク設定
- ＩＰアドレス設定
- プロキシサーバー設定
- ネットワーク情報

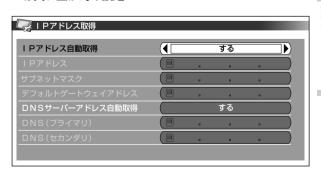
以下の説明をご覧になり、「IPアドレス設定」「プロキシサーバー設定」を順に設定して、最後に「テスト」を実行してください。

IPアドレスを設定する

[IPアドレス設定]

IPアドレス、サブネットマスク、DNSサーバーのアドレスなどを設定します。

1 ネットワーク設定画面で IPアドレス設定 を選んで 決定 を押す

2 IPアドレス自動取得 、DNSサーバーアドレス自動取得 で、それぞれ する または しない を選ぶ

◀ ▶ で選びます。「する」に設定すると、IPアドレスとDNSサーバーのアドレスが自動で取得されます。

お知らせ
- お買い上げ時は、「IPアドレス自動取得」と「DNSサーバーアドレス自動取得」は「する」に設定されています。
- お使いのブロードバンドルーターやADSLモデムでDHCP機能が使えるときは、「する」にしてください。本機のIPアドレスが自動で取得されます。
- 「IPアドレス自動取得」を「しない」にすると、「DNSサーバーアドレス自動取得」も「しない」に設定されます。

IPアドレス自動取得	する※		IPアドレスが自動取得されます。
	しない	IPアドレス	自動取得（DHCP機能）が使えないときは、「しない」を選んで、各アドレスを入力します。
		サブネットマスク	
		デフォルトゲートウェイアドレス	
DNSサーバーアドレス自動取得	する※		アドレスが自動取得されます。 ●「IPアドレス自動取得」を「しない」にしたときは選べません。
	しない	DNS（プライマリ）	アドレスを入力します。
		DNS（セカンダリ）	

※お買い上げ時の設定

次頁へつづく

「しない」（IP アドレス自動取得／ DNS サーバーアドレス自動取得）を選んだときは

● 上下左右ボタンで入力項目を選んで、①〜⑩₀で各アドレスを入力してください。

お知らせ
- 「0」を入力するときは、⑩₀を押します。
- 間違って入力したときは、⑫を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。

3 戻るを押す

ネットワーク設定画面に戻ります。

▶「プロキシサーバーの設定をする」へ

プロキシサーバーの設定をする

［プロキシサーバー設定］

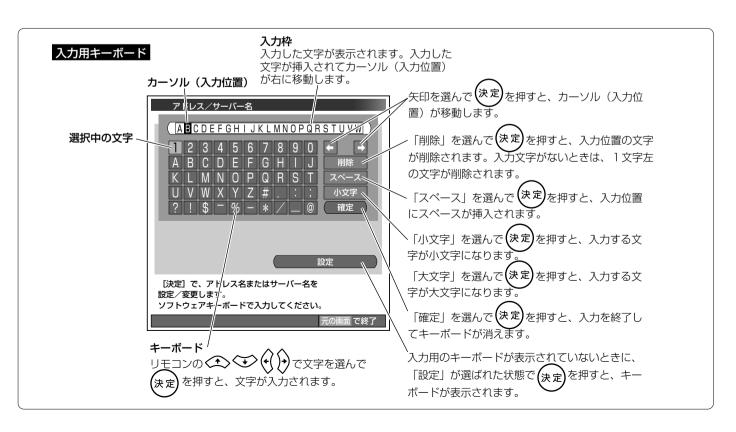
回線業者やプロバイダーからプロキシサーバーが指定されているときは、プロキシサーバーの設定をします。なお、プロキシサーバーの指定がないときは、設定の必要はありません。

お知らせ
- お買い上げ時は､「プロキシサーバー」は「使用しない」に設定されています。
  ▶プロキシサーバーを設定しない方は ☞「接続のテストをする」113ページへ

1 ネットワーク設定画面で、プロキシサーバー設定 を選んで 決定 を押す

2 プロキシサーバー で、使用する を選ぶ

「使用しない」を選んだときは

● そのまま 戻る を押してください。
▶「接続のテストをする」113 ページへ

3 ポート番号 で、プロキシのポート番号を入力する

①〜⑩₀で、ポート番号（5桁まで）を入力してください。

お知らせ
- 「0」を入力するときは、⑩₀を押します。
- 間違って入力したときは、⑫を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。

4 アドレス/サーバー名 を選んで 決定 を押す

プロキシサーバーの「アドレス / サーバー名」入力画面が表示されます。

入力用キーボード

入力枠
入力した文字が表示されます。入力した文字が挿入されてカーソル（入力位置）が右に移動します。

カーソル（入力位置）

選択中の文字

アドレス／サーバー名
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVW
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ← →
A B C D E F G H I J 削除
K L M N O P Q R S T スペース
U V W X Y Z # . : ; 小文字
? ! $ ¯ % − * ／ _ @ 確定
設定
［決定］で、アドレス名またはサーバー名を設定／変更します。
ソフトウェアキーボードで入力してください。
元の画面 で終了

矢印を選んで 決定 を押すと、カーソル（入力位置）が移動します。

「削除」を選んで 決定 を押すと、入力位置の文字が削除されます。入力文字がないときは、1文字左の文字が削除されます。

「スペース」を選んで 決定 を押すと、入力位置にスペースが挿入されます。

「小文字」を選んで 決定 を押すと、入力する文字が小文字になります。

「大文字」を選んで 決定 を押すと、入力する文字が大文字になります。

「確定」を選んで 決定 を押すと、入力を終了してキーボードが消えます。

入力用のキーボードが表示されていないときに、「設定」が選ばれた状態で 決定 を押すと、キーボードが表示されます。

キーボード
リモコンの上下左右ボタンで文字を選んで 決定 を押すと、文字が入力されます。

5 (決定)を押す

入力用のキーボードが表示されます。(☞112ページ)

6 キーボードの文字を選んで(決定)を押して、アドレス/サーバー名を入力する

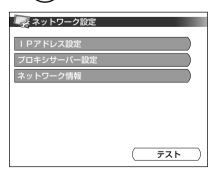
(↑)(↓)(←)(→)でキーボードの文字を選んで(決定)を押すと、文字が入力されます。

お知らせ
- 数字を入力したいときは、リモコンのチャンネルボタンを押しても入力できます。
- ⑫を押すと、入力位置の1つ前の文字を消せます。

7 アドレス/サーバー名の入力が終わったら、確定を選んで(決定)を押す

入力したアドレス/サーバー名が設定されて、入力用のキーボードが消えます。

8 (戻る)を押す

ネットワーク設定画面に戻ります。

▶「接続のテストをする」へ

接続のテストをする

［テスト］

インターネットに接続できるかどうかテストします。

1 ネットワーク設定画面で、テストを選んで(決定)を押す

インターネットへの接続テストが始まり、「接続テスト中です」と表示されます。しばらくすると、テスト結果が表示されます。

「成功しました」と表示されたとき

● 回線が正しく接続され、設定されています。

「失敗しました」と表示されたとき

● テストでエラーになったため、インターネットに接続できません。**接続と設定を確認してください。**

メッセージ	内容
失敗しました（ネットワーク接続不可）	接続できませんでした。ケーブルが接続されていることを確認してください。また、ADSLモデムやルーターの電源が入っているか確認してください。
失敗しました（IPアドレス未設定）	IPアドレスが設定されていません。IPアドレスを設定してください。
失敗しました（IPアドレス取得失敗）	IPアドレスの自動取得ができません。IPアドレスの設定を確認してください。
失敗しました（IPアドレス重複）	IPアドレスがほかの機器と重複しています。IPアドレスを変更してください。
失敗しました（応答無し）	接続できませんでした。ルーターの電源が入っていることを確認してください。

お知らせ
- 終了するときは、(•元の画面)を押します。

設定を確認するには

［ネットワーク情報］

自動または手動で設定したIPアドレスや本機のMACアドレスを確認できます。

MACアドレスについて

● ネットワークの設定が終わると、IPアドレスなどとともに、本機のMACアドレスも表示されます。ブロードバンドルーターなどの設定でMACアドレスが必要なときは、ネットワーク情報画面で確認してください。

1 ネットワーク設定画面で、ネットワーク情報を選んで(決定)を押す

2 表示されたネットワーク情報を確認する

お知らせ
- 終了するときは、(•元の画面)を押します。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

地上アナログ放送の受信チャンネル設定と番組表（Gガイド）に関する設定を行います。

一括チャンネル設定	お住まいの地域に合わせて、一括でチャンネルを設定します。
自動チャンネル設定	一括チャンネル設定が利用できないときに、チャンネルを自動的に探して設定します。
チャンネル設定結果	現在のチャンネル設定結果を確認します。
個別チャンネル設定	チャンネルの設定を個別に修正します。
アナログ放送番組表設定	地上アナログ放送の番組表（Gガイド）を使うための設定を行います。

一括でチャンネル設定する

[一括チャンネル設定]

お住まいの地域、または最寄りの地域に合わせて、地上アナログ放送の受信チャンネルを一括で設定します。

お知らせ

- 地上デジタル放送への移行に伴って、お住まいの地域によっては、地上アナログ放送の一部のチャンネルが変更されることがあります。その場合、「一括チャンネル設定」では受信できなくなるチャンネルがあるため、「自動チャンネル設定」か、「個別チャンネル設定」で設定してください。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 アナログ放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 一括チャンネル設定 を選んで 決定 を押す

5 地域名 または 地域コード を選んで、お住まいの地域を設定する

地域名	◀ ▶ でお住まいの地域を選びます。
地域コード	1～10₀を押して3桁の地域コードを入力します。（地域コードについては ☞151ページ）

お知らせ

- お買い上げ時の「地域名」は、「東京」に設定されています。また、「地域コード」は「042」に設定されています。
- 地域コードの入力を間違えたときは、もう一度最初から操作し直してください。
- ご自宅のアンテナで受信している場合、お住まいの地域によっては、設定している地域とは別の隣接地域の電波を受信していることがあります。希望のチャンネルが選局できないときは、近隣の地域に変えて再度設定してください。例えば多摩市にお住まいでも、東京の放送局を受信した方が条件が良いときは、地域名を「東京」に設定してください。

6 決定 を押す

地上アナログ放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。（チャンネル設定結果 ☞115ページ）

お知らせ

- ▲ ▼ で設定結果のページを切り換えられます。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

自動でチャンネル設定する

［自動チャンネル設定］

ケーブルテレビ（CATV）や共同アンテナ受信で一括チャンネル設定が利用できないときに、本機で受信可能なチャンネルを自動的に探して設定できます。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 アナログ放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 自動チャンネル設定 を選んで 決定 を押す

アナログ放送の設定
- 一括チャンネル設定
- 自動チャンネル設定
- チャンネル設定結果
- 個別チャンネル設定
- アナログ放送番組表設定

5 地域名 または 地域コード を選んで、お住まいの地域を設定する

地域名	← → で地域を選びます。
地域コード	1 ～ 10₀ を押して 3 桁の地域コードを入力します。（**地域コードについては** ☞151 ページ）

お知らせ
- お買い上げ時の「地域名」は、「東京」に設定されています。また、地域コードは「042」に設定されています。
- 地域コードの入力を間違えたときは、もう一度最初から操作し直してください。

6 決定 を押す

設定が始まると、進行状況が表示されます。しばらくすると地上アナログ放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

（チャンネル設定結果　☞本ページ右段）

お知らせ
- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えられます。
- 自動チャンネル設定進行中は映像が乱れることがあります。
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

チャンネル設定結果を見る

［チャンネル設定結果］

現在のチャンネルの設定内容を確認します。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 アナログ放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 チャンネル設定結果 を選んで 決定 を押す

5 チャンネルの設定を確認する

チャンネル設定結果　1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	8	8

お知らせ
- ↑ ↓ で設定結果のページを切り換えられます。
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

個別にチャンネル設定する
［個別チャンネル設定］

チャンネルの設定を個別に修正します。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 アナログ放送の設定 を選んで 決定 を押す

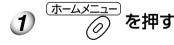
4 個別チャンネル設定 を選んで 決定 を押す

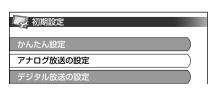
5 ↑ ↓ で項目を選んで ← → で設定する

リモコン	リモコンのチャンネルボタン（数字）の番号です。	
受信CH	放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。	
表示CH	テレビ画面に表示されるチャンネルです。共同受信などで、放送と画面表示が一致しないときに書き換えると便利です。 •「スキップ」を選択すると、チャンネル＋ － で選局できません。また、番組表にも表示しません。	
電界強度適応NR	**する**	電波の強さに応じて自動的にノイズを軽減します。
	しない	ノイズを軽減しません。
GR	**する**	ゴースト（2重映像）を軽減します。
	しない	ゴースト（2重映像）を軽減しません。
	• GRは、Ghost Reduction（ゴースト リダクション）の略です。	
AFT	**する**	自動的に最適な状態で選局します。
	しない	自動調整しません。
	• AFTは、Auto Fine Tuning（オート ファインチューニング）の略です。	
手動微調整	受信するチャンネルによっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなるときがあります。そのようなときは「AFT」を「しない」に設定したあと、手動微調整をしてください。 • 手動微調整中は「GR」は一時的に「しない」になります。	
放送局コード	番組表（Gガイド）に表示される放送局名を設定します。**（「地上アナログ放送局コード一覧表」☞154ページ）** 番組表などで放送局名が正しく表示されないときに設定してください。	

ご注意

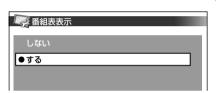
• 受信チャンネルの設定を変更したときは、「地上アナログ放送局コード一覧表」（☞**154ページ**）をご覧になって、「放送局コード」も必ず変更してください。

お知らせ
- 電界強度適応NRについて：
  放送電波の状況により、十分な効果が得られない場合があります。
- GRについて：
  次のような場合は、「GR」を「する」に設定してもゴースト軽減効果が得られません。
  – 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  – 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  – ゴーストの電波が強いとき
- 「GR」が「する」に設定されたチャンネルに切り換えると、画面が一瞬動いたり、明るさなどが変化したりしますが、故障ではありません。
- かんたん設定や一括チャンネル設定、自動チャンネル設定を行うと、「GR」が「する」に設定されます。
- 電波が弱いときなど、「GR」を「する」にしておくと映像が見にくいときは、「しない」に設定してください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できないときがあります。（アンテナは、最も強い電波が受信できる方向に向けてください。）
- ゴーストは、場所･天候などにより発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- 2画面表示（☞76ページ）のときは、地上アナログ放送が主画面（または親画面）のときのみGR機能が働きます。
- 終了するときは、［•元の画面］を押します。

地上アナログ放送の番組表（Gガイド）を設定する ［アナログ放送番組表設定］

地上アナログ放送の番組表（Gガイド）を使うための設定を行います。

お知らせ
- かんたん設定を実行すると自動的に設定は完了しています。変更が必要なときのみ設定してください。
- 地上アナログ放送の番組表（Gガイド）の情報取得には時間がかかります。（半日程度）
- ホスト局変更の連絡を受けたとき、ここでの設定が必要となります。
- お買い上げ時は、「番組表表示」＝「する」、「取得設定」＝「自動」に設定されています。

を押す

2 初期設定 を選んで（決定）を押す

3 アナログ放送の設定 を選んで（決定）を押す

4 アナログ放送番組表設定 を選んで（決定）を押す

5 番組表表示 を選んで（決定）を押す

アナログ放送番組表設定

番組表表示	する
取得設定	自動

6 する または しない を選んで（決定）を押す

番組表表示
しない
●する

「しない」を選んだとき
- 地上アナログ放送の番組表や番組情報が表示されなくなります。また、地上アナログ放送の番組表データも取得しなくなります。［•元の画面］を押して、ホームメニューを終了してください。

ご注意
- 「しない」を選ぶと地上アナログ放送の視聴予約は解除されます。

7 戻る を押して、1つ前の画面に戻る（手順6で する を選んだ場合のみ）

8 取得設定 を選んで（決定）を押す

アナログ放送番組表設定

番組表表示	する
取得設定	自動

お知らせ
- 手順6の「番組表表示」で「しない」を設定したときは、「取得設定」を選べません。

次頁へつづく

9 自動または設定を選んで（決定）を押す

「自動」を選んだとき

● アナログ放送の番組表情報が自動で取得されます。［•元の画面］を押して、ホームメニューを終了してください。

「設定」を選んだとき　☞手順10へ

● ホスト局と追加取得時刻の設定画面が表示されます。手順10に進みます。

お知らせ
- 「設定」は、「自動」取得設定で番組表が表示されないときなどに設定します。

10 ホスト局と追加取得時刻を設定して（決定）を押す（手順9で設定を選んだ場合のみ）

◀ ▶でホスト局と追加取得時刻（時／分／午前または午後）を移動して、▲ ▼で設定します。

ホスト局	▲ ▼で、番組表情報を取得する放送局（表示チャンネル）を選びます。（表示チャンネルについては☞116ページ）
追加取得時刻	◀ ▶で時分、午前／午後を切り換えて、▲ ▼で時分、午前/午後を設定します。

お知らせ
- 「ホスト局」とは、番組表を配信する放送局です。（「地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表」 ☞151ページ）

11 ホスト局を変更していいかどうかの確認画面で、はいを選んで（決定）を押す

お知らせ
- ホスト局を変更すると、地上アナログ放送の番組表や視聴予約の情報が消去されます。
- 終了するときは、［•元の画面］を押します。

地上アナログ放送の番組表データ送信時刻について

データが送信される時刻や回数は変更されることがあります。最新の送信時刻については、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。
http://www.ipg.co.jp/

番組表データ送信時刻

放送局				
北海道放送				
7:05	11:05	15:05	17:05	24:30
秋田テレビ、東北放送、中国放送、大分放送				
5:05	11:05	14:35	17:05	24:30
新潟放送				
5:05	11:05	14:35	17:35	24:30
TBS テレビ				
5:05	11:05	14:30	18:30	24:30
CBC テレビ				
5:35	11:05	14:35	17:00	24:30
毎日放送				
6:05	11:05	14:35	17:35	25:45
山陽放送				
5:05	11:05	14:35	17:00	24:30
RKB 毎日放送				
6:05	11:05	14:35	17:00	24:30
上記以外のホスト局				
6:05	11:05	14:35	17:05	24:30

2005年6月現在

地上アナログ放送の番組表を受信するには

● **番組表データの送信時刻の10分以上前に本機をデジタル放送視聴状態か、またはスタンバイ状態にしてください。**

● **番組表データの送信時刻から30分間は本機をデジタル放送視聴状態か、またはスタンバイ状態にしてください。**

お知らせ
- 番組表に表示される放送局は地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局の番組では、映像が受信できても番組表は表示できません。（**番組表対応の放送局については☞151～153ページ**）
- 下記の番組は番組表に表示されません。
  －放送大学の番組
  －ケーブルテレビ（CATV）の番組（CATVのVHF/UHF放送の番組表を表示できることがあります。詳しくはご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。）
- 番組内容や放送時間は放送局の都合により変更されることがあります。
- 本機では、番組表の表示機能にGガイドシステムを採用しています。当社では、Gガイドシステムを利用した番組表のサービス内容については関与していません。

地上アナログ放送の番組表が表示されないときは

お買い上げ後、「かんたん設定」をすると地上アナログ放送の番組表が表示されます。番組表が表示されないときは、まず以下の点を確認してください。

かんたん設定を終了しても番組表データを取得するまで番組表は表示されません

- かんたん設定終了後、半日以上スタンバイ（待機状態）にするか、デジタル放送をご覧ください。その間に各地域のホスト局から送られてくる番組表データを取得します。**（ホスト局からの番組表データ送信時刻については ☞118 ページ）**

時計は合っていますか？（☞121 ページ）

- 現在の日付や時刻が正しく設定されていないと番組表が表示できません。地上アナログ放送のみ受信している方は、地上アナログ放送の受信中に 番組表 を押して、現在時刻が正しく画面に表示されるかどうかをご確認ください。

- 日付や時刻が正しくないときは、時計合わせ（☞121 ページ）で設定してください。デジタル放送を受信している方は、自動的に正しい時刻が設定されます。

以上の点を確認したら、半日以上本機をスタンバイ（待機状態）にするか、または、番組表データの送信時刻にデジタル放送をご覧ください。それでも地上アナログ放送の番組表が表示されないときは、次の説明をご覧ください。

ステップ1：ホスト局の設定を確認する

地上アナログ放送番組表のホスト局は、地域ごとに異なります。ホスト局が設定されていないと、番組表が表示されません。次の手順でホスト局を確認して設定してください。
特にケーブルテレビ(CATV)や共同アンテナなどに接続して自動チャンネル設定(**☞115ページ**)をしたときや、個別チャンネル設定(**☞116ページ**)で変更をしたときは、ご注意ください。

1 ホスト局の放送局名を確認する

付録の「地上アナログ放送地域コード/ホスト局一覧表」(**☞151ページ**)」で、お住まいの地域の「ホスト局」の放送局名を確認してメモします。例えば東京のホスト局はTBSテレビです。

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7
都道府県	地域名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャン 放送局
東京	東京	042	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	[illegible] TBS テレビ	42 tvk テレ
	八王子	043	33 NHK 総合	40 MX テレビ	29 NHK 教育	35 日本テレビ		[illegible] TBS テレビ	

2 手順1で確認したホスト局の表示チャンネルを確認する

手順1で確認したホスト局の放送が映っているチャンネルに切り換えて、画面表示 を押します。表示されたチャンネル番号を確認してメモしてください。

ホスト局が受信できないときは、自動チャンネル設定(**☞115ページ**)で設定してから、再度確認してください。

3 ホームメニューの アナログ放送の設定 で アナログ放送番組表設定 を選んで、番組表のホスト局を確認する

ホームメニューの「アナログ放送番組表設定」(**☞117ページ**)で「取得設定」の「設定」を選びます。

「ホスト局」の表示が、手順2で確認した「表示チャンネル」番号かどうかを確認します。

ホスト局が正しいとき

- 「ステップ2：ホスト局の放送局コードを確認する」に進んでください。

ホスト局が間違っていたとき

- ⬆ ⬇ でホスト局を設定して、決定 を押します。確認の画面で、「する」を選んで 決定 を押してください。

ステップ2：ホスト局の放送局コードを確認する

ホスト局の放送局コードが正しく設定されているかを確認します。「個別チャンネル設定」で「放送局コード」を設定してください。

1 番組表のホスト局の放送局コードを確認する

付録の「地上アナログ放送局コード一覧表」(☞154ページ) で、ホスト局の放送局コードを確認してメモします。

例えば、TBS テレビの場合は「0518」になります。

関東	東京	NHK 総合	2128
		NHK 教育	2138
		TBS テレビ	0518
		日本テレビ	0260

2 ホスト局を表示してから、ホームメニューの アナログ放送の設定 で 個別チャンネル設定 を選ぶ

▶「個別にチャンネル設定する」☞116 ページ

3 個別チャンネル設定画面の 放送局コード に、手順1で確認した放送局コードを入力して •元の画面 を押す

①～⑩₀で放送局コードを入力します。

個別チャンネル設定

リモコン	6
受信ＣＨ	6
表示ＣＨ	6
電界強度適応ＮＲ	する
ＧＲ	する
ＡＦＴ	しない
手動微調整	0
放送局コード	0 5 1 8

お知らせ

- 「0」を入力するときは、⑩₀を押します。

4 半日以上、スタンバイ（待機状態）にする、またはデジタル放送をご覧になってから番組表を表示する

それでも表示されないときは

- ● ホスト局の受信状態が悪いときは、番組表を受信できません。アンテナの接続などを確認してください。
- ● ケーブルテレビ会社によっては、お住まいの地域と配信されている番組表の地域が異なることがあります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送の番組表に表示されない放送局があるときは

受信できていても番組表に表示されない放送局がある場合は、以下の説明に従って放送局コードが正しく設定されているか確認してください。

1 番組表に表示されない放送局の放送局コードを確認する

付録の「地上アナログ放送局コード一覧表」(☞154ページ)をご覧になってください。番組表に表示されない放送局の放送局コードを確認してメモします。

2 設定したい放送局が映っているチャンネルに切り換える

3 ホームメニューの アナログ放送の設定 で 個別チャンネル設定 を選ぶ

▶「個別にチャンネル設定する」 ☞116ページ

4 放送局コード に、手順1で確認した放送局コードを入力して •元の画面 を押す

①～⑩₀で放送局コードを入力します。

ご注意

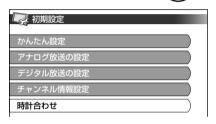
- リモコンの番号が「13」以上のとき、「表示CH」を「スキップ」に設定すると、番組表に表示されません。

5 番組表 を押す

放送局コードを入力した放送局が番組表に表示されます。

それでも番組表に表示されない放送局があるときは

- ● 番組表に表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局では、映像が受信できても番組表には表示されません。例えば地域名を下関に選んだ場合に北九州の放送局が受信できていても、その放送局は番組表には表示されません。
(番組表対応の放送局については☞151～153ページ)

時計を合わせる

[時計合わせ]

本機の日付と時刻を設定します。また、時計調整（ジャストクロック）用のチャンネルを指定します。地上アナログ放送だけしかご覧になれない場合で、番組表をお使いになるときなどに設定します。デジタル放送を視聴できるときは、自動的に設定されます。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 時計合わせ を選んで 決定 を押す

4 日付、時刻、ジャストクロックチャンネル を設定して 決定 を押す

← → で項目を移動して、↑ ↓ で設定します。

ご注意

以下のときにはジャストクロックが働きません。
- ジャストクロックチャンネルが正しく設定されていないとき
- 時報と本機の時刻が3分以上ずれているとき
- 時報の前後で録画予約しているとき
- 時報とともに別の音声が流れているとき

お知らせ

- ジャストクロックは設定されたチャンネルの正午の時報を受信して、本機の時刻を自動で調整する機能です。時報の時刻に本機をスタンバイ（待機状態）にするとジャストクロックが働きます。
- お買い上げ時のジャストクロックチャンネルは「--」（指定なし）です。「ジャストクロックチャンネル」を設定するときはNHK教育チャンネルに合わせてください。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

［地上デジタル設定］

地上デジタル放送を受信するためのチャンネルの設定をします。また、地上デジタル放送の番組表を自動取得するかどうかを設定します。

確認してください！

- □ 地上デジタル放送のアンテナは接続しましたか？ ☞38 ページ
- □ B-CAS カードを挿入していますか？ ☞27 ページ

自動チャンネル設定	受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。最初に設定する「**初期スキャン**」と、放送局（チャンネル）が増えたときなどに設定する「**再スキャン**」があります。
チャンネル自動変更	放送局の都合などでチャンネルが変更になったときに、自動的に変更されるように設定します。
番組表自動取得／取得時刻	地上デジタル放送の番組表データを自動で取得するかどうかを設定します。また、自動取得の場合の取得時刻を設定します。

受信できるチャンネルをスキャンして自動設定する ［自動チャンネル設定］

お住まいの地域に合わせて、受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。設定方法には、次の2種類があります。

初期スキャン	最初に地上デジタルの受信の設定をするときや、引越しなどで受信地域が変わったときに選びます。
再スキャン	放送局（チャンネル）が増えたときなど、受信状況が変わったときに再設定すると、自動的に追加されます。

初めて設定するときや引越しなどで地域が変わったときは ［初期スキャン］

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 地上デジタル設定 を選んで 決定 を押す

環境設定
- アンテナ設定
- 電話回線設定
- 居住地域設定
- リモコン設定
- 地上デジタル設定
- 自動アップデート　する

6 自動チャンネル設定 で、初期スキャン を選んで 決定 を押す

地上デジタル設定
- チャンネル自動変更　する
- 番組表自動取得　する
- 取得時刻　3:00 AM
- 自動チャンネル設定　初期スキャン
- 再スキャン

7 ◁ ▷ でお住まいの地域を選ぶ

8 スキャン開始 を選んで 決定 を押す

地上デジタル放送の初期スキャンが始まると、進行状況が表示されます。しばらくすると、地上デジタル放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

地上デジタルチャンネル設定結果　1/4

リモコン	CH	放送CH名	放送局名
1	011-0	マーキュリー1	マーキュリー総合
	021	マーキュリー2	マーキュリー教育
2	041	ビーテレ1	ビーナステレビ
	042	ビーテレ2	ビーナステレビ
3	051-0	テレビマーズ	テレビマーズ
	052-0	テレビマーズ	テレビマーズ

複数画面にまたがるとき

お知らせ
- △ ▽ で設定結果のページを切り換えられます。
- 電波の状態などにより、チャンネルの設定ができないときがあります。
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

放送局が増えたり受信状況が変わったときは
［再スキャン］

新たに増えた放送局（チャンネル）があるときに、自動的に追加できます。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

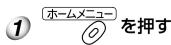
デジタル放送の設定
- 視聴設定　すべて
- 画面表示設定
- 視聴制限設定
- 外部機器設定
- ネットワーク設定
- 環境設定
- 初期状態に戻す

5 地上デジタル設定 を選んで 決定 を押す

環境設定
- アンテナ設定
- 電話回線設定
- 居住地域設定
- リモコン設定
- 地上デジタル設定
- 自動アップデート　する

次頁へつづく

6 自動チャンネル設定 で、再スキャン を選んで 決定 を押す

地上デジタル放送の再スキャンが始まると、進行状況が表示されます。しばらくすると、地上デジタル放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

お知らせ

- 再スキャンが終了するまで最大約10分かかることがあります。
- ⇧ ⇩ で設定結果のページを切り換えられます。
- 電波の状態などにより、チャンネルの設定ができない場合があります。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

チャンネルが変更されたら自動的に設定する ［チャンネル自動変更］

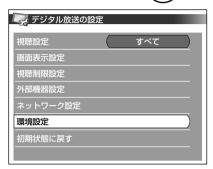
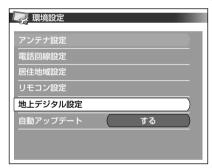
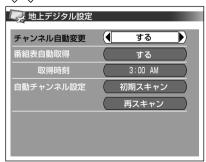
放送局の都合などでチャンネル（周波数）が変更になったときに、自動的に変更されるように設定します。

お知らせ

- チャンネルが変更されるときは、お知らせメッセージが届きます。(☞82ページ)
- お買い上げ時はチャンネルの自動変更が「する」になっています。「しない」に変更すると、チャンネルの自動変更ができなくなります。特に理由がなければ、変更しないでください。

1

を押す

2
初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

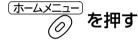
5 地上デジタル設定 を選んで 決定 を押す

6 チャンネル自動変更 で、する または しない を選ぶ

⇦ ⇨ で選びます。

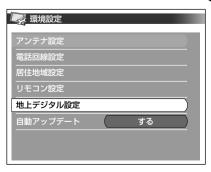
お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

番組表を自動的に取得する

［番組表自動取得］［取得時刻］

地上デジタル放送の番組表データを自動で取得するかどうかを設定します。また、自動取得のときの取得時刻を設定します。

お知らせ

- 地上デジタル放送の番組表を使用するときは、設定を変える必要はありません。
- お買い上げ時は、番組表自動取得が「する」に設定されています。
- 次の場合は番組表の取得ができません。ご注意ください。
  ーデジタル放送の視聴中
  ー主電源が「切」になっているとき
  ー本機のソフトウェアのダウンロード中
  ー録画中

1 を押す

2

3 デジタル放送の設定を選んで（決定）を押す

初期設定
- かんたん設定
- アナログ放送の設定
- デジタル放送の設定
- チャンネル情報設定
- 時計合わせ

4 環境設定を選んで（決定）を押す

デジタル放送の設定

視聴設定	すべて
画面表示設定	
視聴制限設定	
外部機器設定	
ネットワーク設定	
環境設定	
初期状態に戻す	

5 地上デジタル設定を選んで（決定）を押す

6 番組表自動取得で、するまたはしないを選ぶ

（←）（→）で選びます。

「しない」を選んだとき

● 地上デジタル放送の番組表のデータが自動で取得されなくなります。［・元の画面］を押して、ホームメニューを終了してください。

お知らせ

- 「しない」に設定したときは、地上デジタル放送の番組表を表示して、チャンネル上で（決定）を押すと、そのチャンネルの番組表のデータが取得されます。

7 取得時刻で時刻を設定して（決定）を押す（手順6でするを選んだときのみ）

お知らせ

- 終了するときは、［・元の画面］を押します。

BS・110度CSデジタル放送のチャンネルと周波数を修正する [衛星周波数設定]

放送局からの案内があるときのみ、衛星放送（BS・110度CSデジタル）のトランスポンダ（中継器）の周波数を設定します。**通常は、設定する必要はありません。**

ご注意

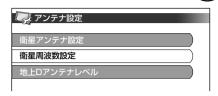
- 間違った周波数を設定すると、放送を受信できなくなります。

お知らせ

- トランスポンダは、衛星放送の電波の中継器です。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 アンテナ設定 を選んで 決定 を押す

6 衛星周波数設定 を選んで 決定 を押す

7 トランスポンダ で、周波数を変更したいトランスポンダ（中継器）を選ぶ

◀ ▶ で選びます。

現在のアンテナレベル

最大アンテナレベル（アンテナ調整中）

お知らせ

- 選択したトランスポンダでのアンテナレベルの現在値と最大値が表示されます。

8 周波数 で、衛星の周波数を設定する

①〜⑩0を押して設定します。

お知らせ

- ◀ ▶ を押すと、カーソルが移動します。
- すべての桁を入力しないで終了すると、設定されません。
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

デジタル放送の選局対象（すべて / お好み）を選ぶ

デジタル放送の番組を選ぶときに、登録した「お好みチャンネル」から選ぶか、すべてのチャンネルから選ぶかを設定します。「お好み」を設定すると、チャンネル＋/－ボタンで選局するときの選局範囲や、ジャンル検索、チャンネル一覧を使うときの初期表示が「お好みチャンネル」になります。

お知らせ

- お買い上げ時にリモコンのチャンネルボタン（①～⑫）に設定されているチャンネルが、初期状態の「お好みチャンネル」となります。
- お好みチャンネルは、「チャンネル一覧」で登録できます。（☞53ページ）

1 ホームメニュー を押す

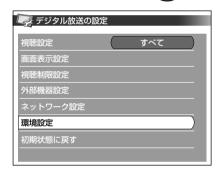
2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定を選んで 決定 を押す

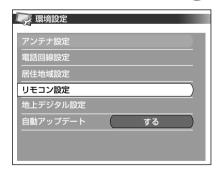
4 視聴設定 で、すべて または お好み を選ぶ

◀ ▶ で選びます。

お知らせ

- 終了するときは、・元の画面 を押します。

デジタル放送のリモコンのチャンネル設定を自分で修正する [リモコン設定]

リモコンのチャンネルボタン（①～⑫）に割り当てられているデジタル放送のチャンネルを変更できます。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 リモコン設定 を選んで 決定 を押す

6 チャンネル設定を変更したい放送を選んで 決定 を押す

選択した放送のリモコン設定画面が表示されます。

7 ▲ ▼ を押して、変更したいリモコン番号を選ぶ

8 ◀ ▶ を押して、割り当てる CH を変更する

お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

お買い上げ時のチャンネル設定に戻すには ［初期値に戻す］

リモコンのチャンネル設定を、お買い上げ時の設定に戻すときは、手順7で、「初期値に戻す」を選択して（決定）を押します。確認の画面で「はい」を選んで（決定）を押してください。

お知らせ

- BS･110度CSデジタル放送は、お買い上げ時の設定に戻ります。地上デジタル放送は、お買い上げ後、最初に設定した状態に戻ります。

お買い上げ時のリモコンのチャンネル設定 （2005年6月現在）

お買い上げ時のリモコンのチャンネル設定は、次のとおりです。

BS デジタル放送のチャンネル設定

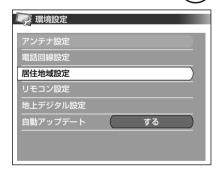
リモコン番号	CH 番号	チャンネル名
1	101	NHK　BS-1
2	102	NHK　BS-2
3	103	NHK デジタルハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-I
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル BS
11	700	NHK データ 1
12	701	NHK データ 2

お知らせ

- 110度CSデジタル放送で視聴できるチャンネルは、放送事業者とのご契約によって異なります。
- **110度CSデジタル放送のお問合せ先:**
  スカパー!110カスタマーセンター
  TEL　0570-012-110（ナビダイヤル）または 045-339-0002
  受付時間　10:00～22:00(年中無休)
  URL　http://www.skyperfecttv110jp/
- 上記の放送局名やチャンネルは、実際の表示とは異なる場合があります。また、放送局の都合などによって変わることがあります。
- 地上デジタル放送のチャンネルは、お住まいの地域によって異なります。

居住地域を設定する

デジタル放送で、お住まいの地域に関する情報を緊急警報放送やデータ放送で受信するために、居住地域を設定します。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 居住地域設定 を選んで 決定 を押す

6 郵便番号 で、7桁の郵便番号を入力する

①～⑩₀で入力します。

お知らせ

- 間違って入力したときは、⑫を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。

7 都道府県名 で、都道府県を選ぶ

◀ ▶ で選びます。

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

お知らせ

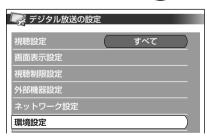
- 終了するときは、•元の画面 を押します。

アンテナの設定をする

[アンテナ設定]

地上デジタル放送と衛星デジタル放送の受信状態を確認します。アンテナレベルが最大になるようにアンテナの向き（方位角）や角度（仰角）を調整してください。

確認してください！

□ アンテナは接続しましたか？ ☞38ページ

地上Ｄアンテナレベル	地上デジタル放送のアンテナレベルを確認します。
衛星アンテナ設定	衛星アンテナの電源設定とアンテナレベルを確認します。

地上デジタル放送のアンテナレベルを確認する　[地上Dアンテナレベル]

1

を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

初期設定
かんたん設定
アナログ放送の設定
デジタル放送の設定
チャンネル情報設定
時計合わせ

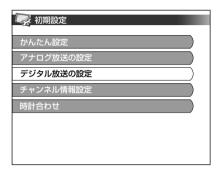
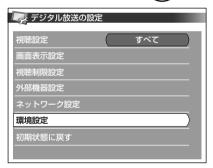
4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 アンテナ設定 を選んで 決定 を押す

6 地上Dアンテナレベル を選んで 決定 を押す

地上Ｄアンテナレベル画面に変わります。

お知らせ
- 地上デジタル放送を受信すると、「地上デジタル　アンテナレベル」と表示されます。

7 アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるようにアンテナを調整する

「現在値」が「最大値」に近づくように、アンテナの向き（方位角）を調整します。

お知らせ
- アンテナレベルは、最適なアンテナの向き（方位角）を調整するための目安です。アンテナレベルが高いほど受信状態がよいことを表しています。
- 良好な受信のための、アンテナレベルの目安は40以上です。
- アンテナレベルは、電波の強さではなく品質を表す指標です。ブースターで電波を増幅してもアンテナレベルは変わらないことがあります。
- 「物理チャンネル」で ◀ ▶ を押すと、チャンネルが切り換わります。
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

衛星アンテナへの電源供給やアンテナレベルの確認をする ［衛星アンテナ設定］

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 アンテナ設定を選んで 決定 を押す

6 衛星アンテナ設定を選んで 決定 を押す

衛星アンテナ設定画面に変わります。

お知らせ
- 衛星放送を受信すると、「BS　アンテナレベル」または「CS　アンテナレベル」と表示されます。

7 衛星アンテナに本機から電源を供給するかどうかを ← → で選ぶ

入	個別に衛星アンテナを設置しているときに選びます。本機が電源「入」のとき、衛星アンテナに電源が供給されます。
切※	マンションの共同アンテナなど、本機以外から衛星アンテナに電源を供給するときに選びます。

※お買い上げ時の設定

8 アンテナ電源 入 を選んだときは、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるようにアンテナを調整する

「現在値」が「最大値」に近づくように、アンテナの向き（方位角）や角度（仰角）を調整します。

お知らせ
- アンテナレベルは、最適なアンテナの向き（方位角）や角度（仰角）を調整するための目安です。アンテナレベルが高いほど受信状態がよいことを表しています。
- 良好な受信のための、アンテナレベルの目安は35以上です。
- アンテナレベルは、電波の強さではなく品質を表す指標です。ブースターで電波を増幅してもアンテナレベルは変わらないことがあります。
- アンテナレベルは、地域・季節・天候などにより異なります。
- アンテナの向き（方位角）や角度（仰角）の調整については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BSデジタル放送と110度CSデジタル放送のアンテナの向きは同じです。どちらか一方で調整をすれば、両方の受信ができます。
- 終了するときは、・元の画面 を押します。

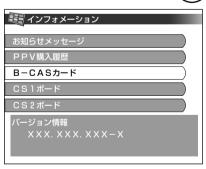
B-CAS カードのテストをする

[B-CAS カード]

デジタル放送を受信するためのB-CASカードの動作テストをします。

確認してください！

□ B-CAS カードを挿入していますか？ ☞27 ページ

1 デジタル放送を見ているときに 番組ナビ を押す

番組ナビが表示されます。

お知らせ

- 番組ナビは、デジタル放送時とアナログ放送時で選択できる内容が変わります。デジタル放送が映らないときでも、放送切換ボタンでデジタル放送に切り換えてください。
- ホームメニューから「番組ナビ」を選んでも、番組ナビが表示されます。

2 インフォメーション を選んで 決定 を押す

3 B-CASカード を選んで 決定 を押す

4 決定 を押す

B-CASカードのテストが始まります。しばらくすると、テスト結果が表示されます。

「成功しました」と表示されたとき

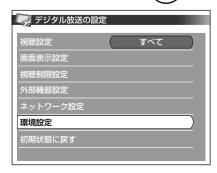
● B-CAS カードは正常に動作しています。カード情報、カードID、グループ ID が画面に表示されます。

「失敗しました」と表示されたとき

● B-CAS カードのテストでエラーになったため、カード情報を取得できません。B-CAS カードが正しく挿入されているか、使用できるカードかなどを確認してください。(☞27 ページ)

お知らせ

- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

電話の設定をする

デジタル放送の有料番組を購入する場合や双方向通信の番組に参加する場合は、本機に電話回線を接続します。接続後は電話回線の設定をして、通信テストをします。

確認してください！

□ 電話回線は接続しましたか？ ☞41 ページ

ダイヤル種別	電話回線の種別を設定します。「自動」「トーン」「10pps」「20pps」から選びます。	
外線発信番号 ポーズ付加	外線電話に0発信などが必要なときは外線発信番号を設定します。また、外線発信をする場合には、「ポーズ付加」で「する」を選びます。	
発信者番号通知	発信者番号を通知するかどうかを設定します。	
電話会社番号 マイラインプラス	本機から電話をかけるときに電話会社を変えたいときは、電話会社識別番号を設定します。また、マイラインプラスを解除します。	
電話回線テスト	回線接続確認	ダイヤルトーン（ダイヤル可能な状態を示す発信音）を検出して、電話回線が正しく設定されているかどうかを確認します。電話料金はかかりません。
	センター接続確認	実際に電話をかけて、つながるかどうかを確認します。成功すると、全国一律、約10円の電話料金がかかります。（2005年6月現在）

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 電話回線設定 を選んで 決定 を押す

電話回線設定画面が表示されます。

6 ダイヤル種別 で回線の種別を選ぶ

→を押すたびに、次の順に切り換わります。（←で逆順）

自動 ⇒トーン ⇒ 10pps ⇒ 20pps

自動※	電話回線のテストをすると、回線種別が自動的に設定されます。回線の種別が不明のときは「自動」にしてください。
トーン	お使いの電話がプッシュ回線のときに選択します。また、次の場合も「トーン」に設定します。 ● ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続したとき ● デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続のとき
10pps **20pps**	お使いの電話がダイヤル回線（10ppsまたは20 pps）のときに選択します。

※お買い上げ時の設定

7 外線電話に0発信などが必要なときは、外線発信番号 に、1桁の番号を設定する

①〜⑩₀を押して入力します。

8 発信者番号通知で、電話番号を相手に通知するかどうかを選ぶ

[→]を押すたびに、次の順に切り換わります。([←]で逆順)

設定しない ⇒ 通知する(186) ⇒ 通知しない(184)

設定しない※	お客様と電話会社との契約内容に従います。
通知する（186）	電話番号を通知します。
通知しない（184）	電話番号を通知しません。

※お買い上げ時の設定

お知らせ
- 「設定しない」、「通知しない」に設定しても電話番号を通知することがあります。

9 本機から電話をかけるときの電話会社を変えたいときは、次の設定をする

電話会社番号に電話会社識別番号を設定する

● ①～⑩₀を押して入力します。

お知らせ
- 間違って入力したときは、⑫を押すと1つ前の桁に戻って入力し直せます。

マイラインプラスをご契約のときは、マイラインプラスを解除する

●「マイラインプラス」で「解除する（122）」を選ぶ

お知らせ
- 電話会社番号が設定されていないときは、「マイラインプラス」は設定できません。

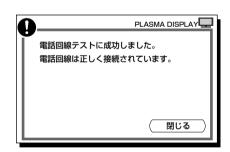
10 外線発信番号、電話会社番号、マイラインプラスなどを設定したときはポーズ付加でするを選ぶ

「する」に設定すると、外線発信番号、マイラインプラス、発信者番号通知、電話会社番号、電話番号の間にポーズ（3秒）が入ります。

お知らせ
- 外線発信番号、マイラインプラス、電話会社番号などを設定しないときは、「しない」のままにしてください。

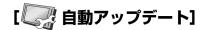
電話回線のテストをする

設定が終わったら、電話回線のテストをします。テストには、「回線接続確認」と「センター接続確認」の2つがあります。「回線接続確認」では、ダイヤル種別の設定が誤って設定されていても、テストが成功する場合があります。実際に電話で正しく通信できるかどうかを確認をしたいときは、「センター接続確認」を行ってください。

1 電話回線設定画面で、回線接続確認またはセンター接続確認を選んで(決定)を押す

「センター接続確認」を選んだときは

● テストの確認画面が表示されます。「はい」を選んで[決定]を押してください。

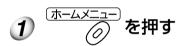
電話回線のテストが始まり、進行状況が表示されます。しばらくすると、テスト結果が表示されます。

「電話回線テストに成功しました」と表示されたとき

● 回線が正しく接続され、設定されています。

「電話回線テストに失敗しました」と表示されたとき

● 電話回線を使用できません。接続と設定を確認してください。

お知らせ
- 同じ電話回線に接続された電話機などを使っているときは、「テスト」ができません。
- 「テスト」には数分かかる場合があります。
- かんたん設定の電話回線テストは、「回線接続確認」になります。
- 終了するときは、[•元の画面]を押します。

自動更新の設定をする

本機には、衛星から送られてくるデータを取り込んで（ダウンロードして）自動的にプログラムを更新する機能があります。この自動更新によって、最新のサービスや追加機能に対応できるようになります。

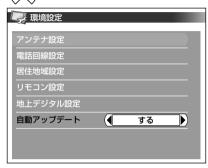
お知らせ

- スタンバイ状態（主電源が入った状態）で、本機は自動更新（データのダウンロード）をします。自動更新をするために、主電源ボタンで電源を切らないで、リモコンで電源を切ってください。（スタンバイランプが赤で点灯）
- お買い上げ時は「自動アップデート」が「する」になっています。「しない」に変更すると、本機の自動更新ができなくなります。特に理由がなければ、変更しないでください。
- ダウンロード中は、メディアレシーバーのファンが放熱のために回転しますが、故障ではありません。
- 悪天候のときなど、電波状態が悪いと自動更新が失敗することもあります。
- 「自動アップデート」を「しない」にすると、ダウンロードするデータがあるときに、お知らせメッセージが届きます。お知らせメッセージを読んで「する」に設定すると、自動更新が実行されます。
  （お知らせメッセージについては ☞82 ページ）

1 ホームメニュー を押す

2

初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 環境設定 を選んで 決定 を押す

5 自動アップデート で、する または しない を選ぶ

◀ ▶ で選びます。

お知らせ

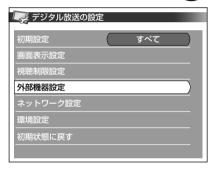
- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

デジタル音声の出力フォーマットを設定する

[デジタル放送音声出力]

AVアンプなどのオーディオ機器を接続したときに、デジタル音声出力（光）端子から出力されるデジタル放送の音声を設定します。

PCM※	PCM フォーマットで出力します。 • MPEG-2 AAC に対応していない機器を接続するときに設定します。
AAC	MPEG-2 AAC フォーマットで出力します。 • MPEG-2 AAC 対応の機器を接続するときに設定します。
自動	サラウンド放送の番組のみ、自動的に「AAC」に切り換わります。 • 接続した MPEG-2 AAC 対応のオーディオ機器が「PCM」と「AAC」に対し自動切換するときに設定します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 「AAC」に設定すると、字幕放送やデータ放送の効果音がデジタル音声出力（光）端子から出力されません。「PCM」に設定するか、音声出力（アナログ）端子をご使用ください。
- 地上アナログ放送や、ビデオ1～ビデオ4入力からの音声は、設定に関係なく「PCM」で出力されます。
- HDMI端子（ビデオ3入力）からのデジタル音声入力信号は、デジタル音声出力（光）端子から出力できません。
- MPEG-2 AAC対応のオーディオ機器を接続するときは、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 外部機器設定 を選んで 決定 を押す

5 デジタル放送音声出力 で、出力フォーマットを選ぶ

→ を押すたびに、次の順に切り換わります。（← で逆順）

PCM ⇒ AAC ⇒ 自動

お知らせ

- 終了するときは、•元の画面 を押します。

設定をリセットする

[初期状態に戻す]

ホームメニューで設定した内容や、お客様の個人情報（購入記録やお知らせメッセージ、データ放送関連の設定）をお買い上げ時の状態に戻します。次の2種類があります。

設定内容	ホームメニューの「デジタル放送の設定」で設定した内容など、以下の内容をお買い上げ時の状態に戻します。 • ホームメニューの「デジタル放送の設定」の設定内容 • お好みチャンネルの登録 • 番組予約情報 • メモリーカードのスライドの表示方法の設定
個人情報	本機で保存した以下の内容を消去します。 • 個人情報 • お知らせメッセージ • 購入記録 • データ放送関連情報 • 地上デジタル放送のチャンネル設定

ご注意

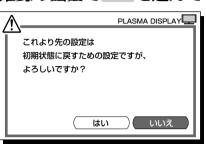
- 本機を譲渡または廃棄するなどの場合は、必ず、個人情報をリセットしてください。
- リセットをして初期状態に戻った設定内容は元に戻せません。

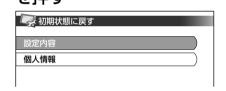
お知らせ

- 「設定内容」のリセットで、地上デジタル放送のチャンネルのスキャン結果はリセットされません。

1 ホームメニュー を押す

2 初期設定 を選んで 決定 を押す

3 デジタル放送の設定 を選んで 決定 を押す

4 初期状態に戻す を選んで 決定 を押す

5 確認の画面で はい を選んで 決定 を押す

暗証番号を設定しているときは

- 暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力してください。（暗証番号については ☞86 ページ）

6 設定内容 または 個人情報 を選んで 決定 を押す

設定内容のリセットについて

- 正常に受信できているときは、リセットしないでください。放送を受信できなくなることがあります。

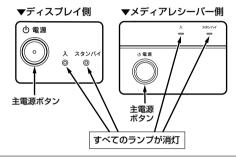
個人情報のリセットについて

- 本機を譲渡または廃棄するなどの場合以外は、リセットしないでください。

7 確認画面で はい を選んで 決定 を押す

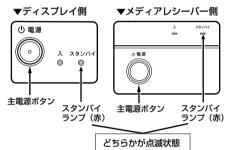
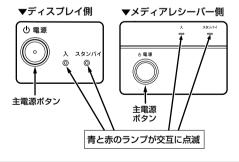
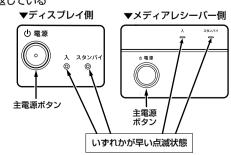
リセットが始まります。リセット中は、進行状況が表示されます。

お知らせ

- 終了するときは、 •元の画面 を押します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まずは以下の内容をチェックしてください。ちょっとした操作ミスや接続ミスを故障と思い込んでしまうことがあります。また、本機以外の原因も考えられます。お使いのアンテナや録画機器などもあわせてお調べください。
以下の項目に従ってもう一度点検しても直らないときは、ご購入店にお問い合わせください。連絡先がわからないときなどは、パイオニア修理受付センターにご連絡ください。

電源「入」ランプ/スタンバイランプについて

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● ディスプレイとメディアレシーバーのランプがすべて消灯している 	• ディスプレイとメディアレシーバーの電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞36 ページ
	• ディスプレイとメディアレシーバーの主電源は入っていますか。	主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞28 ページ
● ディスプレイまたはメディアレシーバーのスタンバイランプ（赤）が点滅している 	• ディスプレイまたはメディアレシーバーの電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞36 ページ
	• ディスプレイまたはメディアレシーバーの主電源は入っていますか。	主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞28 ページ
● ディスプレイやメディアレシーバーの電源「入」ランプ（青）とスタンバイランプ（赤）が、交互に点滅している 	• システムケーブルが抜けていませんか。 または抜けかかっていませんか。	ディスプレイとメディアレシーバーの主電源ボタンを押して主電源を切り、ディスプレイとメディアレシーバーのシステムケーブルのコネクターを確認してください。システムケーブルが抜けかかっていても正常に接続されているように見えることがあります。念のため、いったんディスプレイとメディアレシーバー両方のケーブルコネクターを外し、再度しっかりと接続してください。 ☞36 ページ
● ディスプレイまたはメディアレシーバーの電源「入」ランプ（青）、またはスタンバイランプ（赤）が早い点滅を繰り返している 	• 本機の保護回路が動作したと考えられます。	ディスプレイとメディアレシーバーの主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 ☞28 ページ それでも正常に動作しないときは、ご購入店にご相談ください。連絡先がわからないときなどは、パイオニア修理受付センターにご連絡ください。

全般

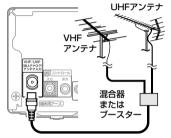
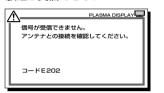
こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像や表示がおかしい ● 急にリモコンで操作できなくなった	―	本機は非常に高度なソフトウェアが組み込まれ動作しています。 何かおかしいと感じたときは、ディスプレイとメディアレシーバーの主電源ボタンで電源を切って、約 1 分以上お待ちになった後、もう一度電源を入れてください。☞28 ページ
● 電源が入らない	• ディスプレイとメディアレシーバーの電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • ディスプレイまたはメディアレシーバーのスタンバイランプ（赤）が点滅していませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞36 ページ
	• ディスプレイとメディアレシーバーの主電源は入っていますか。主電源が入っているときは、ディスプレイとメディアレシーバーの電源「入」ランプが青色で点灯します。	主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞28 ページ
● 映像が出ない ● 画面に青色と赤色の長方形が交互に表示される ● ディスプレイやメディアレシーバーの電源「入」ランプ（青）とスタンバイランプ（赤）が交互に点滅する。	• システムケーブルが抜けていませんか。 または抜けかかっていませんか。	ディスプレイとメディアレシーバーの主電源ボタンを押して主電源を切り、ディスプレイとメディアレシーバーのシステムケーブルのコネクターを確認してください。 システムケーブルが抜けかかっていても、正常に接続されているように見えることがあります。念のため、いったんディスプレイとメディアレシーバー両方のケーブルコネクターを外し、再度しっかりと接続してください。☞36 ページ
● 突然電源が切れた ● 映像も音声も出ない 	• ディスプレイまたはメディアレシーバーの電源「入」ランプ（青）、またはスタンバイランプ（赤）が早い点滅を繰り返していませんか。☞28 ページ	本機の保護回路が動作したと考えられます。ディスプレイとメディアレシーバーの主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、主電源を入れてください。☞28 ページ それでも正常に動作しないときは、ご購入店にご連絡ください。連絡先がわからないときなどは、パイオニア修理受付センターにご連絡ください。
● 映像も音声も出ない 	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞36 ページ
	• 電源が「切」の状態になっていませんか。	主電源ボタンを押して、電源を入れてください。☞28 ページ
	• テレビ放送（地上アナログ・地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル）を視聴したいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	放送切換ボタンで、希望の放送に切り換えてください。または、接続した機器の電源を入れて再生してください。☞29、58 ページ
● リモコンで操作できない ● 電源が入らない	• リモコンをディスプレイのリモコン受光部に向けていますか。リモコン受光部の前に障害物があったり、蛍光灯などの強い照明が当っていませんか。	リモコンはディスプレイ右下のリモコン受光部に向けてお使いください。☞23、28 ページ
	• 電池の極性（＋極／－極）が逆になっていませんか。	リモコンの乾電池を正しく入れてください。☞23 ページ
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池を正しく入れてください。☞23 ページ
	• ビデオコントローラーがコントロール（入力／出力）端子に接続されていませんか。	ビデオコントローラーはビデオコントローラー端子に接続してください。☞94 ページ
● 音が左右逆になる ● 片方しか音が出ない	• スピーカーケーブルが左右逆に接続されたり、片方が抜けたりしていませんか。	スピーカーケーブルを正しく接続してください。☞35 ページ
	•「バランス」が正しく調整されていますか。	左右の音量バランスを調整してください。☞72 ページ

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像は出るが音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	＋音量 を押して音量を調整してください。 ☞26 ページ
	• 消音状態になっていませんか。	消音 を押して、消音を解除してください。 ☞26 ページ
	• ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続したままになっていませんか。	ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音は出ません。☞18 ページ
	• ビデオ 1 〜 4 入力や PC 入力をお使いになるとき、音声端子も接続されていることを確認してください。	ビデオ 1 〜 4 入力や PC 入力の音声端子も接続してください。☞58、94、97、102 ページ
● 音声は出るが映像が出ない	• 消費電力の設定で「消画」が設定されていませんか？「消画」を選択すると、音声のみ再生されます。（映像は表示されません。）	消画状態からもう一度画面を表示させるには、以外のボタンを押します。 ☞61 ページ
● 色がうすい ● 色あいが悪い	• 色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか。	画質の調整を確認して、お好みの画質に調整してください。☞69 ページ
● 長時間（3 時間以上）視聴していると、電源が切れてしまう	• 省エネの設定で無操作オフが「する」に設定されていませんか。	無操作オフが「する」の設定では、約 3 時間操作しないと、自動的に電源が切れます。 ☞61 ページ
● 電源スタンバイ状態でもファンが回っている	• 電源スタンバイ状態にしてもファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、数秒かかります。	本機の故障・不具合ではありません。
	• 電源スタンバイ状態にしても、次のような場合（デジタルチューナー部が動作中）にファンは回りますが、故障ではありません。 （1）WOWOW や 110 度 CS デジタル放送の無料視聴キャンペーンに加入した。 （2）デジタル放送の録画予約（i.LINK 接続・ビデオコントローラー接続）を実行している。☞63、90 ページ （3）ダウンロードサービスにてデータをダウンロードしている。☞136 ページ	
● ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	
● ディスプレイから音がする	• ご使用中にディスプレイから駆動音が聞こえる場合があります。	

地上アナログ放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像が二重三重になる（ゴースト） 	• 近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。	VHF/UHF（地上アナログ）アンテナの向きや高さを変えてみてください。
	• VHF/UHF（地上アナログ）アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	アンテナ線が切れていないか、向きが変わったりこわれたりしていないか確認してください。また、アンテナの接続が正しいかどうかも確認してください。☞38、40 ページ
	• 個別チャンネル設定（アナログ放送の設定）で GR が「しない」に設定されていませんか。	個別チャンネル設定の GR を「する」に設定してください。☞116 ページ

地上アナログ放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像が出ないで雑音のみ出る 	• アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。	アンテナの接続を確認してください。 ☞38、40ページ
	• アンテナ線は正しく接続されていますか。	
● 色じま模様が出る ● 画像にはん点が出る	• 近所のテレビや、自動車、電車、ネオンなどからの雑音・妨害の電波を受けていませんか。	アンテナの向きや高さを調整すると、妨害がある程度少なくなることがあります。できれば、アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に設置してください。
● 雪が降っているような画面になる 	• VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ線は正しく接続されていますか。	アンテナの接続を確認してください。 ☞38、40ページ
	• 混合器またはブースターが故障していませんか。	混合器またはブースターを確認して故障しているときは交換してください。 ▲メディアレシーバー背面
	• 屋外VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ線が切れたり、外れたり、接触不良になったりしていませんか。 • VHF/UHF（地上アナログ）アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	アンテナ線が切れていないか、向きが変わったりこわれたりしていないか確認してください。また、アンテナの接続が正しいかどうかも確認してください。☞38、40ページ
● リモコンのチャンネルボタン ① 〜 ⑫ で希望のチャンネルが選局できない	• 選局が地上アナログ放送以外になっていませんか。	放送切換ボタンの [アナログ] を押して、アナログ放送に切り換えてください。☞29ページ
	• 地上アナログ放送のリモコンの ① 〜 ⑫ に希望の地上アナログチャンネルが設定されていますか。	チャンネル設定を確認してください。正しく設定されていないときは、チャンネルを設定し直してください。☞114、115ページ
● リモコンの［チャンネル（＋／ー）］ボタンで希望の地上アナログチャンネルが選局できない	• リモコン番号「1」〜「48」に希望の地上アナログチャンネルが設定されていますか。	チャンネル設定を確認してください。正しく設定されていないときは、チャンネルを設定し直してください。☞114、115ページ
	• 個別チャンネル設定で表示CHが「スキップ」に設定されていませんか。	個別チャンネル設定の表示CHで「スキップ」以外の設定にしてください。☞116ページ
● 特定チャンネル（地上アナログ放送）だけ映らない	• 個別チャンネル設定（アナログ放送の設定）の「手動微調整」がずれていませんか。	個別チャンネル設定の「手動微調整」で調整してください。☞116ページ
● 番組表が表示されない ● 番組表に表示されない番組がある	• 地上アナログ放送の番組表の受信のための情報が正しく設定されていないと、番組表が表示されません。	地上アナログ放送の番組表の設定をしてください。☞117〜120ページ
	• 番組表の取得に時間がかかることがあります。	半日以上待ってから、再度番組表を表示してください。
● 番組表の時刻が正しく表示されない	• 時計は合わせましたか。	時計を合わせてください。☞121ページ
	• ジャストクロック機能が設定されているか確認してください。 • ジャストクロック機能は時報に合わせて本機の時刻を補正します。 • 本機の時刻と時報が3分以上ずれているときには機能が働きません。	ジャストクロック機能を設定してください。 ☞121ページ

BS・110度CSデジタル放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像も音声も出ない	• 映像、音声のない放送ではありませんか。	チャンネルを切り換えてみてください。
	• 春分や秋分の前後 20 日ごろの深夜ではありませんか。	春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。本機の故障・不具合ではありません。
● 放送が受信できない	• 衛星アンテナ設定（デジタル放送の設定）でアンテナ電源が「切」になっていませんか。	衛星アンテナ設定でアンテナ電源を「入」に設定してください。☞132 ページ
	• BS·110 度 CS デジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていませんか。	BS·110 度 CS デジタル放送受信用のアンテナケーブルをメディアレシーバーに確実に接続してください。☞39、40 ページ
● 受信状態が悪い ● 音声が途切れる ● 特定のチャンネルだけ映らない ● 画面にブロック状のノイズが出る	• アンテナレベルを確認してください。 • BS・110 度 CS デジタル放送受信用アンテナの向きがずれていませんか。	アンテナレベルを確認して、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるように、アンテナを調整してください。☞132 ページ
	• BS・110 度 CS デジタル放送受信用アンテナの前方に障害物はありませんか。	障害物がある場合は、受信状態が悪くなりますので、障害物のない場所にアンテナを移動して設置してください。
	• アンテナは BS・110 度 CS デジタル放送対応のものを使用していますか。	BS・110 度 CS デジタル放送対応のアンテナに交換してください。
	• 契約していない有料放送や有料番組（ペイ・パー・ビュー）ではありませんか。	有料放送を視聴するには、放送局との契約が必要です。☞57 ページ
	• BS·110 度 CS デジタル放送受信用アンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	BS・110 度 CS デジタル放送対応のケーブルに交換してください。
	• 雪や雨で、天候が悪くありませんか。	衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。天候が回復すると、症状は発生しなくなります。
	• デジタル放送ではデータを圧縮処理（エンコード）をしますが、動きの早い映像などで、この処理が正しくできないときに、この症状が発生します。	本機の故障・不具合ではありません。
● 有料放送が視聴できない	• 有料放送を視聴するための契約はしていますか。	有料放送を視聴するには、放送局との契約が必要です。☞57 ページ
	• 電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	電話回線を接続して設定してください。☞41、134 ページ
● 110 度 CS デジタル放送が受信できない	• アンテナやブースター、分配器等が 110 度 CS デジタル放送対応でないものを使用していませんか。	アンテナやブースターや分配器は、110 度 CS デジタル放送対応のものに交換してください。
	• 選局が 110 度 CS デジタル放送以外を選局していませんか。	放送切換ボタンの CS1/2 を押して、110 度 CS デジタル放送に切り換えてください。☞29 ページ
● 番組表が表示されない ● 番組表に表示されない番組がある	• お買い上げ直後や、主電源を切って 1 週間以上経過したあとに、番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。	しばらくお待ちください。
● 番組の予約をしても受信できない場合がある	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	有料放送を視聴するには、放送局との契約が必要です。☞57 ページ また、視聴年齢の制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと予約できません。☞86、89 ページ

地上デジタル放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 放送が受信できない 	• お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。	お住まいの地域の地上デジタル放送エリアについては、ご購入店にご相談ください。地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力電波で開始されます。そのため放送エリアが限られます。また、受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
● チャンネル設定の「初期スキャン」や「再スキャン」で放送局のチャンネルを設定できない	• 地上デジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていませんか。	地上デジタル放送受信用のアンテナケーブルをメディアレシーバーに確実に接続してください。☞38、40ページ
	• 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをお使いですか。	地上デジタル放送対応のアンテナに交換してください。
	• アンテナは地上デジタル放送の送信所に向いていますか。	アンテナを地上デジタル放送の送信所に向けてください。地上アナログ放送の送信所と方向が異なる地域があります。アンテナレベルを確認して、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。☞131ページ
● 映像や音声が出ない、または時々出なくなる ● 映像が静止、または時々静止する ● 受信状態が悪い ● 音声が途切れる ● 画面にブロック状のノイズが出る 	• 風や振動によってアンテナの向きが変わっていませんか。またはアンテナケーブルに劣化などはありませんか。	アンテナを地上デジタル放送の送信所に向けてください。アンテナレベルを確認して、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。☞131ページ アンテナケーブルが切れていないか、こわれたりしていないか確認してください。
	• 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをお使いですか。	地上デジタル放送対応のアンテナに交換してください。
● 地上デジタルの双方向型データ放送が見られない	• ADSLなどのブロードバンド環境のLANに接続して設定をしていますか。	LANに接続してください。ADSLなどのブロードバンド環境が必要です。☞110ページ
	• 天災やシステム障害などにより、表示できないことがあります。あらかじめご了承ください。	本機の故障・不具合ではありません。
	• ADSLモデムは正常に動作していますか。ADSLモデムの表示ランプ（ADSL、リンク、Link、LINE、PPPなど）の状態を調べて、ADSL回線につながっているか確認してください。（表示ランプの名称などはADSLモデムによって異なります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。）	ADSLモデムやブロードバンドルーターの電源を入れ直してください。 それでも、つながらないときは、プロバイダーや回線業者にご相談ください。（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください。）
	• ファクシミリ、ホームテレホン、ビジネスホン、電話線付きのガスメーターなどをお使いですか。	プロバイダーや回線業者にご相談ください。（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください。）
	• ADSLモデムのPPPoAの設定やブロードバンドルーターのPPPoEの設定を確認してください。	お使いの機器の取扱説明書をご覧になり、正しく設定してください。 それでも、つながらないときは、プロバイダーや回線業者にご相談ください。（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください。）
	• ID、パスワード、DNSの設定などを確認してください。	
● 地上デジタル放送の放送局のマークが表示されない	• 放送局のマークを表示するまでには時間がかかることがあります。	地上デジタル放送をしばらく視聴すると、マークが表示されます。

デジタル放送共通

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● デジタル放送が映らない	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか。2004 年４月からデジタル放送の著作権保護のため、コピー制御の仕組みが導入されています。B-CAS カードを常時挿入していないとデジタル放送が視聴できません。	B-CAS カードを挿入してください。☞27 ページ
● 映像も音声も出ない	• ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	放送切換ボタン（[デジタル] [BS] [CS1/2]）で、希望の放送に切り換えてください。☞29 ページ
	• 強い外来ノイズ（静電気、または落雷などによる電源電圧の異常など）を受けたときなどに、このような状態になることがあります。	メディアレシーバーの主電源ボタンを押して電源を切り、１分以上たってからもう一度電源を入れてください。☞28 ページ
● 電話機に雑音が入る ● 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	• 付属のモジュラー分配器をお使いになると、一部の電話機やファクシミリで、この現象が起こることがあります。	別売の自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で改善されることがあります。詳しくはお使いの電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。
● 電話回線につながらない	• NTT 以外の電話回線や IP 電話をお使いではありませんか？	NTT の電話回線に切り換えると、つながる場合があります。切り換え方法は電話回線業者にお問い合わせください。
● 字幕や文字スーパーが出ない	• メニュー画面などが表示されていませんか。	[・元の画面] を押して、メニュー画面や操作説明画面などを消してください。
	• 画面表示設定の字幕設定や文字スーパー設定が「表示しない」に設定されていませんか。	字幕設定や文字スーパー設定を「表示しない」以外に設定してください。☞79 ページ
	• 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	字幕や文字スーパーのある番組を選んでください。
● 字幕や文字スーパーなどの一部が欠ける 	• ハイビジョン映像の画面サイズが「ワイド」に設定されていませんか。	[画面サイズ] を押して、画面サイズを「フル 1」または「フル 2」に切り換えてください。☞59 ページ
● ダウンロードを行ったら、受信できない	• ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻ることがあります。	かんたん設定などで、設定をやり直してください。☞43 ～ 46 ページ

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● i.LINK 接続が認識されない	• i.LINK 機器の電源は入っていますか。	i.LINK 機器の電源を入れてください。
	• i.LINK ケーブルが抜けていませんか。	i.LINK 機器と本機が i.LINK ケーブルで接続されていることを確認してください。
	• i.LINK 機器は、当社製 DVD レコーダーですか。	• 他社製 i.LINK 機器（D-VHS ビデオデッキなど）では、本機の i.LINK 操作パネルで操作できなかったり、録画や再生できないときがあります。 • 本機と接続動作が確認されている当社製 i.LINK 機器： DVD レコーダー　DVR-920H，DVR-720H（2004 年発売） • HDV/DV 方式のデジタルビデオカメラ、パソコン（PC）、パソコン周辺機器などは、扱う信号の仕様が異なるため接続できません。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 録画予約が開始されない	• メディアレシーバーの主電源ボタンを押して電源を切っていませんか？	メディアレシーバーの主電源が入っていないときは、録画予約は開始されません。電源を切るときはリモコンの電源ボタンを押してスタンバイ（待機状態）にしてください。☞28、63ページ
● ビデオコントローラーでの録画予約ができない	• ビデオコントローラーは正しく接続されて、設定されていますか。	ビデオコントローラーの接続を確認して、ホームメニューで設定後、動作テストをしてください。☞94～96ページ
	• 録画機器側で、入力を切り換えるなどの準備をしましたか。	録画機器側で、録画の準備をしてください。☞90ページ
	• データ放送の番組ではありませんか。	データ放送は録画できません。
● 視聴予約が開始されない	• テレビの電源は入っていますか。	本機がスタンバイ状態の場合は、視聴の予約は開始されません。☞28、50ページ
● 画面に光らない点がある ● 画面に常時点灯している点がある	• プラズマテレビは、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られており、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。	本機の故障・不具合ではありません。
● プラズマテレビの電源を入れるとＡＭラジオにノイズが出る	• 本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。ＡＭラジオやパソコン、ビデオなどの機器を近づけると妨害を与えることがあります。	妨害を受ける機器を影響のないところまで本機から離してください。ポータブルＡＭラジオなどは、ラジオの向きを変えることによって、妨害が少なくなることがあります。
● メディアレシーバーからファンの音がする	• メディアレシーバーには内部を冷却するファンモーターがあり、周囲温度が高くなるとファンモーターの回転数があがります。そのため、ファンモーターの音が大きく感じられるときがあります。	本機の故障・不具合ではありません。
● ディスプレイパネルが熱い	• 本機を長時間使用すると、ディスプレイパネルの一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じるときもあります。	
● 前の画像が残像のように見える	• 静止画像や明るい画像を一定時間表示した後、暗めの画像を表示すると、静止画や明るい画像が残像のように見えるときがあります。	明るめの動画を数分表示することで解消できます。更に長時間の静止画表示は修復不可能な焼き付きに至る可能性がありますのでご注意ください。
● 画面の左右と中央（4：3 画像の両端と中央）の明るさや色調がちがう	• 画面サイズ 4：3 や上下に黒帯が表示されるレターボックス映像を長時間表示し続けたり、短時間でも日常的に繰り返し表示すると、プラズマテレビの特性上、蛍光素材の焼き付きや残像が発生することがあります。	画面の焼き付きを避けるため、できるだけワイド画面サイズでお楽しみいただくことをお勧めします。☞59ページ 4：3 画像でご覧になるときは、サイドマスクの明るさを「明るさ自動」設定でお楽しみいただくことをおすすめします。 ☞75ページ
● HDMI 機器の映像も音声も出ない	• HDMI 入力の設定を確認してください。	設定を「使用する」に変更してください。☞98ページ
● HDMI 機器の映像は出るが音声が出ない	• 接続した HDMI 機器の音声がリニア PCM になっていますか。	接続した HDMI 機器の音声をリニア PCM に設定してください。☞98ページ
	• HDMI 入力の「音声」が正しく設定されていますか。	HDMI 入力の「音声」を確認してください。☞98ページ
	• HDMI ケーブルのみで接続されていますか？	HDMI ケーブルによる接続がうまく動作しない場合は、オーディオケーブルで接続してください。☞98ページ
● HDMI 機器の音声は出るが映像が出ない	• HDMI ケーブルが抜けていませんか。または、抜けかかっていませんか。	HDMI ケーブルを確実に接続してください。☞98ページ
	• 対応外の信号が入力されていませんか。	接続した HDMI 機器の設定を対応信号に変更してください。☞98ページ

メッセージ表示一覧

本機では、状況に応じて、さまざまなメッセージが表示されます。主なメッセージと、対処方法は、次のとおりです。（メッセージは50音順に並んでいます。）
当社にお問い合わせになるときは、メッセージの内容とコード番号をご確認のうえご連絡ください。

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
B-CAS カードが正しく入っていません。カードを正しく入れてください。	E100	B-CAS カードの挿入方向が間違っているか、使用できないカードが挿入されています。B-CAS カードを正しく挿入してください。☞27 ページ	B-CAS カード関連
DNS サーバから応答がありません。DNS の設定を確認してください。	BB-ACS-04-003	DNS サーバーからの応答がなかったため、接続できませんでした。DNS サーバーの設定を確認してください。☞111 ページ	ネットワーク関連
	BB-ACS-04-004	指定したアドレスが見つかりませんでした。IP アドレスの設定を確認してください。☞111 ページ	
DNS サーバが指定されていません。DNS の設定を確認してください。	BB-ACS-04-002	DNS サーバーが設定されていません。DNS サーバーを設定してください。☞111 ページ	
DNS サーバに接続できません。	BB-ACS-04-001	DNS サーバーの IP アドレスが正しくないため、DNS サーバーに接続できませんでした。DNS サーバーの設定を確認してください。☞111 ページ	
暗証番号入力 PPV 購入制限が設定されています。 暗証番号を入力してください。		PPV 購入制限が設定されています。視聴するには、暗証番号を入力してください。☞89 ページ	視聴制限関連
暗証番号入力 年齢制限が設定されています。 暗証番号を入力してください。		視聴年齢制限が設定されています。視聴するには、暗証番号を入力してください。☞89 ページ	
アンテナとの接続を確認してください。	E209	衛星デジタル放送用アンテナケーブルが傷んだりショート（短絡）している可能性があります。 アンテナケーブルとアンテナ電源の設定を確認してください。☞39、132 ページ	受信状態
映像のない番組です。		映像のないラジオ放送を受信しています。	ラジオ・データ放送関連
気象条件などにより、受信レベルが低下しています。	E201	雨や雪の影響によって、一時的に衛星からの電波が弱くなっています。降雨対応放送に切り換えると引き続き放送が受信できるようになります。降雨対応放送では画質、音質が少し悪くなったり番組表示ができない場合があります。	受信状態
気象条件などにより、受信レベルが低下しています。 降雨対応放送に切り換えますか？		雨や雪など天候の影響により衛星からの電波が弱くなっています。降雨対応放送に切り換えると引き続き放送が受信できるようになりますが、画質や音質が落ちたり番組内容が表示されない場合があります。	
緊急警報放送が検知されました。 対応するチャンネルに切り換えますか？		緊急警報放送が始まっています。必ず確認してください。	案内・通知
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E205	契約期限が過ぎているチャンネルを選局しています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して再契約してください。	有料放送関連
現在、このチャンネルは放送を休止しています。 他のチャンネルを選局してください。	E203	放送が休止されているチャンネルを選んでいます。チャンネル番号を確認して別のチャンネルを選んでください。	選局時

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
現在、再生または録画できません。 他のi.LINK機器の使用状況を確認してください。		本機で操作しようとしているi.LINK機器が、すでに他の機器で操作されています。本機で操作したいi.LINK機器の接続と設定を確認してください。	i.LINK関連
現在、録画できません。 i.LINK機器の状態を確認してください。 再生中の場合は、一度停止してから録画してください。		i.LINK機器の接続や設定が正しくありません。i.LINK機器の接続と設定を確認してください。☞**92、93ページ**	
ご案内チャンネルに切り換えますか？ 切り換えない場合、他のＣＨを選局してください。		契約していない有料チャンネルを選局したときに表示されます。(決定)を押すとそのチャンネルを運用している事業者の有料放送契約紹介画面を表示します。	案内・通知
購入履歴がいっぱいのため、ＰＰＶ番組を購入できません。 電話回線の接続と設定を確認して、購入履歴を送信してください。		購入履歴が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えています。電話回線の接続を確認して購入履歴を送信してください。 ☞**41、84、134ページ**	有料放送関連
このタイトルは再生できません。 何も録画されていないか、あるいはデータが破損している可能性があります。		i.LINK端子に入力されている信号が再生できませんでした。	i.LINK関連
このチャンネルはありません。 他のチャンネルを選局してください。	E204	受信できないチャンネルを選んでいます。チャンネル番号を確認して別のチャンネルを選んでください。	選局時
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E103	契約していないチャンネルです。契約状況を確認して、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	有料放送関連
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E205	契約されていないチャンネルを選局しています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して契約してください。	
このチャンネルは視聴条件によりご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E205	視聴制限付きの契約をしたチャンネルです。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して契約内容を変更してください。	視聴制限関連
このチャンネルは放送されていません。 他のチャンネルを選局してください。	E200	放送されていない番組を選んでいます。別のチャンネルに切り換えてください。	選局時
この番組は引き続き、○○○×××−×CHでご覧ください。		視聴中のデジタル放送番組が延長されて別のチャンネルで放送されるときに表示します。引き続き視聴するときはチャンネルを切り換えてください。	案内・通知
サーバからの応答がありません。	BB-ACS-04-012 BB-ACS-04-013	接続がタイムアウト（時間切れ）になりました。しばらく待って、再度実行してください。	ネットワーク関連
信号が受信できません。 アンテナとの接続を確認してください。	E202	アンテナの設置や設定が正しくないか、雨や雪などの天候の影響により一時的にアンテナレベルが低下しています。	受信状態
接続しているi.LINK機器から情報が取得できません。 i.LINK機器との接続を確認してください。		ループ接続されているなどi.LINK機器が正しく接続されていません。i.LINK機器の接続を確認してください。☞**92ページ**	i.LINK関連

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
通信中にエラーが発生しました。	BB-ACS-04-005 ～ BB-ACS-04-011	接続中にエラーが発生しました。しばらく待って、再度実行してください。	ネットワーク関連
データ放送による選局に失敗しました。		受信中のデータ放送から別の放送に選局したときにエラーが発生しました。別のチャンネルを選んでください。	ラジオ・データ放送関連
データを受信できません。	E400	データ放送が正しく受信できませんでした。別のチャンネルを選んでください。	
データを表示できません。	E402	データ放送が正しく受信できませんでした。ご覧になっているチャンネルとは別のチャンネルに切り換えたあと、左記のエラー表示がされたチャンネルに切り換えてください。それでもこのメッセージが表示されるときはメディアレシーバーの主電源ボタンを入れ直してください。	
電話回線テストに失敗しました。 電話回線の接続と設定を確認してください。		電話回線の接続と設定が正しくありません。 電話回線の接続と設定を確認してください。 **☞41、134ページ**	電話回線関連
内部温度上昇のため、電源をオフします。 PDP周辺の温度を確認してください。	SD04	ディスプレイ周辺、またはメディアレシーバー周辺の温度が高くなっていませんか？ 周辺の温度などを確認してください。 次に、ディスプレイとメディアレシーバーの電源ボタンを押して主電源を切り、1分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 **☞28ページ**	保護回路エラー通知
内部温度上昇のため、電源をオフします。 メディアレシーバー周辺の温度を確認してください。	SD11		
内部保護回路動作により、電源をオフします。 スピーカーケーブルはショートしていませんか。	SD05	スピーカーケーブルの接続（ディスプレイ部・スピーカー部）をご確認ください。**☞35ページ** 次に、ディスプレイとメディアレシーバーの電源ボタンを押して主電源を切り、1分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 **☞28ページ**	
認証できません。	BB-ACS-13-007	認証に失敗しました。しばらく待って、再度実行してください。	ネットワーク関連
番組表が表示できません。 設定時刻が正しいことを確認し、リモコンで電源を「切」にして次のGガイド配信時刻までお待ちください。		地上アナログ放送の番組情報が取得できていません。番組表の受信条件を確認して番組情報を取得してください。**☞117～120ページ**	案内・通知
番組の購入受付時間を過ぎているので、購入できません。	E206	番組の購入受け付け期間を過ぎています。他の番組を選んでください。	有料放送関連
本機ではこのチャンネルを受信できません。 他のチャンネルを選局してください。	E210	本機が対応していないサービスのあるチャンネルを選びました。別のチャンネルを選んでください。	選局時
本機では対応していないデータ放送です。	E401	データ放送が正しく受信できませんでした。別のチャンネルを選んでください。	ラジオ・データ放送関連

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から1 年間です。
ただし、プラズマディスプレイのガラスパネル部分のみは2 年間です。

ご注意

- 画素欠けについては故障･不良ではありませんので、保証の対象外です。
- お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」(☞**9ページ**)をよくお読みの上、正しくご使用になることをおすすめいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理についてのご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

139 ～ 149 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
  「付近の目印もあわせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　　デジタルハイビジョンプラズマテレビ
- 型番　　PDP-506HD/PDP-436HD
- お買い求め日
- 故障または異常の内容
  「できるだけ具体的に」
  「画面に表示されたコードやメッセージ」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。テレビの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のプラズマテレビの点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電源が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（上記）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表

● 地上アナログ放送地域コード別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。（2005年6月現在）
● 　　は、番組表情報の取得チャンネル（ホスト局）です。
● ※印の放送局は、設定された地域では番組表に表示されません。

都道府県	地域名	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	001	1 北海道放送		3 NHK 総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ			27 北海道文化放送		35 北海道テレビ		12 NHK 教育
	小樽	002		2 NHK 教育		4 北海道テレビ		24 テレビ北海道	7 札幌テレビ	26 北海道文化放送	9 北海道放送		11 NHK 総合	
	旭川	003		2 NHK 教育		33 テレビ北海道			7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	名寄	004				4 NHK 総合		6 札幌テレビ	24 北海道テレビ	26 北海道文化放送		10 北海道放送		12 NHK 教育
	稚内	005		30 NHK 教育		24 北海道テレビ			22 札幌テレビ	26 北海道文化放送	28 NHK 総合	10 北海道放送		
	室蘭	006		2 NHK 教育				29 テレビ北海道	7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	苫小牧	007		49 NHK 教育				47 テレビ北海道	57 札幌テレビ	53 北海道文化放送	51 NHK 総合	61 北海道テレビ	55 北海道放送	
	函館	008				4 NHK 総合	21 テレビ北海道	6 北海道放送	35 北海道テレビ	27 北海道文化放送		10 NHK 教育		12 札幌テレビ
	帯広	009				4 NHK 総合		6 北海道放送	34 北海道テレビ	32 北海道文化放送		10 札幌テレビ		12 NHK 教育
	釧路	010		2 NHK 教育				39 北海道テレビ	7 札幌テレビ	41 北海道文化放送	9 NHK 総合		11 北海道放送	
	網走	011	1 北海道放送		3 NHK 総合		5 札幌テレビ		35 北海道テレビ	27 北海道文化放送				12 NHK 教育
	北見	012		2 NHK 教育				61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	59 北海道文化放送	9 NHK 総合		53 北海道放送	
青森	青森	013	1 青森放送		3 NHK 総合	34 青森朝日放送	5 NHK 教育			27 ※ 北海道文化放送			35 ※ 北海道テレビ	38 青森テレビ
	八戸	014		2 ※ 岩手放送	37 ※ テレビ岩手	31 青森朝日放送	12 ※ 札幌テレビ		7 NHK 教育	27 ※ 北海道文化放送	9 NHK 総合	29 ※ めんこいテレビ	11 青森放送	33 青森テレビ
	むつ	015				4 NHK 総合		56 青森朝日放送				10 青森放送	58 青森テレビ	12 NHK 教育
岩手	盛岡	016	1 ※ 東北放送	33 めんこいテレビ	35 テレビ岩手	4 NHK 総合		6 岩手放送	32 ※ 東日本放送	8 NHK 教育	34 ※ ミヤギテレビ	38 ※ 青森テレビ	31 岩手朝日テレビ	12 ※ 仙台放送
	釜石	017		2 NHK 総合	58 テレビ岩手						60 めんこいテレビ	10 岩手放送	62 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
	二戸	018		2 岩手放送	37 テレビ岩手		5 NHK 総合				29 めんこいテレビ		61 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
宮城	仙台	019	1 東北放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 東日本放送		34 ミヤギテレビ			12 仙台放送
	石巻	020	59 東北放送		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 東日本放送		55 ミヤギテレビ			57 仙台放送
	気仙沼	021		2 NHK 総合		4 東北放送		6 仙台放送	43 東日本放送		37 ミヤギテレビ	10 NHK 教育		
秋田	秋田	022		2 NHK 教育			31 秋田朝日放送				9 NHK 総合		11 秋田放送	37 秋田テレビ
	大館	023	1 ※ 青森放送			4 NHK 総合	59 秋田朝日放送	6 秋田放送		8 NHK 教育				57 秋田テレビ
	大曲	024		43 NHK 教育			41 秋田朝日放送				45 NHK 総合		47 秋田放送	51 秋田テレビ
山形	山形	025				4 NHK 教育		36 テレビユー山形		8 NHK 総合		10 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 山形テレビ
	鶴岡	026	1 山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビユー山形			24 さくらんぼテレビ	39 山形テレビ
	米沢	027				50 NHK 教育		56 テレビユー山形		52 NHK 総合		54 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 山形テレビ
福島	福島	028	1 ※ 東北放送	2 NHK 教育		31 テレビユー福島		33 福島中央テレビ	32 ※ 東日本放送	34 ※ ミヤギテレビ	9 NHK 総合	35 福島放送	11 福島テレビ	12 ※ 仙台放送
	いわき	029	1 ※ 東北放送	32 テレビユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央テレビ	61 ※ 東日本放送	8 福島テレビ		10 NHK 教育	12 ※ 仙台放送	36 福島放送
	会津若松	030	1 NHK 総合		3 NHK 教育	47 テレビユー福島		6 福島テレビ	32 ※ 東日本放送	37 福島中央テレビ	34 ※ ミヤギテレビ	41 福島放送		12 ※ 仙台放送
茨城	水戸	031	44 NHK 総合		46 NHK 教育	42 日本テレビ	16 ※ 放送大学	40 TBS テレビ		38 フジテレビ	39 千葉テレビ	36 テレビ朝日		32 テレビ東京
	日立	032	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ		58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ	16 ※ 放送大学	55 TBS テレビ		57 フジテレビ	31 とちぎテレビ	41 テレビ朝日	48 ※ 群馬テレビ	44 テレビ東京
	矢板	034	40 NHK 総合		30 NHK 教育	36 日本テレビ		42 TBS テレビ		45 フジテレビ	33 とちぎテレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
群馬	前橋	035	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ	48 群馬テレビ	56 TBS テレビ	40 ※ 放送大学	58 フジテレビ	38 テレビ埼玉	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	桐生	036	51 NHK 総合		57 NHK 教育	53 日本テレビ	41 群馬テレビ	55 TBS テレビ	40 ※ 放送大学	35 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 ※ 放送大学	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	46 ※ 千葉テレビ	10 テレビ朝日	48 ※ 群馬テレビ	12 テレビ東京
	熊谷	038	51 NHK 総合		35 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ	30 テレビ埼玉	57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
	秩父	039	14 NHK 総合		49 NHK 教育	16 日本テレビ		18 TBS テレビ	47 テレビ埼玉	29 フジテレビ		38 テレビ朝日		44 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 ※ 放送大学	6 TBS テレビ	42 tvk テレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 ※ テレビ埼玉	12 テレビ東京
	銚子	041	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ	39 千葉テレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京

地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表

都道府県	地域名	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
東京	東京	042	1 NHK総合	14 MXテレビ	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 ※ 放送大学	6 TBSテレビ	42 tvkテレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	八王子	043	33 NHK総合	40 MXテレビ	29 NHK教育	35 日本テレビ		37 TBSテレビ		31 フジテレビ		45 テレビ朝日		62 テレビ東京
	多摩市	044	49 NHK総合	61 MXテレビ	47 NHK教育	51 日本テレビ		53 TBSテレビ		55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
神奈川	横浜１	045	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ		56 TBSテレビ	48 tvkテレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	横浜２	046	1 NHK総合	14 MXテレビ	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 ※ 放送大学	6 TBSテレビ	42 tvkテレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	平塚	047	33 NHK総合		29 NHK教育	35 日本テレビ		37 TBSテレビ	31 tvkテレビ	39 フジテレビ		41 テレビ朝日		43 テレビ東京
	秦野	048	47 NHK総合		49 NHK教育	51 日本テレビ		53 TBSテレビ	61 tvkテレビ	55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
	小田原	049	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ		56 TBSテレビ	46 tvkテレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 NHK総合		3 NHK教育	4 ※ 日本テレビ	5 山梨放送	37 テレビ山梨	6 ※ TBSテレビ	8 ※ フジテレビ		10 ※ テレビ朝日		12 ※ テレビ東京
長野	長野１	051		44 NHK総合		50 長野朝日放送		40 テレビ信州			46 NHK教育	42 長野放送	48 信越放送	
	長野２	052		2 NHK総合		20 長野朝日放送		30 テレビ信州			9 NHK教育	38 長野放送	11 信越放送	
	松本	053		44 NHK総合		50 長野朝日放送		48 テレビ信州			46 NHK教育	42 長野放送	40 信越放送	
	飯田	054	44 長野朝日放送		3 NHK教育	4 NHK総合		6 信越放送		42 テレビ信州		40 長野放送		
	岡谷・諏訪	055	61 長野朝日放送			4 NHK総合		6 信越放送		8 NHK教育	59 テレビ信州	47 長野放送		
新潟	新潟	056			21 新潟テレビ21	29 テレビ新潟	5 新潟放送			8 NHK総合		35 新潟総合テレビ		12 NHK教育
	上越	057	1 NHK教育		3 NHK総合	27 テレビ新潟	37 新潟テレビ21					10 新潟放送	33 新潟総合テレビ	
富山	富山	058	1 北日本放送	6 ※ 北陸放送	3 NHK総合	37 ※ 石川テレビ		32 チューリップテレビ				10 NHK教育		34 富山テレビ
	高岡	059	50 北日本放送		48 NHK総合			42 チューリップテレビ				46 NHK教育		44 富山テレビ
石川	金沢	060	1 ※ 北日本放送	25 北陸朝日放送	34 ※ 富山テレビ	4 NHK総合		6 北陸放送		8 NHK教育		33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	061		59 北陸朝日放送			5 NHK教育				9 NHK総合	57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ
福井	福井	062			3 NHK教育			6 ※ 北陸放送			9 NHK総合		11 福井放送	39 福井テレビ
	敦賀	063						6 NHK総合		8 福井放送		38 福井テレビ		12 NHK教育
岐阜	岐阜	064	1 東海テレビ		39 NHK総合		5 CBCテレビ	25 テレビ愛知	37 岐阜放送	33 三重テレビ	9 NHK教育		11 メ~テレ	35 中京テレビ
	高山	065		2 NHK教育		4 NHK総合		6 CBCテレビ	38 岐阜放送	8 東海テレビ			26 中京テレビ	12 ※ 名古屋テレビ
	中津川	066				4 NHK総合		6 ※ 名古屋テレビ	28 岐阜放送	8 CBCテレビ		10 東海テレビ	26 中京テレビ	12 NHK教育
静岡	静岡	067	1 ※ 東海テレビ	2 NHK教育		31 静岡第一テレビ	5 ※ CBCテレビ	33 静岡朝日テレビ	25 ※ テレビ愛知		9 NHK総合		11 静岡放送	35 テレビ静岡
	浜松	068	1 ※ 東海テレビ	30 静岡第一テレビ		4 NHK総合	5 ※ CBCテレビ	6 静岡放送	25 ※ テレビ愛知	8 NHK教育		28 静岡朝日テレビ		34 テレビ静岡
	富士	069		54 NHK教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK総合		41 静岡放送	39 テレビ静岡
	三島・沼津	070		51 NHK教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK総合		55 静岡放送	59 テレビ静岡
	島田	071	1 NHK総合		3 NHK教育	48 静岡第一テレビ	5 静岡放送	50 静岡朝日テレビ						58 テレビ静岡
	藤枝	072	42 NHK総合		44 NHK教育	24 静岡第一テレビ	40 静岡放送	26 静岡朝日テレビ						38 テレビ静岡
愛知	名古屋	073	1 東海テレビ		3 NHK総合		5 CBCテレビ	37 岐阜放送	35 中京テレビ	33 三重テレビ	9 NHK教育		11 メ~テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	074	56 東海テレビ		54 NHK総合		62 CBCテレビ		58 中京テレビ		50 NHK教育		60 メ~テレ	52 テレビ愛知
	豊田	075	57 東海テレビ		53 NHK総合		55 CBCテレビ		59 中京テレビ		51 NHK教育		61 メ~テレ	49 テレビ愛知
三重	津	076	1 東海テレビ	25 テレビ愛知	31 NHK総合	4 ※ 毎日放送	5 CBCテレビ	6 ※ ABCテレビ	33 三重テレビ	8 ※ 関西テレビ	9 NHK教育	10 ※ 読売テレビ	11 メ~テレ	35 中京テレビ
	伊勢	077	57 東海テレビ		53 NHK総合		55 CBCテレビ		59 三重テレビ		49 NHK教育		61 メ~テレ	47 中京テレビ
	名張	078	62 東海テレビ		52 NHK総合		60 CBCテレビ		58 三重テレビ		50 NHK教育		56 メ~テレ	54 中京テレビ
滋賀	大津	079		28 NHK総合		36 毎日放送		38 ABCテレビ	34 KBS京都	40 関西テレビ	30 びわ湖放送	42 読売テレビ		46 NHK教育
	彦根	080		52 NHK総合		54 毎日放送		58 ABCテレビ		60 関西テレビ	56 びわ湖放送	62 読売テレビ		50 NHK教育
京都	京都	081		2 NHK総合	19 テレビ大阪	4 毎日放送		6 ABCテレビ	34 KBS京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK教育
	舞鶴	082		51 NHK総合		53 毎日放送		55 ABCテレビ	57 KBS京都	59 関西テレビ		61 読売テレビ		49 NHK教育
	福知山	083		50 NHK総合		54 毎日放送		58 ABCテレビ	56 KBS京都	60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK教育
大阪	大阪	084		2 NHK総合	19 テレビ大阪	4 毎日放送		6 ABCテレビ	34 KBS京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK教育
兵庫	神戸	085		28 NHK総合	19 テレビ大阪	31 毎日放送		41 ABCテレビ		43 関西テレビ	36 サンテレビ	47 読売テレビ		45 NHK教育
	神戸灘	086		52 NHK総合	19 テレビ大阪	54 毎日放送		56 ABCテレビ		58 関西テレビ	62 サンテレビ	60 読売テレビ		50 NHK教育
	川西	087		29 NHK総合		35 毎日放送		37 ABCテレビ		39 関西テレビ	33 サンテレビ	41 読売テレビ		31 NHK教育
	三木	088		44 NHK総合		34 毎日放送		38 ABCテレビ		40 関西テレビ	36 サンテレビ	42 読売テレビ		46 NHK教育

地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表

都道府県	地域名	地域コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
兵庫	姫路	089		50 NHK 総合		54 毎日放送		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 サンテレビ	62 読売テレビ		52 NHK 教育
	明石	090		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	53 毎日放送		57 ABC テレビ		59 関西テレビ	55 サンテレビ	61 読売テレビ		49 NHK 教育
奈良	奈良	091		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日放送		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ	55 奈良テレビ	12 NHK 教育
	五条	092		43 NHK 総合		33 毎日放送		35 ABC テレビ		37 関西テレビ		39 読売テレビ	41 奈良テレビ	45 NHK 教育
和歌山	和歌山	093		32 NHK 総合		42 毎日放送	30 テレビ和歌山	44 ABC テレビ		46 関西テレビ		48 読売テレビ	55 ※ 奈良テレビ	25 NHK 教育
	海南・田辺	094		50 NHK 総合		54 毎日放送	56 テレビ和歌山	58 ABC テレビ		60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
鳥取	鳥取	095	1 日本海テレビ		3 NHK 総合	4 NHK 教育						22 山陰放送		24 山陰中央テレビ
島根	松江	096	30 日本海テレビ					6 NHK 総合		34 山陰中央テレビ		10 山陰放送		12 NHK 教育
	浜田	097		2 NHK 総合	54 日本海テレビ		5 山陰放送			58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育			
岡山	岡山	098	35 岡山放送	23 テレビせとうち	3 NHK 教育		5 NHK 総合		25 瀬戸内海放送		9 西日本放送		11 山陽放送	
	津山	099	60 岡山放送	2 NHK 総合	56 テレビせとうち					62 瀬戸内海放送	58 西日本放送		7 山陽放送	12 NHK 教育
	笠岡	100	60 岡山放送	2 NHK 総合	19 テレビせとうち	4 NHK 教育		6 山陽放送	21 瀬戸内海放送		17 西日本放送			
広島	広島	101	31 テレビ新広島		3 NHK 総合	4 中国放送			7 NHK 教育		35 広島ホームテレビ			12 広島テレビ
	福山	102	54 テレビ新広島		3 NHK 教育		5 NHK 総合		7 中国放送		57 広島ホームテレビ		11 広島テレビ	
	尾道	103	1 NHK 総合	26 テレビ新広島					7 NHK 教育		24 広島ホームテレビ	10 中国放送		12 広島テレビ
	呉	104	1 NHK 教育	26 テレビ新広島			5 広島テレビ				9 中国放送	24 広島ホームテレビ	11 NHK 総合	
山口	山口	105	1 NHK 教育	28 山口朝日放送	35 ※ 広島ホームテレビ	4 ※ RKB 毎日放送	19 ※ TVQ 九州放送		38 テレビ山口	31 ※ テレビ新広島	9 NHK 総合	10 ※ テレビ西日本	11 山口放送	37 ※ 福岡放送
	下関	106	41 NHK 教育	21 山口朝日放送		4 山口放送	23 ※ TVQ 九州放送		33 テレビ山口		39 NHK 総合	10 ※ テレビ西日本		
	宇部	107	55 NHK 教育	24 山口朝日放送					44 テレビ山口		58 NHK 総合	10 ※ テレビ西日本	61 山口放送	
	岩国	108	1 NHK 教育	28 山口朝日放送					22 テレビ山口		9 NHK 総合		11 山口放送	
徳島	徳島	109	1 四国放送	19 ※ テレビ大阪	3 NHK 総合	4 毎日放送	30 ※ テレビ和歌山	6 ABC テレビ	36 ※ サンテレビ	8 関西テレビ	9 ※ 西日本放送	10 ※ 読売テレビ	11 ※ 山陽放送	38 NHK 教育
香川	高松	110	19 テレビせとうち		39 NHK 教育	4 ※ 毎日放送	37 NHK 総合	6 ※ ABC テレビ	33 瀬戸内海放送	8 ※ 関西テレビ	41 西日本放送	10 ※ 読売テレビ	29 山陽放送	31 岡山放送
	丸亀	111	16 テレビせとうち		40 NHK 教育		44 NHK 総合		42 瀬戸内海放送		20 西日本放送		18 山陽放送	22 岡山放送
愛媛	松山	112	23 ※ テレビせとうち	2 NHK 教育	12 ※ 広島テレビ	35 ※ 広島ホームテレビ	31 ※ テレビ新広島	6 NHK 総合	25 愛媛朝日テレビ	29 あいテレビ	9 ※ 西日本放送	10 南海放送	11 ※ 山陽放送	37 テレビ愛媛
	新居浜	113	23 ※ テレビせとうち	2 NHK 総合	12 ※ 広島テレビ	4 NHK 教育	31 ※ テレビ新広島	6 南海放送	14 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ	9 ※ 西日本放送	35 ※ 広島ホームテレビ	11 ※ 山陽放送	36 テレビ愛媛
	今治	114		32 NHK 総合		30 NHK 教育		34 南海放送	17 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ				36 テレビ愛媛
	宇和島	115	1 NHK 教育					6 NHK 総合	16 愛媛朝日テレビ	34 あいテレビ		10 南海放送		32 テレビ愛媛
高知	高知	116				4 NHK 総合		6 NHK 教育		8 高知放送		38 テレビ高知	40 高知さんさんテレビ	
福岡	福岡	117	1 九州朝日放送	36 ※ サガテレビ	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	6 NHK 教育			9 テレビ西日本		11 ※ 熊本放送	37 福岡放送
	久留米	118	57 九州朝日放送	36 ※ サガテレビ	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	14 TVQ 九州放送	54 NHK 教育			60 テレビ西日本		11 ※ 熊本放送	52 福岡放送
	大牟田	119	58 九州朝日放送	36 ※ サガテレビ	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	50 NHK 教育			55 テレビ西日本		11 ※ 熊本放送	43 福岡放送
	北九州	120		2 九州朝日放送	35 福岡放送		23 TVQ 九州放送	6 NHK 総合		8 RKB 毎日放送		10 テレビ西日本		12 NHK 教育
	行橋	121		57 九州朝日放送	43 福岡放送		19 TVQ 九州放送	49 NHK 総合		60 RKB 毎日放送		54 テレビ西日本		46 NHK 教育
佐賀	佐賀 1	122	57 九州朝日放送	40 NHK 教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ 九州放送	34 ※ テレビ熊本	5 ※ 長崎放送	48 RKB 毎日放送	38 NHK 総合	60 ※ テレビ西日本		
	佐賀 2	123	57 九州朝日放送	40 NHK 教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ 九州放送	34 ※ テレビ熊本	5 ※ 長崎放送	16 ※ 熊本朝日放送	38 NHK 総合	60 ※ テレビ西日本	11 熊本放送	22 ※ 熊本県民テレビ
長崎	長崎	124	1 NHK 教育	57 ※ 九州朝日放送	3 NHK 総合	4 ※ RKB 毎日放送	5 長崎放送	34 ※ テレビ熊本	25 長崎国際テレビ	9 ※ テレビ西日本	27 長崎文化放送	11 ※ 熊本放送	37 テレビ長崎	22 ※ 熊本県民テレビ
	佐世保	125		2 NHK 教育					17 長崎国際テレビ	8 NHK 総合	31 長崎文化放送	10 長崎放送	35 テレビ長崎	
	諫早	126	45 NHK 教育		47 NHK 総合		49 長崎放送		20 長崎国際テレビ		24 長崎文化放送		42 テレビ長崎	
熊本	熊本	127	1 ※ 九州朝日放送	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	22 熊本県民テレビ	5 ※ 長崎放送	34 テレビ熊本	37 ※ テレビ長崎	36 ※ サガテレビ	9 NHK 総合	19 ※ TVQ 九州放送	11 熊本放送	4 ※ RKB 毎日放送
大分	大分	128	24 大分朝日放送	38 ※ テレビ山口	3 NHK 総合	4 ※ RKB 毎日放送	5 大分放送	10 ※ 南海放送	36 テレビ大分	37 ※ 福岡放送	9 ※ テレビ西日本	19 ※ TVQ 九州放送	11 ※ 山口放送	12 NHK 教育
	中津	129	17 大分朝日放送		48 NHK 総合		51 大分放送		37 テレビ大分					45 NHK 教育
宮崎	宮崎	130	1 ※ 南日本放送		35 テレビ宮崎				32 ※ 鹿児島放送	8 NHK 総合	38 ※ 鹿児島テレビ	10 宮崎放送		12 NHK 教育
	延岡	131	1 ※ 南日本放送	2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 宮崎放送	32 ※ 鹿児島放送	39 テレビ宮崎	38 ※ 鹿児島テレビ			
鹿児島	鹿児島	132	1 南日本放送	34 ※ テレビ熊本	3 NHK 総合	35 ※ テレビ宮崎	5 NHK 教育	10 ※ 宮崎放送	32 鹿児島放送	22 ※ 熊本県民テレビ	38 鹿児島テレビ	16 ※ 熊本朝日放送	11 ※ 熊本放送	30 鹿児島読売テレビ
	阿久根	133		34 ※ テレビ熊本		23 鹿児島放送	17 鹿児島読売テレビ	35 鹿児島テレビ	22 ※ 熊本県民テレビ	8 NHK 総合	16 ※ 熊本朝日放送	10 南日本放送	11 ※ 熊本放送	12 NHK 教育
	鹿屋	134		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 南日本放送	31 鹿児島放送		33 鹿児島テレビ			25 鹿児島読売テレビ
沖縄	那覇	135		2 NHK 総合						8 沖縄テレビ		10 琉球放送	28 琉球朝日放送	12 NHK 教育

地上アナログ放送局コード一覧表

ホームメニューから「個別チャンネル設定」で放送局コード（4桁の数字）を入力して設定するには、こちらの放送局コード一覧表をご覧ください。（☞116ページ）

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK 総合	0336
	NHK 教育	0346
	北海道放送	0257
	札幌テレビ	0261
	北海道文化放送	0283
	北海道テレビ	0291
	テレビ北海道	0273
青森	NHK 総合	0592
	NHK 教育	0602
	青森テレビ	0294
	青森放送	0513
	青森朝日放送	0290
秋田	NHK 総合	1360
	NHK 教育	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	0287
岩手	NHK 総合	0848
	NHK 教育	0858
	岩手放送	0262
	テレビ岩手	0547
	めんこいテレビ	0289
	岩手朝日テレビ	0276
山形	NHK 総合	1616
	NHK 教育	1626
	テレビユー山形	0292
	山形放送	0266
	さくらんぼテレビ	0286
	山形テレビ	0550
宮城	NHK 総合	1104
	NHK 教育	1114
	東北放送	0769
	ミヤギテレビ	0546
	仙台放送	0268
	東日本放送	0288
福島	NHK 総合	1872
	NHK 教育	1882
	テレビユー福島	0543
	福島中央テレビ	0545
	福島テレビ	0523
	福島放送	0803
関東 東京	NHK 総合	2128
	NHK 教育	2138
	TBS テレビ	0518
	日本テレビ	0260
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MX テレビ	0270
埼玉	テレビ埼玉	0806
千葉	千葉テレビ	0302
神奈川	tvk テレビ	0298
群馬	群馬テレビ	0304
栃木	とちぎテレビ	0535
新潟	NHK 総合	2384
	NHK 教育	2394
	新潟放送	0517
	テレビ新潟	0285
	新潟総合テレビ	1059
	新潟テレビ 21	0277
長野	NHK 総合	2640
	NHK 教育	2650
	長野放送	1062
	長野朝日放送	0532
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK 総合	2896
	NHK 教育	2906
	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK 総合	3920
	NHK 教育	3930
	静岡放送	1291
	テレビ静岡	1315
	静岡朝日テレビ	1057
	静岡第一テレビ	0799
中部	NHK 総合	4176
	NHK 教育	4186
中部（愛知）	東海テレビ	1281
	CBC テレビ	1029
	メ～テレ	1547
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
中部 岐阜	岐阜放送	1061
三重	三重テレビ	1313
富山	NHK 総合	3152
	NHK 教育	3162
	チューリップテレビ	0544
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK 総合	3408
	NHK 教育	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	0281
	北陸放送	0774
福井	NHK 総合	3664
	NHK 教育	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西 大阪	NHK 総合	4432
	NHK 教育	4442
	毎日放送	0516
	ABC テレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
京都	KBS 京都	1058
兵庫	サンテレビ	0548
奈良	奈良テレビ	0311
和歌山	テレビ和歌山	1054
滋賀	びわ湖放送	0798
岡山	NHK 総合	5200
	NHK 教育	5210
	山陽放送	1803
	岡山放送	1827
	テレビせとうち	0279
広島	NHK 総合	5456
	NHK 教育	5466
	中国放送	0772
	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	1055
	広島ホームテレビ	2083
鳥取	NHK 総合	4688
	NHK 教育	4698
	日本海テレビ	1537
	山陰放送	1034
島根	NHK 総合	4944
	NHK 教育	4954
	山陰中央テレビ	1314
山口	NHK 総合	5712
	NHK 教育	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	0284
香川	NHK 総合	6224
	NHK 教育	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK 総合	5968
	NHK 教育	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK 総合	6480
	NHK 教育	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	0793
高知	NHK 総合	6736
	NHK 教育	6746
	高知さんさんテレビ	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK 総合	6992
	NHK 教育	7002
	九州朝日放送	2049
	RKB 毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	福岡放送	1573
	TVQ 九州放送	0531
佐賀	NHK 総合	7760
	NHK 教育	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK 総合	8528
	NHK 教育	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売テレビ	1310
宮崎	NHK 総合	8272
	NHK 教育	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK 総合	8016
	NHK 教育	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK 総合	7504
	NHK 教育	7514
	熊本放送	2315
	熊本朝日放送	0528
	熊本県民テレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK 総合	7248
	NHK 教育	7258
	長崎国際テレビ	1049
	長崎文化放送	0539
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK 総合	8784
	NHK 教育	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第 1	0074
	衛星第 2	0076
	WOWOW	0073

地上デジタル放送チャンネル一覧表

お住まいの地域	北海道(札幌)		北海道(函館)		北海道(旭川)		北海道(帯広)		北海道(釧路)		北海道(北見)		北海道(室蘭)	
放送局名	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・函館	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・帯広	2	NHK教育・釧路	2	NHK教育・北見	2	NHK教育・室蘭
	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広	1	HBC釧路	1	HBC北見	1	HBC室蘭
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広	5	STV釧路	5	STV北見	5	STV室蘭
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広	6	HTB釧路	6	HTB北見	6	HTB室蘭
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広	8	UHB釧路	8	UHB北見	8	UHB室蘭
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広	7	TVH釧路	7	TVH北見	7	TVH室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
放送局名	3	NHK総合・仙台	1	NHK総合・秋田	1	NHK総合・山形	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・仙台	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・山形	2	NHK教育・盛岡	2	NHK教育・福島	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京
	1	TBCテレビ	4	ABS秋田放送	4	YBC山形放送	6	IBCテレビ	8	福島テレビ	1	RAB青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT秋田テレビ	5	YTS山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB秋田朝日放送	6	テレビュー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビュー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	東京MXテレビ
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
放送局名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	ABN長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvkテレビ	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	ちばテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		愛知		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	3	NHK総合・名古屋	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・甲府	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	6	BSN	4	YBS山梨放送	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBCテレビ	1	KNB北日本放送
	8	NST	6	UTY	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	4	TeNYテレビ新潟			6	メ～テレ	6	MRO	4	静岡第一テレビ			6	チューリップテレビ
	5	新潟テレビ21			4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
					10	テレビ愛知								

■デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、ＢＳアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

お住まいの地域	三重		岐阜		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
放送局名	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	5	CBC	5	CBC	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ
	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ	7	テレビ大阪	5	KBS京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		島根		鳥取		山口		愛媛	
放送局名	1	NHK総合・大津	1	NHK総合・広島	1	NHK総合・岡山	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取	1	NHK総合・山口	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・広島	2	NHK教育・岡山	2	NHK教育・松江	2	NHK教育・鳥取	2	NHK教育・山口	2	NHK教育・松山
	4	MBS毎日放送	3	RCCテレビ	4	RNC西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY山口放送	4	南海放送
	6	ABCテレビ	4	広島テレビ	5	KBS瀬戸内海放送	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	3	TYSテレビ山口	5	愛媛朝日
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSKテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	YAB山口朝日	6	あいテレビ
	10	よみうりテレビ	8	TSS	7	テレビせとうち							8	テレビ愛媛
	3	BBCびわ湖放送			8	OHKテレビ								

お住まいの地域	香川		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・徳島	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎	3	NHK総合･鹿児島
	2	NHK教育・高松	2	NHK教育・徳島	2	NHK教育・高知	3	NHK総合・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎	2	NHK教育・鹿児島
	4	RNC西日本テレビ	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	KSB瀬戸内海放送			6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ
	6	RSKテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	7	テレビせとうち					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島讀賣TV
	8	OHKテレビ					5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCテレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄							
放送局名	1	NHK総合･宮崎	1	NHK総合･大分	1	NHK総合･佐賀	1	NHK総合･那覇						
	2	NHK教育･宮崎	2	NHK教育･大分	2	NHK教育･佐賀	2	NHK教育･那覇						
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ						
	3	UMKテレビ宮崎	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送						
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ(OTV)						

（2005年６月現在）

■表の見方

画面に表示されるアイコンの説明

本機では、番組の内容や特長などをアイコン（機能などを表すマーク）でお知らせします。表示されるアイコンは、次のとおりです。

番組情報関連

アイコン	内容
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）番組。
データ	独立型データ放送番組。
ラジオ	ラジオ放送番組。
d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d	番組の内容に連動したデータ放送を行っている番組。
525i SD	走査線が525本　インターレースの標準放送番組。
525P SD	走査線が525本　プログレッシブの標準放送番組。
750P HD	走査線が750本　プログレッシブのハイビジョン放送番組。
1125i HD	走査線が1125本　インターレースのハイビジョン放送番組。
4:3	アスペクト比（横縦比）4：3の番組。
16:9	アスペクト比（横縦比）16：9の番組。
主+副	二重音声信号がある番組。
ステレオ	ステレオ音声の番組。
モノラル	モノラル音声の番組。

番組情報関連

アイコン	内容
4ch サラウンド	4ch サラウンド放送の番組。
5ch サラウンド	5ch サラウンド放送の番組。
5.1ch サラウンド	5.1ch サラウンド放送の番組。
字幕	字幕（日本語 / 外国語）のある番組。
一回録画	1回のみデジタル録画ができる番組（録画後、コピーできません）。
録画不可	デジタルコピーガードされている番組。デジタル録画できません。
年齢制限	視聴年齢の制限がある番組。
お好み	お好み登録されているチャンネル。
視聴中	現在視聴中の番組（地上アナログ放送の番組表のみ）。
	視聴予約中の番組。
	録画予約中の番組。

その他の情報

アイコン	内容
	既読のお知らせメッセージ。
	未読のお知らせメッセージ。

お知らせ

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンが表示されないことがあります。
- 録画不可のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはコピーできない場合があります。

おもな仕様

型番			PDP-506HD	PDP-436HD
型名			デジタルハイビジョンプラズマテレビ	
受信チャンネル		地上アナログ	VHF1 ～ 12 チャンネル／ UHF13 ～ 62 チャンネル／ CATV C13 ～ C38 チャンネル	
		デジタル放送	BS デジタル 000 ～ 999 チャンネル／ 110 度 CS デジタル 000 ～ 999 チャンネル／地上デジタル 000 ～ 999 チャンネル（CATV パススルー対応）	
ディスプレイパネル（画面寸法）			50V 型 AC 方式プラズマパネル（幅 109.8cm、高さ 62.1cm、対角 126.1cm）	43V 型 AC 方式プラズマパネル（幅 95.2cm、高さ 53.6cm、対角 109.3cm）
画素数			1280 × 768	1024 × 768
音声実用最大出力			13W ＋ 13W （JEITA）	
スピーカー			低音用（ウーファー）：長円コーン型、高音用（トゥイーター）：2.5cm セミドーム型	
定格電圧			AC100V	
定格周波数			50/60Hz	
消費電力			358W	308W
		待機時消費電力	0.5W	0.5W
年間消費電力量※			398kWh/ 年	298kWh/ 年
入出力端子	VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ 入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター	
	地上デジタルアンテナ入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター	
	BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター	
		アンテナ電源出力	DC15V　最大 4W	
	ビデオ入力	映像	1.0Vp-p、75 Ω、同期負	
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω	
		D4 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色差（C_B/P_B、C_R/P_R）信号：0.7Vp-p（カラー 100%）、75 Ω	
		音声	0.5Vrms、22k Ω以上	
		HDMI 端子（ビデオ 3 入力）	1 系統	
	デジタル放送出力	映像	1.0Vp-p、75 Ω、同期負	
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω	
		音声	0.25Vrms（－18dB　FS）、1k Ω	
	デジタル音声出力（光）		1 系統（角型）	
	音声出力		0.5Vrms －3dB、1k Ω	
	サブウーファー出力		0.5Vrms －3dB、（100Hz、音量最大時）、1k Ω	
	ヘッドホン出力	（16 ～ 32 Ω推奨）	0.5Vrms －3dB、（ヘッドホン 32 Ω時、音量最大時）	
	電話回線（モジュラー）端子		1 系統、 V.22bis（2400bps）	
	i.LINK（TS）端子		2 系統、S400	
	ビデオコントローラー端子		1 系統	
	コントロール端子	入力	1 系統	
		出力	1 系統	
	パソコン（PC）入力	RGB 映像（DDC2B 対応）	RGB 信号：0.7Vp-p、75 Ω、同期なし 同期信号（HD/VD）：TTL レベル、2.2k Ω、正負極性	
	LAN （10BASE-T/100BASE-TX）端子		1 系統	
	メモリーカードスロット（PC カード）		1 系統	
外形寸法	ディスプレイ部	スピーカー取り外し時	幅 1224mm、奥行 92mm、高さ 717mm	幅 1076mm、奥行 92mm、高さ 632mm
		スピーカーダイレクト取付時	幅 1379mm、奥行 92mm、高さ 717mm	幅 1231mm、奥行 92mm、高さ 632mm
		スピーカーワイド取付時	幅 1407mm、奥行 92mm、高さ 717mm	幅 1259mm、奥行 92mm、高さ 632mm
	メディアレシーバー部		幅 420mm、奥行 299mm、高さ 90mm	
質量	ディスプレイ部	スピーカー　取り外し時	31.8kg	25.8kg
		スピーカー　取り付け時	35.8kg	29.5kg
		メディアレシーバー部	4.4kg	

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■テレビの V 型（50V 型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■※：年間消費電力量は、JEITA 基準に基づいて算出した値です。

■ HDMI 1.1、HDCP 1.1 準拠
　HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）とは、デジタル画像信号を暗号化する著作権保護システムの 1 つです。

付録

商標／著作権・個人情報について

- あなたが録音（録画）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 本機が記憶したお知らせメッセージや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報が、万一、本機の不具合によって消失した場合、復元は不可能です。その内容の消失にともなう損害、損失に対して当社は責任を負いません。

- 本機はデジタル放送のサービスを利用するためにお客様の個人情報を保存する場合があります。
  本機に保存されるお客様の個人情報に関しましては、お客様と放送事業者様との間で交わされるものであり、情報の漏洩に対して当社は責任を負いません。
  情報の漏洩を防ぐためにも、本機を譲渡または廃棄するなどの場合は、必ず、個人情報をリセットしてください。
  (☞138 ページ)

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
  本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

- 本機では画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
  ※ Font Avenue は NEC の登録商標です。

- 「i.LINK」及び「i.LINK」ロゴは、商標です。

- SRS WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
  WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

- 本機は、マクロヴィジョン社および他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロヴィジョン社の許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

- 録画をする場合はビデオ録画機器が必要です。

- G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。
  G ガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
  米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

- 本製品には、データ放送 BML ブラウザとして（株）ACCESS の NetFront DTV Profile を搭載しています。
  Copyright © 1996-2005　ACCESS CO.,LTD.
  NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
  本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
  ACCESS　NetFront® DTV Profile

- 本製品はファイルシステム機能として株式会社京都ソフトウェアリサーチの「Fugue」を搭載しています。

Fugue

Fugue © 1999-2005 Kyoto Software Research, Inc. All rights reserved.

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
また、各社の商標および登録商標について、特に注記のない場合でも、これを尊重いたします。

付録

用語の解説

■ 110度CSデジタル放送
BS デジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルから、見たいチャンネルを購入して視聴します。一部、無料放送もあります。

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格的なサービスが開始された新しい衛星放送です。高品質のハイビジョン放送に加えて、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース･スポーツ･番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスが楽しめます。

■ D端子
ハイビジョンやDVDなどの高画質な映像のための端子規格で、端子の形がアルファベットの「D」に似ているのでD端子と呼ばれます。D端子では、1本のケーブルを接続するだけで、映像信号のほかに映像サイズ識別用の制御信号も送れます。対応する走査線数と走査方式によってD1～D5の規格（本機はD4に対応）があります。数字が大きいほどより高画質な映像に対応します。なお、D端子で伝送される映像信号はアナログ信号です。

■ HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
（ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェイス）

HDMIは、家電向けのデジタルデータの伝送規格です。映像のほかにマルチチャンネルのオーディオ信号や制御信号をデジタルのまま、1本のケーブルで伝送できます。

■ i.LINK
（アイリンク）

デジタルデータを送受信するための国際標準規格です。i.LINK端子を持つ機器間を1本のi.LINKケーブルで接続するだけで、デジタルの映像信号と音声信号のほかに、接続した機器を操作するための制御信号も転送できます。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、本機では最大400Mbpsの転送ができます。

■ MPEG-2 AAC（MPEG-2 Advanced Audio Coding）
（エムペグツー・アドバンスド・オーディオ・コーディング）

MPEG-2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質･高圧縮率･マルチチャンネル音声フォーマット対応が特長で、デジタル放送の5.1チャンネルサラウンド放送などに使われます。MPEG-2 AAC対応のAVアンプを本機に接続すると、臨場感あふれるサラウンド再生が楽しめます。

■ PCM（Pulse Code Modulation）
（パルス・コード・モジュレーション）

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つです。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ S1/S2 映像
従来のS（セパレート）映像信号に加えて、画面の横縦比（アスペクト比）を自動判別する信号を含む映像信号です。レターボックス映像（上下に黒帯のある横長映像）は「ズーム」に、スクイーズ映像（縦長に圧縮された映像）は「フル」になります。

■ イベントリレー
BSデジタル放送では放送中の番組が延長になったために、別のチャンネルで引き続き放送することがあります。複数のチャンネル（例えば881ch、882ch、883ch）を持っている放送局で、放送中の野球中継が延長になったとき、881ch、および882chでは予定どおり次の番組を放送して、883chで野球中継を継続することがあります。このようなサービスのことをイベントリレーといいます。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。次に偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレースを表します。

■ 緊急警報放送
台風、地震などの災害時に、警戒警報や津波警報などが発令されたときは、別のチャンネルで緊急警報放送が放送されます。

■ ケーブルテレビ（CATV）
テレビの有線（ケーブル）放送サービスです。放送を受信するには、地域のケーブルテレビ会社と契約する必要があります。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴ですが、最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ会社が増えています。ケーブルテレビ会社によって受信できる放送や接続方法は異なります。

■ 降雨対応放送
BSデジタル放送では衛星から送られてくる電波が激しい降雨によって弱められ、放送を受けられなくなることがあります。これを避けるため、送るデータを少なくすることで映像･音声の内容を途切れなく視聴できるようにしたサービスのことです。降雨対応の番組が放送されているときは、画面を小さくして番組を見ることができます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。コンポジット接続では、黄･白･赤の3色に分かれたケーブルを使い、映像用には黄色のケーブルを接続します。

■ 地上デジタル放送
UHF帯の電波を使ったデジタル放送で、2003年12月より一部の地域で放送が開始され、徐々に全国に拡大されます。従来の地上アナログ放送に比べて高画質と高音質が特長で、データ放送や双方向通信サービスなどの幅広いサービスが楽しめます。

■ データ放送
デジタル放送では、地域に密着した情報などを静止画像や文字によって放送しています。これをデータ放送と呼び、視聴者参加型の双方向番組もあります。テレビ放送などと連動したデータ連動型放送と、独立データ型放送の2種類のデータ放送があります。

■ 電子番組表
デジタル放送では、映像や音声のほかに番組情報も一緒に送られてきます。また、地上アナログ放送でも、Gガイドシステムを利用して各地域のホスト局から番組情報が送られてきます。その番組情報をもとにテレビ画面に表示する番組表を「電子番組表」と呼びます。電子番組表を使って、番組を探したり番組の内容を確認したり、番組を予約したりできます。本書では、「番組表」と記載しています。

■ ハイビジョン放送
デジタル放送の高画質放送のことです。現行の地上アナログ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。画面サイズも16：9のワイド画面になります。

■ プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べてちらつきのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブを表しています。

■ ペイ・パー・ビュー(PPV)

利用した分だけ支払う方式の有料番組です。110度CSデジタル放送などでは、番組単位で購入して視聴できるペイ・パー・ビュー(PPV)があります。視聴するには、放送局との契約が必要です。

■ マルチビュー放送

1つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの場面に分けて放送するBSデジタル放送のサービスです。例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像を1つのチャンネルで放送することができます。

■ ラジオ放送(デジタル音声放送)

デジタル放送には、音声を中心としたラジオ放送が多数あります。音楽CD並みの音質でさまざまな音楽を楽しめます。朗読やニュースなどの幅広い番組があります。

付録

メニュー一覧

ホームメニューには、以下の設定項目があります。

お知らせ

- パソコンを接続してパソコンの画面を表示している場合は、メニューの内容が異なります。(☞163ページ)

■テレビ・ビデオ入力時のメニュー

画質の調整
- モード ☞68ページ
- コントラスト ☞69ページ
- 明るさ ☞69ページ
- 色の濃さ ☞69ページ
- 色あい ☞69ページ
- シャープネス ☞69ページ
- プロ設定 ☞70ページ
  - ピュアシネマ ☞70ページ
  - カラーディテール ☞71ページ
  - ノイズリダクション ☞71ページ
  - DRE ☞71ページ
  - 動き補正 ☞71ページ
- 初期状態に戻す ☞69ページ

音質の調整 ☞72ページ
- 高音 ☞72ページ
- 低音 ☞72ページ
- バランス ☞72ページ
- 初期状態に戻す ☞72ページ
- FOCUS ☞73ページ
- サラウンド ☞73ページ
- 2画面ヘッドホン ☞77ページ
- 2画面ヘッドホン音量 ☞77ページ

省エネの設定 ☞61ページ
- 消費電力 ☞61ページ
- 無信号オフ ☞61ページ
- 無操作オフ ☞61ページ

おやすみタイマー ☞62ページ

その他の設定
- 画面位置の調整 ☞74ページ
  - 水平・垂直位置 ☞74ページ
  - 初期状態に戻す ☞74ページ
- 画面サイズ自動切換 ☞60ページ
- 4：3信号の表示 ☞60ページ
- サイドマスクの設定 ☞75ページ
- HDMI入力 ☞98ページ

初期設定
- かんたん設定 ☞43ページ
- アナログ放送の設定
  - 一括チャンネル設定 ☞114ページ
  - 自動チャンネル設定 ☞115ページ
  - チャンネル設定結果 ☞115ページ
  - 個別チャンネル設定 ☞116ページ
  - アナログ放送番組表設定 ☞117ページ
- デジタル放送の設定
  - 視聴設定 ☞127ページ
  - 画面表示設定 ☞79ページ
    - 字幕設定 ☞79ページ
    - 文字スーパー設定 ☞79ページ
  - 視聴制限設定 ☞86ページ
    - 暗証番号設定 ☞87ページ
    - 年齢制限設定 ☞88ページ
    - PPV購入制限設定 ☞89ページ
  - 外部機器設定
    - デジタル放送音声出力 ☞137ページ
    - i.LINK接続設定 ☞93ページ
    - ビデオコントローラー ☞95ページ
  - ネットワーク設定 ☞111ページ
    - IPアドレス設定 ☞111ページ
    - プロキシサーバー設定 ☞112ページ
    - ネットワーク情報 ☞113ページ
    - テスト ☞113ページ
  - 環境設定
    - アンテナ設定 ☞131ページ
    - 電話回線設定 ☞134ページ
    - 居住地域設定 ☞130ページ
    - リモコン設定 ☞128ページ
    - 地上デジタル設定 ☞122ページ
    - 自動アップデート ☞136ページ
  - 初期状態に戻す ☞138ページ
    - 設定内容 ☞138ページ
    - 個人情報 ☞138ページ
- チャンネル情報設定 ☞54ページ
- 時計合わせ ☞121ページ

番組ナビ	
番組表	☞47 ページ
ジャンル検索	☞51 ページ
予約一覧	☞67 ページ
週間番組表	☞49 ページ
チャンネル一覧	☞52 ページ
トピックス	☞81 ページ
インフォメーション	☞82 ページ
お知らせメッセージ	☞82 ページ
PPV 購入履歴	☞83 ページ
B-CAS カード	☞133 ページ
CS1 ボード	☞84 ページ
CS2 ボード	☞84 ページ
バージョン情報	☞85 ページ
ホームギャラリー	☞106 ページ

■PC入力時（パソコン接続時）のメニュー

画質の調整	☞104 ページ
モード	☞68 ページ
コントラスト	☞104 ページ
明るさ	☞104 ページ
R レベル	☞104 ページ
G レベル	☞104 ページ
B レベル	☞104 ページ
初期状態に戻す	☞104 ページ
音質の調整	☞72 ページ
高音	☞72 ページ
低音	☞72 ページ
バランス	☞72 ページ
初期状態に戻す	☞72 ページ
FOCUS	☞73 ページ
サラウンド	☞73 ページ
2 画面ヘッドホン	☞77 ページ
2 画面ヘッドホン音量	☞77 ページ
省エネの設定	☞105 ページ
消費電力	☞61 ページ
パワーマネージメント	☞105 ページ
おやすみタイマー	☞62 ページ
その他の設定	☞103 ページ
画面の自動調整開始	☞103 ページ
画面の手動調整	☞103 ページ
水平・垂直位置	☞103 ページ
クロック周波数	☞103 ページ
クロック位相	☞103 ページ
初期状態に戻す	☞103 ページ

索　引

数字・アルファベット

100BASE-TX …… 110
10BASE-T …… 110
110度CSデジタル放送 …… 24, 39
16：9 …… 59, 60
2画面表示 …… 76
2画面ヘッドホン …… 77
3DYC分離 …… 71
4：3 …… 59
4：3信号の表示 …… 60
ACL …… 71
AC変換プラグ …… 15, 16, 36
ADSL …… 110, 111
ADSLモデム …… 110
AFT …… 116
AVメモリー …… 68
B-CAS（ビーキャス）カード …… 16, 27, 133
B-CASカード挿入口 …… 18, 27
BSデジタル放送 …… 24
BS・110度CSアンテナ入力 …… 19, 39
CATV …… 38, 39
CS1ボード/CS2ボード …… 84
CTI …… 71
DHCP …… 111
DNR …… 71
DNSサーバーアドレス自動取得 …… 111
DOS FAT …… 106
DRE …… 70, 71
FAT32 …… 106
FOCUS …… 73
GR …… 116
Gガイド …… 47, 117
HDMI入力 …… 98
HDMI入力端子 …… 19, 98
i.LINK機器 …… 90, 92
i.LINKケーブル …… 90
i.LINK接続設定 …… 93
i.LINK操作パネル …… 80
IPアドレス …… 111
IPアドレス自動取得 …… 111
IP変換 …… 71
JPEG形式 …… 106
LAN …… 110
LAN(10/100)端子 …… 19, 110
MPEG-2 AAC …… 100, 137
MPEG NR …… 71
PCM …… 100, 137
PCカードアダプター …… 106
PCカード挿入口 …… 18, 106
PCカード取り出しボタン …… 18, 108
PC入力端子 …… 18, 102
PinP表示 …… 76
PPV …… 57
PPV購入制限設定 …… 86, 89
PPV購入履歴 …… 83
PsideP表示 …… 76
SR+ …… 101
SRS …… 73
TruBass …… 73
TruBass＋SRS …… 73
（TS）端子 …… 19, 92
VFAT …… 106
VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ入力 …… 19, 38

あ行

明るさ …… 69
アスペクト比 …… 157
アドバンス …… 70
アナログ放送番組表設定 …… 117
アルバム表示 …… 107, 108
アルバム表示画面 …… 107
暗証番号 …… 86, 87
暗証番号削除 …… 88
暗証番号設定 …… 86, 87
アンテナ …… 38
アンテナ設定 …… 131
一括チャンネル設定 …… 44, 114
イベントリレー …… 25
色あい …… 69
色温度 …… 71
色の濃さ …… 69
動き補正 …… 70, 71
映画 …… 68
衛星アンテナ設定 …… 44, 132
衛星アンテナ電源 …… 132
衛星アンテナレベル …… 132
衛星周波数設定 …… 126
枝番 …… 29, 52
お好みチャンネル …… 53, 127
お知らせメッセージ …… 82
おやすみタイマー …… 62
音声切換 …… 20, 22, 55
音声出力（アナログ）端子 …… 19, 100
音声を切り換える …… 55
音量（＋/－）ボタン …… 18, 21, 22, 26

か行

外部入力 …… 58
画質・音質モード …… 68
画質の調整 …… 69, 104
壁掛け設置 …… 12
画面位置の調整 …… 74
画面サイズ …… 59, 104
画面サイズ自動切換 …… 60
画面の手動調整 …… 103
カラーディテール …… 70, 71
カラーマネージメント …… 71
かんたん設定 …… 43
簡単リモコン …… 16, 22, 26
ガンマ …… 71
共同受信 …… 40
居住地域 …… 130
居住地域設定 …… 45, 130
緊急警報放送 …… 25
黒伸張 …… 71
クロック位相 …… 103
クロック周波数 …… 103
ケーブルテレビ …… 38, 39
ケーブルバインダー …… 37
ゲーム …… 68
降雨対応放送 …… 25
購入履歴送信 …… 84
個別チャンネル設定 …… 116
コントラスト …… 69
コントロール接続 …… 101
コントロール（入力／出力）端子 …… 19, 101

さ行

再スキャン …… 123
サイドマスク …… 75
サイドマスクの設定 …… 75
サブウーファー出力端子 …… 19, 100
サブネットマスク …… 111
サラウンド …… 73
システムケーブル …… 16, 36
視聴制限設定 …… 86
視聴設定 …… 127
視聴予約 …… 50
自動アップデート …… 136
自動チャンネル設定 …… 115, 122
シネマ …… 59
字幕設定 …… 79
シャープネス …… 69
ジャストクロック …… 121
ジャンル検索 …… 51

週間番組表 …… 49
受信 CH …… 116
主電源ボタン …… 17，18，28
省エネの設定 …… 61，105
消費電力 …… 61
初期スキャン …… 122
シングル表示 …… 108
信号切換 …… 78
ズーム …… 59
水平･垂直位置 …… 103
スタンバイランプ（赤） …… 17，18，28
スピーカー …… 33
スピーカーケーブル …… 15，35
スピーカー取付金具 …… 15，33
スピードクランプ …… 15，37
スプリッター …… 110
スライドショー …… 109
静止 …… 78
設置 …… 32
設置スペース …… 12

た行

ダイナミック …… 68
ダイナミックコントラスト …… 71
ダイレクト取付 …… 32
地上 D アンテナレベル …… 131
地上アナログ放送 …… 38
地上デジタルアンテナ入力 …… 19，38
地上デジタル設定 …… 46，122
地上デジタル放送 …… 24，38
チャンネル一覧 …… 52
チャンネル自動変更 …… 124
チャンネル情報設定 …… 54
チャンネル（＋/－）ボタン …… 18，20，22，29
データ連動放送 …… 56
ディスプレイ …… 17
デジタル音声出力（光）端子 …… 19，100
デジタル放送音声出力 …… 137
デジタル放送出力端子 …… 19，90，94
デフォルトゲートウェイアドレス …… 111
電界強度適応 NR …… 116
電源「入」ランプ（青） …… 17，18，28
電源コード …… 15，16，36
転倒防止 …… 13
転倒防止用ボルト …… 13，15
電話回線 …… 41，42
電話回線テスト …… 45，135
電話回線端子 …… 19，42
トーン …… 134
時計合わせ …… 121
トピックス …… 81

な行

入力切換ボタン …… 18
ネットワーク …… 110
年齢制限設定 …… 86，88
ノイズリダクション …… 70，71

は行

バージョン情報 …… 85
ハイビジョン …… 59
パソコン …… 102
パソコン信号一覧 …… 102
パッキン …… 15，33
ハブ …… 110
パワーマネージメント …… 105
番組情報 …… 54
番組ナビ …… 20，51，81，82
番組表 …… 47，64
番組表自動取得／取得時刻 .. 125
ビーズバンド …… 15，37
ビデオコントローラー …… 16，90，94，95
ビデオコントローラー端子 …… 19
ビデオコントローラーの設定をする …… 95
ビデオコントローラーを取り付ける …… 95
ビデオデッキや DVD レコーダーなどをつなぐ …… 94
ピュアシネマ …… 70
表示 CH …… 116
フォルダー一覧 …… 106
フル …… 59
ブロードバンド …… 110
ブロードバンドルーター …… 110
プロキシサーバー設定 …… 112
プログレッシブ信号 …… 70
プロ設定 …… 70
ペイ・パー・ビュー …… 57
放送局コード …… 116
ポート番号 …… 112
ホームギャラリー …… 106，108
ホームメニュー …… 21，30，162
ホスト局 …… 118
本機と連動して録画するには · 63

ま行

マニュアル予約 …… 66
マルチビュー …… 25，78
無信号オフ …… 61
無操作オフ …… 61
メディアレシーバー …… 18
メモリーカード …… 106
モード …… 68
文字スーパー設定 …… 79
モジュラーケーブル …… 16，110
モジュラー分配器 …… 16，110
元の画面 …… 21，30
戻る …… 21，30

や行

有料番組 …… 57
予約一覧 …… 67

ら行

リモコン …… 16，20，26
リモコン受光部 …… 17，23，28
リモコン設定 …… 128
録画機器の同時モニター …… 63
録画するときのご注意 …… 63
録画予約 …… 64
録画予約の前に …… 63

わ行

ワイド …… 59
ワイド取付 …… 32

この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『**故障かな？と思ったら**』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

● **パイオニアホームページ：お客様サポート　http://www.pioneer.co.jp/support/index.html**
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜　9：30～ 18：00、 土曜・日曜・祝日　9：30 ～12：00、13：00～ 17：00 （弊社休業日は除く）
・ カーオーディオ/カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口　**0070-800-8181-11**
一般電話　【一般電話】**03-5496-8016**
・ 家庭用オーディオ/ビジュアル商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口　**0070-800-8181-22**
一般電話　【一般電話】**03-5496-2986**
・ ファックス受付　**03-3490-5718**

● **家庭用電話機に関するご相談窓口**
受付　月曜～土曜・日曜・祝日　9：30 ～17：30 （弊社休業日は除く）
・ パイオニアコミュニケーションズ(株)　お客様相談室
東日本地区（埼玉県所沢市）　**04-2949-5131**
西日本地区（大阪市）　**06-6533-0099**
ファックス　**04-2949-5501**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

● **部品受注センター**
受付　月曜～金曜　9：30 ～18：00、 土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00 （弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）：**0120-5-81095**
一般電話：**0538-43-1161**　ファックス（フリーダイヤル）：**0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 19：00、 土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00 （弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話：**03-5496-2023**　ファックス（フリーダイヤル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00 （土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話：**098-879-1910**　ファックス：**098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

お買い上げ店名	電話番号	お近くの ご相談窓口	
お買い上げ年月日	年　月　日		

JIS C 61000
-3-2適合品

デジタルハイビジョンプラズマテレビ　取扱説明書

Pioneer

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<05F10001> <ARA1338-A>